

# 官報

號外

昭和二年三月九日 水曜日

內閣印刷局

## 第五十二回衆議院議事速記録第二十二號

昭和二年三月八日(火曜日)午後一時二十二分開議

議事日程 第二十一號

昭和二年三月八日

午後一時開議

質問

- 一 人口食糧政策ニ關スル質問 (小橋 藻三衛君提出)
- 二 鐵道運輸ニ關スル質問 (伊坂秀五 郎君提出)
- 三 北海道拓殖ニ關スル質問 (松實喜 代太君提出)
- 四 對支顧問及之方改善ニ關スル質問 (兒玉右三君提出)
- 五 郵便貯金法規ニ關スル質問 (加藤 十四郎君提出)

第一 勞働組合法案(政府提出)

第一讀會

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第三 大正十四年法律第五十一號中改正法律案(關東州ノ生産品輸入稅免除ノ件)(政府提出) 第一讀會

第四 關稅定率法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第五 右各案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第六 鑛業法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第七 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第八 土地收用法中改正法律案(政府提出) 費族院送付) 第一讀會

第九 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十 王公族ヨリ内地ノ家ニ入リタル者及内地ノ家ヲ去リ王公家ニ入リタル者ノ戶籍等ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

第十一 不動産登記法中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

第十二 右各案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十三 銀行法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十四 貯蓄銀行法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十五 農工銀行法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十六 北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十七 非訟事件手續法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十八 登錄稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十九 印紙稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十 砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十一 關稅定率法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十二 商事非訟事件印紙法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十三 明治四十年法律第二十一號中改正法律案(樺太ニ於ケル租稅ニ關スル件)(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十四 公益質屋法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十五 水戶鐵道株式會社、越後鐵道株式會社、陸奥鐵道株式會社、若小牧輕便鐵道株式會社及日高拓殖鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十六 鐵道敷設法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十七 商法中改正法律案(三浦數平君提出) 第一讀會

第二十八 恩給法中改正法律案(長峰與一君外三名提出) 第一讀會

第二十九 恩給法中改正法律案(松實喜代太君外三名提出) 第一讀會

第三十 恩給法中改正法律案(一柳仲次郎君外六名提出) 第一讀會

第三十一 治安警察法中改正法律案(山形儀重君外四名提出) 第一讀會

第三十二 大正十四年法律第四十七號衆議院議員選舉法中改正法律案(坂東幸太郎君外三名提出) 第一讀會

第三十三 架空索道ノ抵當ニ關スル法律案(清瀨一郎君提出) 第一讀會

第三十四 被害水田改良事業助成法案(星廉平君外一名提出) 第一讀會

第三十五 金鑛勸業年金ニ關スル法律案(古川清君外二名提出) 第一讀會

第三十六 北海道御料拂下地免租年期ニ關スル法律案(東武君外二名提出) 第一讀會

第三十七 著作權法中改正法律案(內ヶ崎作三郎君外六名提出) 第一讀會

第三十八 借地法中改正法律案(作間耕逸君外二名提出) 第一讀會

第三十九 大正十二年法律第五十二號中改正法律案(司法官試補及辯護士ノ資格ニ關スル件)(橫山勝太郎君外八名提出) 第一讀會

第四十 民法施行法中改正法律案(大石大君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第四十一 地租條例中改正法律案(大石大君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第四十二 商法中改正法律案(土屋清三郎君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

○議長(粕谷義三君) 諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔書記官朗讀〕

一 議員ノ異動左ノ如シ

山梨縣第一區選出議員若尾璋八君辭職ニ付其ノ補闕トシテ村松甚藏君當選セラレタル

一 去五日貴族院ニ於テ本院ノ送付ニ係ル左ノ議案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ

輸出絹織物取締法案(政府提出)

會計檢査院法中改正法律案(政府提出)

一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

鑛業法中改正法律案 (以上三月五日提出)

一 議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

「ローマ」字ヲ小學校教科目中ニ加フルコトニ關スル法律案

提出者 根本 君平君

(以上三月四日提出)

水戶鐵道株式會社、越後鐵道株式會社、

陸奥鐵道株式會社、苦小牧輕便鐵道株式會社及日高拓殖鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案ニ對スル修正案  
提出者 志賀和多利君 植原悅二郎君 (以上三月八日提出)

新瀉港ニ露國領事館設置ニ關スル建議案  
提出者 松井 郡治君 吉原 義雄君 建部 遜吾君 石黒大次郎君 中村 貞吉君 石塚 三郎君 關矢 孫一君 佐藤富十郎君 山田 又司君 山田 助作君

新瀉縣ニ綜合大學設置ニ關スル建議案  
提出者 松井 郡治君 建部 遜吾君 石黒大次郎君 中村 貞吉君 山田 助作君 山田 又司君 石塚 三郎君 吉原 義雄君 關矢 孫一君

日西交通ノ發祥地ヲ史蹟名勝指定地ト爲スノ建議案  
提出者 森 高昶君 鈴木 隆君 濱口吉兵衛君 今井 健彦君 吉植庄一郎君 木村政次郎君

北海道甜菜糖業補助ニ關スル建議案  
提出者 松實喜代太君 岡田伊太郎君 東 武君 黒任 成章君

北海道河川治水工事促進ニ關スル建議案  
提出者 岡田伊太郎君 黒任 成章君 松實喜代太君 東 武君

孝明天皇ノ神宮造營ニ關スル建議案  
提出者 川崎安之助君 森田 茂君 村上 國吉君 木戸 豊吉君 長田 桃藏君 吉村 伊助君 鷲野米太郎君 田崎 信藏君 (以上三月五日提出)

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ  
國定教科書翻刻ニ關スル質問主意書  
提出者 加藤 知正君 (以上三月七日提出)

一政府ヨリ受領シタル答辯書左ノ如シ  
衆議院議員中山貞雄君提出熊本縣大矢野原陸軍廠舎水道引込ニ關スル質問ニ對スル答辯書  
(以上三月七日受領)

衆議院議員小橋藻三君提出人口食糧政策ニ關スル質問ニ對スル答辯書  
衆議院議員伊坂秀五郎君提出鐵道運輸ニ關スル質問ニ對スル答辯書  
衆議院議員松實喜代太君提出北海道拓殖ニ關スル質問ニ對スル答辯書  
衆議院議員兒玉右二君提出對支額問及之カ改善ニ關スル質問ニ對スル答辯書  
衆議院議員加藤十四郎君提出郵便貯金法規ニ關スル質問ニ對スル答辯書  
(以上三月八日受領)

熊本縣大矢野原陸軍廠舎水道引込ニ關スル質問主意書  
右成規ニ據リ提出候也  
昭和二年二月十日  
提出者 中山 貞雄  
熊本縣大矢野原陸軍廠舎水道引込ニ關スル質問主意書

目下重大問題化シツツアル熊本縣大矢野原陸軍演習場ニ於ケル廠舎用ノ水道引込工事問題ハ菅テ岡田及手島二氏カ上益城郡長トリシ時代陸軍ヨリ交渉ヲ受ケ其ノ取入口トシテ豫定セラレタル御船用上流一帯ニ付實地調査ヲ遂ケタル結果其ノ流域ナル九龍、木倉、瀧尾各村ノ水ノ重大ノ關係アルニ鑑ミ計畫ハ一時立消トナリシカ昨年九月二十三日陸軍ハ再ヒ其ノ計畫ノ實行ヲ企圖シ用水關係ノ有無ニ付七龍、木倉、瀧尾三箇村普通水利組合ニ照會スル所アリ同組合管理者古閑文起ハ直ニ其ノ關係ノ至大ナル所以ヲ説キ工事計畫ノ放擲ヲ要求セリ茲ニ於テ陸軍ハ高壓ノ手段ニ出ルノ外其ノ目的ヲ達スル方法

ナシト思惟シ縣廳ニ對シ其ノ承認方ノ交渉ヲ開始セシニ縣廳ハ川端縣技師ノ誤レル調査ヲ基礎トシ用水關係ナク流域村民ニ何等異議ナシト認メ遂ニ承認ヲ與フルニ至レリ  
上記水利組合關係村民ハ陸軍カ突然其ノ工事ヲ開始シ非常ナル速度ヲ以テ工程ノ進行シツツアルニ驚キ(目下既ニ七分通完成セリ)本年一月六日及同二十四日ノ二回ニ互リ強硬ナル抗議ヲ提起セリ結果去ル二月三日財部主計正川端縣技師等ハ水利組合本部ニ臨ミ川端縣技師ヨリ其ノ調査ノ疎漏ヲ陳謝シ財部主計正ハ相互ノ妥協點ヲ求ムルコトニ努力シタルモ水利組合ノ主張カ絶對的ノモノタルヲ以テ遂ニ解決ヲ見ルニ至ラス而シテ縣當局ノ不事態頗ル重大化シツツアリ  
元來御船用ノ水量ハ流域各村ノ灌漑用ニ供シテ年々不足ヲ生スル結果水利組合ニテ用水配給ノ方法ヲ定メ區域ヲ上流下流ニ分テ配水ヲ晝夜交互ニ行フコトシテ纒ニ其ノ用ヲ充シ來レル状態ナレハ陸軍今固リ舉ハ關係村民ニ致命的ノ影響ヲ與フル所以ナレハ縣廳ハ其ノ承認ヲ取消シ陸軍ヲシテ工事中止セシムルノ外解決ノ方途ナキモノト思惟ス  
我ク國情ヨリ本問題ノ如キハ單一縣下ノ問題トシテ取扱フヘキニ非ス地方一二吏僚ノ體面ヲ顧慮シテ其ノ非ヲ遂ケシムルカ如キ備ヲ作ルコトハ將來ノ農政上ニ重大ナル影響ヲ齎スモノナリ殊ニ現在ノ形勢ヨリスレハ今年農季ニ際シ用水不足ノ事實ニ直面セル關係村民ハ窮餘或ハ直接行動ノ如キ非常手段ニ出テ昭和新政ノ初頭ト大不祥事ヲ勃發セシムル懼レナシトセス内務大臣ハ地方官監督ノ責任上速ニ縣當局ヲ戒勸シテ承認ヲ取消ヲ爲サシムルヲ至當ナリトス  
政府ハ以上ノ事實ニ鑑ミ縣當局ヲシテ其ノ承認ヲ取消サシムル意思ナキヤ或ハ縣吏ノ體面ヲ顧慮シ縣技師ノ疎漏ナル調査ニ基キタルコト明ナル該承認ヲ看過スル

意思ナリヤ  
右及質問候也  
昭和二年三月七日  
内閣總理大臣 若槻禮次郎  
衆議院議長 粕谷義三殿

衆議院議員中山貞雄君提出熊本縣大矢野原陸軍廠舎水道引込ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候  
(別紙)

内務省閣上第八號  
衆議院議員中山貞雄君提出熊本縣大矢野原陸軍廠舎水道引込ニ關スル質問ニ對スル答辯書  
右質問ノ要旨ハ熊本縣知事カ大矢野原陸軍廠舎用水トシテ綠川支川御船川小支八勢川上流溪谷ヨリ取水スルコトヲ承認シタルハ下流ニ於ケル七龍、木倉、瀧尾各村ノ灌漑水利ニ惡影響ヲ及ホスモノト認メラルルカ故ニ内務大臣ハ地方官監督ノ責任上其ノ承認ヲ取消スル至當ト認ムルモ之ヲ取消スルノ意思ナキヤ否ヤト云フニアリ

然ルニ右河川ハ河川法ノ適用若ハ準用ノ河川ニアラス從テ本件ハ知事ノ專決處分ニ委任シアルヲ以テ當初内務省ノ關知セザリシ事項ナリ然ルニ最近之ニ關シ調査ヲ爲シタルニ陸軍ノ廠舎ハ阿蘇外輪山ノ高原ニ在リ飲料水ヲ得ルコト頗ル困難ノ状態ナルヲ以テ演習期間ニ於ケル飲料水トシテ僅ニ每秒〇、〇五七立方尺ノ引水ヲ承認シタルモノニシテ之ヲ下流各村ノ灌漑水量四十立方尺ニ比スレハ其ノ七百分ノ一二當ル而テ知事ハ其ノ承認ヲ爲スニ當リ陸軍ニ對シ下流ノ灌漑用水不足ヲ來ササル様考慮スヘキ條件ヲ附シタルモノニシテ其ノ處分ハ失當ニアラス又陸軍カ本件河水引用ニ就キ高壓ノ手段ニ出タリト云フハ全ク事實ニ反シ陸軍ニ於テハ下流水利組合ニ對シ其ノ施設ノ概要河水引用ノ程度及其ノ緩和策、水源涵養等企圖ノ詳細ヲ明示シ地方灌漑ニ對シ

ナシト思惟シ縣廳ニ對シ其ノ承認方ノ交渉ヲ開始セシニ縣廳ハ川端縣技師ノ誤レル調査ヲ基礎トシ用水關係ナク流域村民ニ何等異議ナシト認メ遂ニ承認ヲ與フルニ至レリ  
上記水利組合關係村民ハ陸軍カ突然其ノ工事ヲ開始シ非常ナル速度ヲ以テ工程ノ進行シツツアルニ驚キ(目下既ニ七分通完成セリ)本年一月六日及同二十四日ノ二回ニ互リ強硬ナル抗議ヲ提起セリ結果去ル二月三日財部主計正川端縣技師等ハ水利組合本部ニ臨ミ川端縣技師ヨリ其ノ調査ノ疎漏ヲ陳謝シ財部主計正ハ相互ノ妥協點ヲ求ムルコトニ努力シタルモ水利組合ノ主張カ絶對的ノモノタルヲ以テ遂ニ解決ヲ見ルニ至ラス而シテ縣當局ノ不事態頗ル重大化シツツアリ  
元來御船用ノ水量ハ流域各村ノ灌漑用ニ供シテ年々不足ヲ生スル結果水利組合ニテ用水配給ノ方法ヲ定メ區域ヲ上流下流ニ分テ配水ヲ晝夜交互ニ行フコトシテ纒ニ其ノ用ヲ充シ來レル状態ナレハ陸軍今固リ舉ハ關係村民ニ致命的ノ影響ヲ與フル所以ナレハ縣廳ハ其ノ承認ヲ取消シ陸軍ヲシテ工事中止セシムルノ外解決ノ方途ナキモノト思惟ス  
我ク國情ヨリ本問題ノ如キハ單一縣下ノ問題トシテ取扱フヘキニ非ス地方一二吏僚ノ體面ヲ顧慮シテ其ノ非ヲ遂ケシムルカ如キ備ヲ作ルコトハ將來ノ農政上ニ重大ナル影響ヲ齎スモノナリ殊ニ現在ノ形勢ヨリスレハ今年農季ニ際シ用水不足ノ事實ニ直面セル關係村民ハ窮餘或ハ直接行動ノ如キ非常手段ニ出テ昭和新政ノ初頭ト大不祥事ヲ勃發セシムル懼レナシトセス内務大臣ハ地方官監督ノ責任上速ニ縣當局ヲ戒勸シテ承認ヲ取消ヲ爲サシムルヲ至當ナリトス  
政府ハ以上ノ事實ニ鑑ミ縣當局ヲシテ其ノ承認ヲ取消サシムル意思ナキヤ或ハ縣吏ノ體面ヲ顧慮シ縣技師ノ疎漏ナル調査ニ基キタルコト明ナル該承認ヲ看過スル

十分ノ考慮ヲ拂ヒツツアル旨ヲ説明シタルニ組合ニ於テモ之ヲ諒トセルモノナリ  
之ヲ要スルニ本件知事ノ處分ハ下流灌概ニ支障ナカラシムル様適當ニ考慮シタル處分ナルヲ以テ之ヲ取消スノ要ナシト認ム  
右及答辯候也  
昭和二年三月七日  
内務大臣臨時代理 安達 謙藏  
遞信大臣 宇垣 一成  
陸軍大臣 宇垣 一成

人口食糧政策ニ關スル質問主意書  
右成規ニ據リ提出候也  
昭和二年二月十日  
提出者 小橋藻三衛  
人口食糧政策ニ關スル質問主意書  
限リアル國土ニ限リナク累加繁殖スル人口問題ヲ處理シ其ノ食糧ニ不足ナカラシメ以テ其ノ生存ヲ安定セシムルハ國家最大ノ政策タリ政府ハ之ニ對シテ調査會ヲ設置セムトス其ノ基礎の所見如何  
右及質問候也

昭和二年三月八日  
内閣總理大臣 若槻禮次郎  
衆議院議長 柏谷義三殿  
衆議院議員 小橋藻三衛君提出人口食糧政策ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候  
〔別紙〕  
衆議院議員 小橋藻三衛君提出人口食糧政策ニ關スル質問ニ對スル答辯書  
我邦人口ノ増加ハ近時頗ル著シキモノアリ然ルモ食糧ノ増加之ニ伴ハス年々巨額ノ外國產米麥ノ輸入ヲ見ルノ狀勢ナルヲ以テ將來永ク國民生活ノ安定ヲ期セントスルニ於テ一面人口ノ配置ヲ適當ニ處理スルノ計畫ヲ講シ他國土ノ利用ヲ全フスルノ施設ヲ爲スノ要アリ乃チ此兩方面ニ於ケル有效且適切ナル方策ヲ樹ツルハ刻下ノ急務ニシテ而モ之ヲ爲スニテ重要且困難ナリ隨テ是等諸事項ニ關シ根本的ノ調

査ヲ遂ケテ以テ具體の成案ヲ得ルカ爲ニ朝野ノ有識者ヲ網羅シタル調査會ヲ設ケ之ヲシテ各般ノ事項ニ互リ銳意調査攻究ヲ盡サシメサルヘカラス是レ政府カ今回特ニ人口食糧問題調査會ヲ設置スル所以ナリ  
右及答辯候也  
昭和二年三月八日  
内閣總理大臣 若槻禮次郎  
農林大臣 町田 忠治

鐵道運輸ニ關スル質問主意書  
右成規ニ據リ提出候也  
昭和二年二月十日  
提出者 伊坂 秀五郎  
鐵道運輸ニ關スル質問主意書  
政府ハ小運送賃金ヲ低廉ニセムカ爲運送業者ノ合同ヲ策セムトス斯ノ如キハ果シテ其ノ所期ノ目的ヲ達スルヲ得ルノ確信ヲ有スルヤ之ニ對スル所見如何  
右及質問候也

昭和二年三月八日  
内閣總理大臣 若槻禮次郎  
衆議院議長 柏谷義三殿  
衆議院議員 伊坂秀五郎君提出鐵道運輸ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候  
〔別紙〕  
衆議院議員 伊坂秀五郎君提出鐵道運輸ニ關スル質問ニ對スル答辯書  
現在小運送費ノ一般鐵道船舶等ノ大運送ニ比較シテ著シク高價ニシテ且ツ不公正ナルハ明ナルカ其ノ主タル原因ハ信用乏シキ多數ノ業者カ分立シ各自ニ資本ヲ投下シ各別ニ經營ヲ行ヒ之カ爲メ巨額ノ資本ヲ死藏シ冗費ヲ重ネ意イテ小運送費ノ高額ト不公正ヲ生スルモノニシテ如何ニ鐵道運賃ニシテ低廉公正ヲ持シ比較の恒久性ヲ維持スルモ之ニ倍加スル小運送賃ヲ現狀ニ放任スルニ於テハ交通運輸ニヨル産業、生活ノ安定ハ得テ期スヘカラス運輸交通改善ノ要ハ畢竟物資ヲ戸口ヨリ戸口ニ又ハ生産地點ヨリ加工若クハ消費地點ニ最モ迅速、低廉、正確ニ運送スル

ニ在リ之カ爲メニハ獨リ鐵道自體ノ運輸ノ改善ヲ以テ足レリトセス小運送機關ノ改善ニヨリ經濟の共同ノ連絡ヲ謀リ以テ國家産業生活ノ進展ヲ期セサルヘカラス、然シテ此ノ目的ヲ達セムカ爲メニハ現在ノ多數ノ業者ヲ其ノ自由意思ニ基キ合同セシムルヲ以テ資本ノ利用ト經濟ノ能率トヲ舉ケル外ナシ  
即チ運送業者ノ合同ハ彼ノ銀行、船舶其他ノ經濟、交通界ニ於ケル合同カ一般的ニ好成绩ヲ以テ迎ヘラルル所以ト全ク其ノ理ヲ同シクスルモノナリ、或ハ運送取扱業者ノ合同ハ競争心ヲ減殺シ獨占ノ弊ヲ來スヤノ疑ヲ有スル者アルカ如キモ合同ノ結果餐費ヲ省キ運搬作業ヲ簡易ニシ諸掛ヲ輕減シ得ルヲ以テ當然運賃料金ノ低廉ヲ來スヘキノミナラス其ノ信用ノ確保ハ以テ幾多ノ不正取返ヲ防止シ經濟界ノ健全ナル發達ヲ助成スヘキハ明ナリ且ツ目下其ノ小運送料金ハ荷主關係公衡其他ノ關係者ヨリ成ル協議機關ニヨリカ公正ナル標準ヲ得ムトシツツアリ、從テ運送業者ノ合同ヲ以テ小運送賃金ヲ公正低廉ナラシムル目的ヲ達成シ得ルモノト信ス  
右及答辯候也  
昭和二年三月八日  
鐵道大臣 子爵 井上匡四郎

北海道拓殖ニ關スル質問主意書  
右成規ニ據リ提出候也  
昭和二年二月十日  
提出者 松實喜代太  
人口ノ移殖、土地ノ開發並產業ノ開發ハ拓殖ノ根本義ナルハ言フ俟タサル所ナリ政府ハ第二期北海道拓殖計畫策定ニ方リ北海道ニ於ケル人口、農牧地、米ノ產額並各種生産物年總額ヲ何程ニ達セシムルヲ目標ト爲シ且將來拓殖完成ノ曉ニハ幾何ニ達スルノ見込ナルヤ政府ノ所見ヲ問フ  
右及質問候也

昭和二年三月八日  
内閣總理大臣 若槻禮次郎  
衆議院議長 柏谷義三殿  
衆議院議員 松實喜代太君提出北海道拓殖ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候  
〔別紙〕  
衆議院議員 松實喜代太君提出北海道拓殖ニ關スル質問ニ對スル答辯書  
衆議院議員 松實喜代太君提出北海道拓殖ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候  
〔別紙〕  
衆議院議員 松實喜代太君提出北海道拓殖ニ關スル質問ニ對スル答辯書  
衆議院議員 松實喜代太君提出北海道拓殖ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

昭和二年三月八日  
内閣總理大臣 若槻禮次郎  
衆議院議長 柏谷義三殿  
衆議院議員 松實喜代太君提出北海道拓殖ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候  
〔別紙〕  
衆議院議員 松實喜代太君提出北海道拓殖ニ關スル質問ニ對スル答辯書  
衆議院議員 松實喜代太君提出北海道拓殖ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

對支顧問及之カ改善ニ關スル質問主意書  
右成規ニ據リ提出候也  
昭和二年二月十五日  
提出者 兒玉 右二  
對支顧問及之カ改善ニ關スル質問主意書  
帝國臣民ニシテ中華民國ニ常住シ親シク顧問トシテ大官ノ輔導ニ獻替スル人ノ責任ヤ重ク厥ノ任務ヤ切ナリ大ニシテハ東洋文化ノ盛衰ニ關シ黃色人種ノ存亡ニ係ル然ルニ公私ノ顧問ナルモノヲ看ルニ此ノ抱負ニ出發シテ東洋民衆ノ慈愛ニ貢獻シ得ルヤ疑ヒナキ能ハス此ノ點ニ付テハ列舉舉證スルモ外務陸軍兩大臣ノ答辯ヲ求ム  
右及質問候也  
昭和二年三月八日  
内閣總理大臣 若槻禮次郎  
衆議院議長 柏谷義三殿  
衆議院議員 兒玉右二君提出對支顧問及之カ改善ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

對支顧問及之カ改善ニ關スル質問主意書  
右成規ニ據リ提出候也  
昭和二年二月十五日  
提出者 兒玉 右二  
對支顧問及之カ改善ニ關スル質問主意書  
帝國臣民ニシテ中華民國ニ常住シ親シク顧問トシテ大官ノ輔導ニ獻替スル人ノ責任ヤ重ク厥ノ任務ヤ切ナリ大ニシテハ東洋文化ノ盛衰ニ關シ黃色人種ノ存亡ニ係ル然ルニ公私ノ顧問ナルモノヲ看ルニ此ノ抱負ニ出發シテ東洋民衆ノ慈愛ニ貢獻シ得ルヤ疑ヒナキ能ハス此ノ點ニ付テハ列舉舉證スルモ外務陸軍兩大臣ノ答辯ヲ求ム  
右及質問候也  
昭和二年三月八日  
内閣總理大臣 若槻禮次郎  
衆議院議長 柏谷義三殿  
衆議院議員 兒玉右二君提出對支顧問及之カ改善ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

〔別紙〕

衆議院議員見玉右二提提出對支廳問及之改善ニ關スル質問主意書ニ對スル答辯書

政府ハ支那ニ於テ現ニ北京政府及各地方當局ニ備聘セラレ居ル邦人顧問ハ何レモ誠實ニ其ノ當然ノ職責ヲ盡シツツアルモノト認ム

右及答辯候也

昭和二年三月八日 陸軍大臣 宇垣 一成

外務大臣 男爵幣原喜直郎

郵便貯金法規ニ關スル質問主意書 右成規ニ據リ提出候也

昭和二年二月十五日

提出者 加藤十四郎

郵便貯金法規ニ關スル質問主意書 我々國ノ郵便貯金法規ハ特定重要事項ニ

關スル條文粗糲ナル爲殆ト犯罪行為ヲ防止スルニ足ラス其ノ微力ナルコトハ宛然トシテ結繩ノ政以テ亂泰ノ俗ヲ治ムトスルニ類ス此レ貯金關係ノ被害件數率遙ニ歐米ヲ凌駕スル所以ナリト信ス是ニ於テ乎我々政府ハ貯金制度中例ヘハ通帳ノ盜難紛失若ハ改印等ノ特定事項ニ對シテハ立證力微弱ナル印影ノミヲ以テ足レリトセス更ニ先進國ノ慣例ヲモ採酌シ貯金者本人ノ筆跡ニ重キヲ措キ(本人自署シ能ハサル場合ハ代人トシテ其ノ直系、傍系尊卑屬親ノ自署)印影自署提而復本位主義ノ下ニ法規ヲ改正シ犯罪行為ノ他凡百ノ弊源ヲ一掃シ三千有餘萬十二億餘圓ノ貯金者及多數局員ノ安定ト信用ヲ維持シ益郵貯制度ノ完全ト隆昌ヲ講スルノ意思ナキヤ

昭和二年三月八日

内閣總理大臣 若槻禮次郎

衆議院議長 粕谷義三君

衆議院議院加藤十四郎君提出郵便貯金法規ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

〔別紙〕

貯第四五號

衆議院議員加藤十四郎君提出郵便貯金法規ニ關スル質問ニ對スル答辯書

我國ノ郵便貯金法規ハ大體ノ範ヲ歐洲諸國ニ採リタルモノ預入及拂戻ノ方法等ニ於テハ特ニ預入者ノ利便ヲ考慮シタルヲ以テ一面之ニ仲ヒテ生スルコトアルヘキ犯罪其ノ他ノ事故ノ防遏ニ關シテハ常ニ充分ナル研究ヲ怠ラサル所タリ例示ノ印影自署提而復本位主義ノ如キニ付キテハ我國ノ一般慣習、預入者ノ自署能力ト其ノ手數、筆蹟判斷ニ伴フ困難其ノ他アテユル利害ヲ參酌シ一層講究ニ努ムヘシ

昭和二年三月八日

遞信大臣 安達 謙藏

〔左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス〕

一去五日衆議院規則第十五條但書ニ依リ議長ニ於テ議席ヲ左ノ通指定變更セリ

九 石川長右衛門君

一五 埼玉縣第三區 選出議員

一七 多木久次郎君

四四 岡田 温君

五七 堤 清六君

五八 米原於菟男君

一〇五 村松 甚藏君

一去五日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ 國有財産整理資金特別會計法ノ特例ニ關スル法律案(政府提出)外一件委員 委員長 原田藤次郎君

理事

阿由葉勝作君 中島 守輔君

一去五日水戸鐵道株式會社、越後鐵道株式會社、陸奥鐵道株式會社、苫小牧輕便鐵道株式會社及日高拓殖鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案外一件委員 岡田豐吉君辭任ニ付其ノ補闕トシテ廣瀨爲久君ヲ電氣事業法中改正法律案委員 森島昶君小屋光雄君辭任ニ付其ノ補闕トシテ田邊七六君武藤嘉門君ヲ九州

製鋼株式會社ノ工場等ノ買收代金ニ關スル法律案委員 吉田磯吉君平川松太郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ平川松太郎君平井光三郎君ヲ銀行法案外四件委員 高島順作君菅原英伍君佐藤實君山本厚三君辭任ニ付其ノ補闕トシテ前田房之助君淺川浩君永田善三郎君若佐藤富十郎君ヲ執レモ議長ニ於テ選定セリ

一昨七日理事補闕選舉ノ結果左ノ如シ 水戸鐵道株式會社、越後鐵道株式會社、陸奥鐵道株式會社、苫小牧輕便鐵道株式會社及日高拓殖鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)外一件委員 理事 關矢 孫一君(理事金澤安之助君二月二十三日辭任ニ付其ノ補闕) 一昨七日水戸鐵道株式會社、越後鐵道株式會社、陸奥鐵道株式會社、苫小牧輕便鐵道株式會社及日高拓殖鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案外一件委員 今井健彦君大津淳一郎君山本厚三君辭任ニ付其ノ補闕トシテ志賀和多利君近藤藤三郎君松田三德君ヲ造林助成法案委員 宮崎友太郎君辭任ニ付其補闕トシテ中村四郎兵衛君ヲ部落問題ノ國策確立ニ關スル建議案委員 坂井大輔君村上國吉君辭任ニ付其ノ補闕トシテ山口義一君荒川五郎君ヲ公益質屋法案委員 櫻内幸雄君辭任ニ付其ノ補闕トシテ田中隆三君ヲ徵兵令改正法律案委員 田口文次君辭任ニ付其補闕トシテ宣保成晴君ヲ出版物法案委員 今里準太郎君兼田秀雄君辭任ニ付其ノ補闕トシテ篠原和申君森繁君ヲ執レモ議長ニ於テ選定セリ

○議長(粕谷義三君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、御諮リヲ致ス事ガアリマス、第一部選出豫算委員板野友造君、第二部選出決算委員關俊吉君、右兩君ヨリ常任委員辭任ノ申出ガアリマシタ、許可スルニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ許可致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補闕選舉ヲ行ヒ、御報告ヲランコトヲ望ミマス、尚ホ平山爲之助君病氣ニ付、三月八日ヨリ三月十五日マデ、請暇ノ申出ガアリマシタ、許可スルニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ許可致シマス、議事進行ニ關シテ發言ヲ求メラレテ居ル諸君ガ多數ゴザイマス、順次之ヲ許シマス、田淵豐吉君

〔田淵豐吉君登壇〕

○田淵豐吉君 私議事進行ニ付テ發言ヲ致シタイト思ヒマス、此間ノ本會議テ聞ク積リデゴザイマシタガ、時計ガ間違テ半時間違レマシタノデ、其間ニ合ハナカタ次第デゴザイマス、今日ハ之ヲ議長ニ問ヒタイ、又井本君ニモ問ヒ、議員諸君及黨員諸君ノ反省ヲ求メタイト思ヒマス、是デハ議事ガ皆ク行カナイト私ハ思ヒマスカラ、第一ニ餘計ナコトカモ知レマセマカ、聽イテ置キタイト思フ、議長ハ議事ノ進行、議事ノ整理、議場ノ整理、其他ニ關シテ議場ニ警告スルコトガ有ルカ無イカト云フコトガ聞キタイ、窃ニ各派交渉會ヲ開イテヤルサウデアリマスガ、議長ガ憲法或ハ議院法ノ規定ニ基キ、其他一切ノ事務ニ關シテ、各派交渉會其他議會ノ議員ニ警告ヲ與ヘルコトガ有ルカ無イカト云フコトヲ聞キタイ、詰リ議長ノ權限ガ非常ニ縮小サレタト云フコトヲ思フデアリマス、故ニ議長ハ宜シク斯ノ如キ場合ニ、唯、動議ニ動議ヲ以テ動議ヲ來スト云フコトナクシテ、議長ハ嚴然起テ議會ニ大ナル警告ヲ發シテ、國民ニ之ヲ知ラシメルト云フコトガ、議長ノ責務デハナイカト思フノデゴザイマス、ソレデナイト議長ガ皆ク治マラヌデハナイカト思フ、是ガ第一ノ質問デアアル、第二ノ質問ハ、是ハ議事規則ニ據クノデアリマス、或ハ慣例ト云フヤウナモノガ、テカ、此間ニ三十一議會ニ地租、營業稅改正ノ時ニアッタト云フヤウナコトデアリマス、ソレヲ插ニ取、テ井本君ハヤテ居ルラシイ、議長モ亦任方ナク之ニ贊同シテ居ルト云フヤウナ狀態

デ、下シテ無理ナ事デモ、黨員ノ出席者ガ多數デアレバ通ヌコトガ出来ルト云フ例ニナリテ居ルラシイノデゴザイマス、果シテ是ガ全然サウシナケレバナラヌモノデアラカ、尙ホ議長ハ之ニ反對シ得ル權能ヲ持テ居ルカドウカト云フコトヲ明ニシテ置キタイ、第三三閣キタイノハ、過日震災手形ノ二法案ニ付キマシテ、其内容ニ付テ委員會デ言フ事ト、此所デ大臣ガ言フ事ト違ヒマスカラ、其内容ヲ明ニシタイト云フコトニ付テ、此所ニ登テ其質問ヲシヤウト思フタラ、ソレヲ禁止シタト云フヤウナ例ガアリマス、ソレカラ私等議事進行ニ付テ、何故サウ云フヤウナ事ヲスルカト云フコトヲ聞カフトシタラバ、ソレヲ禁止シテシマツタ、井本君ガ動議ヲ出シテ、此二法案ガ通ルマデハ一切ノ發言ヲ許サヌト云フヤウナコトニナリテ、マルキリ此所デ——議場ガ表決ヲシテ、少數デアアルカ多數デアアルカ起立ニ問ウテ、八回モ九回モヤツテ居ルト云フヤウナ事デゴザイマシタ、其後或人ガ關入ヲシテ、議員ニ非ザル人ガ此内ニ入ッテ居タト云フヤウニ聞キマシタ、ソレヲ警務課デ取調ベテ居タ事實ヲ聞イタノデアリマスガ、其時ニモ議長ハ尙ホ議事進行ニ付テ私ノ發言ヲ禁止シタノデゴザイマス、秘書課ノ或人ガ私ノ議事進行ニ付テノ發言ヲ受付ケナカッタノデゴザイマス、詰リ此二法案ガ通過シナイ間ハ暴漢ガ關入シヤウガ、人殺シガアラウガ、一切議事進行ニ付テ發言ヲ止メ得ルモノデアルカナイカト云フコトヲ聞イテ置キタイノデゴザイマス、是ハ今日バカリノ問題デナイ、他ノ動議ハドウデアラフテモ、議事進行クケハ相當ニ許サナケレバ、啞ト啞トガ喧嘩ヲスルヤウナ工合デ、唯、寄リテヤルト云フヤウナ状態デ、實ニ私ハ議場ノ整理ニ不都合ナ状態デハナイカト思フノデゴザイマス、故ニ議長ハ何ガ故ニ再ビ私ガ問ウタ時ニ、之ヲ秘書課ノ人ガ受付ケナカッタカ、又ハ書記官長ハ人ヲ通シテヤツタノデアリマスガ、議長ハ今日ハイカヌト言フ、其次ハイケルカイテヌカ分ラヌト言ハレタ、私ハ遅レタ爲ニ、

其時ニ問フコトガ出来ナカッタノデ、今日問フノデゴザイマス、何ガ故ニサウ云フヤウナ亂暴ノ動議ガ出テモ、多數デアレバ議長ハ何デモ之ニ從ハナケレバナラヌカ、サウ云フ場合ニハ議長ハ辭表ヲ突付ケテ、議場ヲ整理スルコトガ出来ナイト云フ貴方負ウテ引クガ宜シト思フ、議長ハ必シモ諸君ノ不信任ノ結果ヲ恐レテヤル必要ハナイト思フ、議長ハ斷然職ヲ退イテ議場ノ反省ヲ求メル必要ガアルト思ヒマス、議長ハ果シテ斯ノ如キ態度ヲ執リ得ルヤ否ヤ、執ルガ宜イカドウカト云フコトヲ、議會及國民ニ向テ言明シテ戴キタイト思フノデゴザイマス、抑、井本君ノ言フノハ、非常ニ物ヲ重大視シ、非常ニ敵黨ガ絡ンデ來ルノヲ恐レタ結果デハナイカト思フノデゴザイマス、諸君ヨ、私ハ斯ノ如キ事ハ何故起リテ來タカト申シマス、私ハ能ク内容ハ知りマセヌケレドモ、先ニハ朴烈問題ニ付テ三黨首ノ申合せガ起リテ、不信任案ガ直ク撤回サレテシマツテ、隨テズレト豫算ガ通過シテシマフト云フコトデ、サウシテ來年度再來年度マデ、四五年モ十年モ續ク、減債基金ノ四分ノ一ノ問題ニ付テモ、一時的ノ三黨首ノ申合せニ依リテ、昭和ノ初年ニ於テ行フ施設ノ爲ニ、遂ニ何年マデモ其影響ヲ蒙ラナケレバナラヌト云フヤウナ状態デアリマ

ス、今日ノ震災手形デモ私等ハ素人デゴザイマスケレドモ、金ヲ借りル者ハ銀行名位ハ言ウテ宜シイ、金額モ宜イ、或ハ何分デ借りルト云フ利子モ附ケテ置カナケレバナラヌ、果シテ是ハ返セルモノカ、返セヌモノカ、疑問ガアルナラバ其疑問ヲ明ニスル必要ガアルト思フデアリマス、然ルニモ拘ラズ政友會ハ贊成シナガラ、ポカト贊成シテシマフ、故ニ世間ハ疑フテ居ルノデゴザイマス、彼等ハ一分ノ「コンミッショ」ガアレバ百方圓、二分サラ二百方圓ノ金ヲ以テ選舉民ニ臨ムノデハナイカト云フ疑義ヲ持ッテ居ルト云フヤウナ状態デゴザイマス、斯ウ云フヤウナ世間ガ疑義ヲ持ッテ民心ガ安定シナイノデアアル、黨員ガ安定シナイノデアアル、故ニ憲政會デモ本黨デモブウノ言フテ居ル者ガ大分アルト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマス、先ニハ朴烈問題ヲ笠ニ被テ、サウシテ一絡ニヤツテ來タ、今回ハ支那問題ヲ橋ニ取テ、支那ガ重大デアアルカラト云フコトデ威カシテ、サウシテ二黨ガ合併シヤウト云フヤウナコトヲスル、支那問題ハ政友會モ舉國一致デアレバ宜イノデアアル、何モ本黨ト憲政會ト組ンデヤラナクテモ支那問題ノ解決ハ出來ル、サウ云フ事ヲ看板ニシテ國民ヲ威カシ、旨クヤルト云フテ片方デ變ナ事ヲヤルト云フヤウナ状態デアアル、震災手形ニ反對シタモノガ直グニ贊成シテシマフ、ドウスル爲デアルカ、政權獲得ノ爲ニ、地盤擁護ノ爲ニ、自己ノ面目ヲ立テンガ爲ニ、非常ナル所ノ混亂ヲ議會ニ及ボスト云フコトハ、ドウ云フ譯デアアルカ、是ハ即チ其問題ガアルカラスウ云フ事ガ起リテ來ルノデアリマス、サウ云フウカハ私ハ非常ニ憤ルムベキ問題デハナカラウカト思フノデアリマス、詰リ床次君ハ非常ニ好イ人デ、私ハ其窮狀ハ實ニ察スルニ餘リアル、涙ノ零レルヤウナ點モアリマス、併ナガラ之ヲ公ニシテ民心ヲ安定シテ、國家百年ノ長計ヲ爲スト云フ氣ニナレバ、姑息ナル所ノ妥協苟合ニ依ラズシテ、正義ノ在ル所ニ邁進シナケレバナラヌト思フノデゴ

ザイマス、床次君モ正義ヲ高調シテ居ル、然ルニモ拘ラズ申合フ三黨首トシ、又二黨首トヤツテ居ル、サウシテ何ト云フタカ、要スルニ政黨ノ提携ト云フテモ兩方ノ互ノ心カラノ贊成ト納得トガナケレバ、眞々效果ハ無イモノト云フテ逃ゲテ居ル、斯ウ云フ状態デアアル、サウ言フ譯デ床次君ハ氣ノ毒デアル、旨ク行ケバ床次君ノ爲ニハ宜イカモ知レヌ、惡ク行ケバ非常ナル所ノ窮境ニ立テ、彼方ヘ行ケテモイカヌ、此方ヘ行ケテモイカヌト云フヤウナ状態ニナルコトヲ私ハ非常ニ衷心カラ氣ノ毒ニ思フノデゴザイマス、諸君ヨ、私ハ思フノデゴザイマス、今日ノ政局ノ安定乃至進歩ト云フモノハ、主義政策ニ忠實ニシテ、政權ヲ維持或ハ獲得ヲ後ニスルニアルト私ハ思ヒマス、國家國民ヲ先ニシテ其後ニ黨アリ、其黨ニ黨主アリ、周圍ノ人ヲ最後ニスルコトガ必要デアルト思フノデゴザイマス、然ラズンバ遂ニ民心ノ安定ヲ得ズ、黨員ノ安定ヲ得ズ、政黨ノ安定ヲ得ズ、故ニ政局ノ安定ヲ期スルコトガ出來ナイト思フノデゴザイマス、故ニ諸君ガ一時ノ法案ヲ通シテ、サウシテ貴族院デ又阻止セラレルト云フヤウナ状態ガアツテ、諸君ノ政權獲得ノ爲ニ政策ガグラ——ト動イテ、其爲ニ委員會モ、ヤルモノモヤラナシタリ、一氣呵成ニヤルベカラザルモノヲヤツタリ、本會議テ阻止シタリ、議事進行ヲ止メタリ、質問ノ内容ヲ明ニシナカッタリシテ、サウシテ國民ニ疑惑ノ念ヲ懷カセ、三黨首ニ黨首ガ會合シテ、其周圍ノ四五人ニ、黨首トシ、其黨員ガ後ニ仕方ナク跟イテ行カナケレバナラヌト云フヤウナ不平不滿ガ其處ニ生ズルト思フノデゴザイマス、斯ウ云フヤウナ日本ノ状態デハ、到底公明ナル正義ノ政治ハ出來ナイノデゴザイマス、若槻君モ此處ニ居ラレバ、其點ニ大ニ注意ヲシテ、唯、單ニ日本ガ今日デ終リシマフ日本デハナイ、支那問題モ大ニヤラナケレバナラヌ、諸政策モヤラナケレバナラヌ、諸政策ノ合致ニ依リテ其所ニ政綱ガ出來ル、主義ガ出來ルノデアアル、二人寄リテ一寸持ヘタ政策

ハ又離レタラドウカ、其私生兒ハ遣リ場ニ困ルデハナイカ、サウ云フヤウナ具合ニ辻棲ノ合ハ又政策、法律ヲ澤山拵ヘテ民ヲ害スルト云フコトハ、諸君ノ意思デハナカラウト思フ、故ニ權勢怒ヲ絶テ、國民ノ正義觀念、政治道徳ノ上ニ於テヤルコトガ最モ必要ナル、故ニ私ハ井本君ノ發議ニ對シテ、政友會ノ人ミガ三人來テ、懲罰ノ動議ヲ田淵カラ出セト言フタケレドモ、私ハ控ヘテ居ラ、サウ云フコトヲ度々セラレルト云フコトハ、非常ニ議會ノ神聖ヲ汚ス、諸君ノ體面ヲ汚スモノデアリマスカラ、井本君ニモ警告シ、及若槻君、床次君ニモ警告シタイ、殊ニ議長ニ對シテハ此三問題ニ對シテ、明確ナル答辯ヲ國民ニ徹底スルヤウニ願ウテ、議事ノ神聖ヲ進行ヲ致シテ、サウシテ國家百年ノ爲ニ、吾々ガ何時死カ分ラヌ所ノ身ヲ以テ、奮勵努力シテ居ル所以ヲ諸君ハ自ラ能ク鑑ミテヤラナケレバ、政局ノ安定ハ出來ナイ、政治ノ安定ハ出來ナイ、民心ノ安定ハ出來ナイノデアリマス、三黨首ノ申合セニ依テ裏切コトトニ依テ、國民ガ憤激ノ眼ヲ開イテ居ルト云フコトハ明ナ事實デアリマス、今聯盟ガ成ラントシテ居ルヤウナ状態、一成ルカ成ラヌカ分ラヌト云フヤウナ状態ニ在ル、諸君ハ此正義ノ眼ヲ以テ總テノ政治ヲヤテ行クト云フ大ナル確信アルニアラズンバ、議事ヲ混沌セシメテ何等得ル所ガナイト云フヤウナ現狀ヲ來ス、諸君ハ宜シク猛省シテ、國民ヲ愚ニセザランコトヲ望ム次第デゴザイマス

ニ依リマシテ、當時上程ニナツテ居リマシタ幾多ノ法案ノ議了致シマスマデ、一切ノ議事進行ノ發言ヲ許サナイト云フ動議ヲ提出ニナツテ、サウシテ是ガ可決ニナツテ居ラノデアリマス、斯様ナ次第デアリマスカラ、遺憾ナガラ田淵君ノ議事進行ノ發言ヲ許可致サナカッタノデアリマス、而シテ井本君ノ提出サレマシタ所ノ動議ハ、果シテサウ云フモノヲ多數ヲ以テ決メルコトガ善イカ悪イカト云フコトニ付テ、議長ノ意見ヲ御尋ニナツタヤウデアリマスルガ、議長ト致シマシテハ總テノ動議ガ法規慣例ニ抵觸シテ居ラナイモノハ、而シテ成規ノ手續ヲ履ンデ提出サレマシタ以上ハ、之ヲ受理致サス譯ニハ參ラヌノデアリマス、既ニ之ヲ受理致シマシテ、サウシテ御承知ノ如ク院議多數ヲ以テ之ヲ決セラレタノデアリマシテ、議長ハ之ヲ以テ違法ノ決議ナリトハ認メテ居ラヌノデアリマス、左様ナ次第デアリマシテ、其結果トシテ田淵君ノ議事進行ノ發言モ、遂ニ之ヲ許可セザリシ譯デアッタノデアリマス、尙ホ是等ニ付キマシテモ田淵君ノ御意見ハ、議長ニ於キマシテモ大ニ考慮スル點モゴザイマス、是ダケノコトヲ御答ヲ致シテ置キマス——此際新ニ議席ニ著カレマシタ議員ヲ御紹介致シマス、其姓名ヲ讀上ゲマシタナラバ御起立ヲ願ヒマス、第二百五番、山梨縣第一區選出議員村松甚藏君

案ヲ提出シタノデアリマス、是ハ皆御承知ノ通りニ大正六年ニ大藏省令ニ依テ改正サレタモノデアリマスガ、斯ノ如キコトハ大藏省令ニ依テ爲スベキモノデナイト私共ハ考ヘタノデアリマス、故ニ之ヲ改正サルベキ案ヲ政府ニ於テ提出サレンコトノ決議案ヲ提出シタノデアリマス、而シテ今日金貨輸出ヲ禁ジテアル爲ニ、其爲替ハ高低常ナラズシテ安定スル所ヲ知ラナイノデアリマス、而シテ近時爲替ハ餘程恢復致シマシタケレドモ、新聞紙ノ報ズル所ニ依レバ、大藏大臣ハ六月或ハ七月ニ之ヲ實施スルカモ知レナイト云フヤウナコトヲ言ウテ居ルノデアリマス、故ニ斯ノ如キ大切ナル問題ガ一月二十五日カラ當議場ニ決議案トシテ出テ居リマスルモノガ、何等ノ方式ニ依テモ是ガ議場ニ上ラナイ、議セラレナイ、斯ウ云フコトハ國民ハ非常ナ疑惑ヲ以テ考ヘナケレバナラヌコトニナルト思ヒマス、殊ニ最モ大切ナル海外ノ輸出貿易ニ及ボス所ノ影響ハ甚大デアルノデアリマス、此場合ニ大藏省ガ明ニ何時何日ニ金ヲ輸出スルト云フヤウナコトヲ明言サレタナラバ兎モ角モ、然ラザレバ此議場ニ於テ此爲ニ種々意見ヲ交換シ、此決議案ガ通りマシテ、サウシテヤント法律ニナツテ出マシタナラバ、國民ハ之ニ依テ據ル所ガアルト云フコトヲ確信スルコトガ出來ルノデアラウト私ハ信ズルノデアリマス(拍手)斯ウ云フ問題ヲ何時マデモ抛ッテ置カレルト云フコトハ、議員ト致シマシテ私共ガ職責アリマス、故ニ今日私ハ茲ニ議事進行ニ付テ此事ヲ皆サンニ御要求致シマシテ、サウシテ此一月二十五日ニ提出致シマシタ大藏省令第二十八號ヲ廢止シ、之ニ代ルベキ法律案ヲ制定セラレンコトノ決議案ヲ出シテ居ルノデアリマスカラ、是非皆サンハ速ニ此問題ヲ上程セラレテ、此金貨輸出ノ問題ガ此議場ニ於テ如何ニ重ク考ヘラレテ居ルカト云フコトヲ國民ニ知ラシメルコトハ、最モ大切ナル職務デアルト考ヘルノデアリマス、故ニ之ヲ議事進行ニ依テ皆様

ニ御考ヲ煩シタイト思フテ提出シタ次第デアリマス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 只今森田君ノ御述ニナリマシタコトニ對シテハ、別段議長ニ對スル御尋トモ考ヘマセヌガ、一應決議案上程ノ遲延致シテ居リマス事情ヲ御答辯致シマス、此決議案ガ今御述ニナリマシタ如ク頗ル重要ナ案デアルト云フコトハ、議長モ承知ヲ致シテ居リマス、併ナガラ御承知ノ如ク議案ノ上程、即チ日程ノ作製ノ順序ト云フヤウナ順序ニナツテ居リマス、而シテ法律案ノ如キモノモ御承知ノ如ク政府提出案モマダ多數殘テ居リマス、議員案モ多數殘テ居リマス、建議案ハ三百件以上、一件モマダ此議事ニ上ラヌト云フヤウナ始末デアリマシテ、隨テ御提出ノ決議案ノ如キモノモ、今日マデ上程スルニ至ラナイノデアリマス、是ハ議長モ洵ニ遺憾ニ感ジテ居リマス、ドウカ議事ガ進捗致シマシテ、是等ノ重要ナ幾多ノ議案ガ速ニ上程サレマスコトヲ、議長ハ希望致シテ居ル次第デアリマス——次ハ安藤正純君

(安藤正純君登壇)

○安藤正純君 私人簡單ニ議事進行ニ付キマシテ發言ヲ致シタイノデアリマス、政府並ニ與黨ハ此頃議會ノ會期ガ段々切迫スルニ拘ラズ、重要法案ガ頗ル拂ラナイ、ソレハ何カ野黨ガ議事ノ進行ニ熱心ナラザルガ爲ニ、此重要法案ノ進行ガ拂ラナイト云フヤウナ考ヲ持タレマシテ、頗ニ焦リテ居ラレルヤウデアリマス、併シハ決シテ野黨ノ罪デハナクシテ、其實ハ寧ろ政府及與黨ニ在ルト私ハ思フノデアリマス(ヒヤヒヤ)拍手)何トナレバ今迄ノ議會ニ於キマシテハ、豫算關係ノ重要法案ナルモノハ概ネ豫算ト前後シテ、餘リ遅レナイデ提出ヲシテ居ルノデアリマスルガ、本年ノ議會ニ限リマシテハ、豫算關係ノ重要法案ナルモノ、及其他ノ重要法案ニ至リマシテモ、其議院ニ提出スル時日ガ餘程遅レテ居ルノデアリマス(拍手)既ニ提出ガ遅レテ居リマスルカラ、本院ニ上程スルコトモ亦當然遅レルト

云フコトデアッテ、其本源ヲ尋ネテ見レバ、議事進マザル所以ハ野黨ノ貴ニアラズシテ、寧ロ政府及之ヲ援ケル所ノ與黨ノ責任ニ歸セザルヲ得ナイト思フノデアアル、而モ其影響ハ單リ本院バカリデハアリマセズ、貴族院ニ及ビマシテ、貴族院ニ於キマシテハ、豫算審議ノ終了ニ際シテ、豫算關係ノ法律案ガ決定セザル間ハ、單獨ニ豫算ノミヲ決定スルコトハ出來ナイト云フ理由ヲ以テマシテ、遂ニ豫算ノ決議ヲシタガ、其決議ヲ議長ノ手許ニ保留スルト云フコトニナシタリデアリマス、而モ是ハ重大ナル關係ヲ將來ニ及ボス事デハナカラウカト思フ、即チ吾々ガ唱道シテ居リマス所ノ貴族院改革ノ其一部デアアル貴族院ノ豫算審議期間、之ヲ衆議院ト同一ニセシメルト云フ此事ガ、今回ノ貴族院ノ豫算審議ニ當リテ重要法案ガ廻リテ來ナイ、豫算關係ノ重要法案ノ決リガ付カナイカラシテ、豫算ハ決シタガ、議長ノ手許ニ保留セザルヲ得ナイ、即チ衆議院カラ廻リテ來ルノガ遲イ、是ニ於テ此豫算ノ審議期間ハ衆議院ト同一デアアルガ如クシテハ、到底行フコトガ出來ナイト云フ理由ヲ將來ニ貴族院ニ與ヘマシテ、即チ此重大ナル貴族院ノ豫算審議期間ヲ決定スルト云フコトヲ茲ニ阻ム所ノ一理由トナシテ、所謂貴族院ヲ正當ニ時代の改革ヲシナケレバナラナイト云フ所ノ、其前途ニ一ツノ大キナ障礙ヲ投ジタモノト謂ハナクテハナルマイ、是ハ皆政府及與黨ノ爲ス所ノ責デアリマシテ、決シテ吾々野黨ノ責デアリト云フコトハ明ナ事デアラウト思フデアリマス、(拍手) 現ニ最近ニ於キマシテ代リマシテ前、政友會ガ議事進行ヲヤッテ居リマス其當時ニ於キマシテ、本會議ノ散會ト云フコトハ政友會ノ方デ自ラヤッタコトハナイ、與黨タル憲政會ノ請求ニ應ジテ、其都度本會議ノ散會ト云フコトヲ要求ヲ致シタノデアアル、尙ホ現ニ重大法案ハ澤山アリマス、私ガ特ニ此所デ言フテ置カハナケレバナラスコトハ、勞働組合法案デアアル、勞働組合法案ナルモノハ國民ニ取テテノ最モ重大ナル法案デアリマス、最早議會ノ會期ハ

二週間ソコノシカナイデアリマスカラ、斯ノ如キ國民ニ重大關係アル法案ノ如キハ、一日一刻ヲ急イデ上程ヲシナケレバナラナイノデアアルノニ、之ニ反シテ三日ニ上程ヲシテ今日ニ延バサレ、而モ今日ノ日程ノ劈頭第一ニ掲ゲテ居ルニ拘ラズ、吾々政友會ニ於キマシテハ、斯ノ如キ國民ニ重大關係アル所ノ法案ハ早ク之ヲ上程シテ、審議ヲシナケレバナラヌト云フコトヲ主張スルニ反對ヲ致シマシテ、之ヲ與黨ノ諸君ガ後廻シニセラレタト云フニ至、デハ、其意ヲ解セザル者ト謂ハナクテハナラヌデアアル、若シ政府ニシテ勞働組合法案ヲ早く通過ヲシテ、勞働階級ノ利福ヲ圖リ、其保護ヲ助長スルト云フ誠意ガアルナラバ、努力ヲ致シテモ宜シイ筈デアアル、與黨ハ政府ト一緒ニナシテ一刻も早く之ヲ上程審議スルト云フコトニ努メナケレバナラヌ、却テ反對ニ後廻シ後廻シニスル所ヲ見マス、是ハ勞働組合法案ナルモノヲ政府ガ提出シテ勞働階級ノ歡心ヲ徒ニ買ヒ、而シテ資本家ニ阿ラシガ爲ニ寧ロ之ヲ握リ潰サウト云フ眞意ガアルノデハナカラウカト思フ、是ハ今日バカリデハアリマセズ、現ニ昨年ノ勞働組合法案ノ審議ヲ見レバ明ニ分ル、御承知ノ通り昨年ハ他ノ二案ト共ニ出テ、勞働立法委員會ガ組織サレタガ、同ジヤウニ皆質問ハ終了シテ居ルノニ、態組合法案タケテ後ニ殘シテ、握リ潰シニシテシマッタノハ、是ハ明ニ政府與黨ノ責任、即チ故意ノ握リ潰シ、態ト握リ潰シテ致シタノデアリマス、本年モ亦其態ニ倣フテ態ト握リ潰シテ、徒ニ勞働者ノ爲ニ美名タケテ買フテ置カウト云フ趣意デアアルナラバ、是ハ容赦ナラヌ不誠意ノ行動ト謂ハナケレバナラヌノデアリマス、(拍手) 政府並ニ與黨ハ此議事ノ遅レルト云フ其責ヲ他人ニ歸スル前ニ、先ヅ自ラ顧ミテ努力スルガ適當デハナカラウカト思フノデアアル、(拍手) 是等ノ點及勞働組合法案、果シテ之ヲ早く是等ノ點及勞働組合法案、果シテ之ヲ重大問題デアリマスカラ、御出席ノ總理大臣ニ御答ヲ願ヒタイノデアリマス

〔國務大臣若槻禮次郎君登壇〕  
 ○國務大臣(若槻禮次郎君) 議事ノ進行ノ問題デアリマシタケレドモ、政府ニ答辯ヲ御求メニナリマシタ爲ニ、其事柄ニ付テ一言申上ゲテ置キタイノデアリマス、只今安藤君ハ豫算關係ノ法律案ノ提出ガ非常ニ遅レタヤウニ御述ヘニナリマシタガ、併ナガラ關係シテ居ル法案ノ二、三ハ後カラ出シマシタケレドモ、本日ノ議事日程ニ上テ居リマス法律案ノ如キハ、當初カラ矢張議會ニ提出シテ居ルノデアリマス、ドウカ衆議院ニ於テ一日も速ニ御議決アラント望シデ居リマシタケレドモ、今日マデ左様ニ參ラナカタノハ、私洵ニ遺憾千萬デアリマス、願クハ成ベク速ニ御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ、此機會ニ特ニ申上ゲテ置キタイノデアリマス、勞働組合法ニ付テモ政府ハ決シテ是ガ成立ニ不熱心デアアル次第デアリマセズ、提出ノ遅レマシタコトハ安藤君御指摘ノ通り、又私ハ成ベク早く提出シタ方ガ宜シカッタト存ジマス、今回提出致シマシタモノハ昨年ノ法律案ト略同様デアリマス、ソレデアリマスカラ、モト早く提出出來サウナモノト云フ御考ガアラウト存ジマスガ、政府ニ於テハ昨年議會ニ於ケル御議論ヲ參酌致シマシテ、ドウカ兩方ノ御議論ヲ折衷シテ、サウシテ何レノ御贊成モ得ルヤウナ法案ヲ立案シタイト云フガ爲ニ、調査ニ遅レタ次第デアリマス、併シ政府ハ此法案ノ成立ヲ望シデ居ルノデアリマスカラ、矢張一日も速ニ御審議ニ上ランコトヲ希望スルノデアリマス、唯、豫算關係ノ法律案ハ豫算ト伴フモノデアリマスカラ、何レヲ先ニ決議ヲ願フコト云ヘバ、願クハ豫算關係ノ法律案ヲ成ベク速ニ御協賛アラント願フ次第デアリマス、(拍手)

○議長(粕谷義三君) 高橋熊次郎君  
 ○高橋熊次郎君登壇  
 ○高橋熊次郎君 私人再ビ立テ議事進行ニ對シテ發言ヲ求ムルノハ、重々々々ノ不幸ト感ズルノデアリマス、私ハ是ガ爲ニ議事ヲ妨害スルナドト云フコトハ以テノ外デアアル、私ノ發言中ニ色ニト妨害シヤウト云

フヤウナ口氣ガアルト、自然長伸ビルト云フコトハ私ハ再々申上ゲテ居ルノデアアル、私ハ初陣ノ者デアッテ、氣ガ小サイ、ソレデ彌次ラレルト逆セ上ルト云フコトハ、度度言フテ居ルノデアアル(笑聲、拍手) サウ云フ事ノ無イヤウニ、豫メ御願致シテ置ク次第デアリマス、總理大臣モ幸ニ御出席デアリマスカラ、途中デ此前ノヤウニ退出サレタリスルト——是ハ總理大臣ガ退出シタト云フノデハナイ、大藏大臣ノコトヲ言フノデアアルガ、又其輩ニ倣フテ退出サレヌコトヲ豫メ希望シテ置ク次第デアリマス、私ハ茲ニ伺ヒタイノデアリマスガ、ソレハ主ニ大藏大臣ニ對シテ、議事進行ニ對シテ何レヲ置クノデアアル、ソレハ大藏大臣ハ貴族院ニ於テ過日發言サレタ中ニ、吾々ガ非常ニ諒解ニ苦ムコトガ多クアルノデアリマス、就中本議場ニ於ケル所ノ、去ル三日ニ於ケル混亂ノ事實ニ付テ、貴族院ノ高橋琢也氏ヨリ、銳キ御質問ガアッタノデアアル、然ルニ此御質問ニ對シテ、大藏大臣ハ噓言ヲ吐カレタト云フコトニナシテ居ルノデアリマス(ヒヤ——) (拍手) 苟モ聖聖ナル議場ニ於テ、噓言ヲ吐カル、ト云フコトハ、吾人ノ見通スベカラザル重大ナル事件ナリト思フノデアアル、左様デアアルガ故ニ果シテ何ノ爲ニ——殊ニ貴族院ニハ玉座ヲ背ニ負ウテ登壇ヲ致シテ居ラル、善デアアル、玉座ノ前ニ於テ噓言ヲ吐クナドト云フコトガアッタナラバ、皇室ニ對スル心事ヲ疑ハレテモ致方アルマイト云フコトニ相成ルノデアアル(拍手) ソレデ貴族院ニ於テドウ云フコトガ質問ヲサレ、ドウ云フコトヲ應答サレタカト云フト、此官報ノ號外ノ速記録ニ載テ居ル所ヲ見ルト云フト、高橋琢也氏ハ質問ノ終リ頃ニ於テ、斯ウ云フコトヲ申サレテ居ルノデアアル(今回ノ衆議院ニ起ク事柄ハ、最モ奇怪至極デアアルノミナラズ、當時大藏大臣ガ議事ニ御缺席ヲ爲サッタト云フヤウナコトデ、エライ騒ギヲシテ居ルト云フコトハ新聞ニモアラ、マサカ貴族院デハサウ云フコトハ爲サラヌデアラウケレドモ、矢張帝國議院トシテハ、十分ニ是等モ國民



トフ承テナケレバ、吾々之ニ關係シテ居ル者ハ、非常ニ憤懣ニ堪ヘヌノデアリカラ、其邊ヲ能ク伺フテ見タイ、故意ニ間違ヘタト云フコトナラバ、吾々ハ大ナル侮辱ヲ感ズルノデアリマスカラ、之ニ付テ又改メテ吾々ハ相當ノ手續ヲ取テ、ソレトノ發言ヲ致サナケレバナラヌト云フコトニナル、ソレカラ...

○議長(粕谷義三君) 高橋君——高橋君、簡潔ニ願ヒマス

○高橋熊次郎君(續) ソレカラ百歩ヲ譲テ一度議長ハ簡潔トカ何トカ言ハレハレノデアリマスガ、簡潔ト云フ所ガ、私ノ趣旨ヲ述ベルニハ、ソシテ簡潔ニ直線ニ飛行機ヲ走ラセテ行クヤウニハ行カヌノデアリマス、ソレデアリカラ一方ニ於テ私ハ頭ヲ冷靜ニシテヤレバ、餘程速力ガ早ク行クノデアリガ、一部ノ連中ガ頻ニ妨害ヲサレルカラ、尙ホ停滯ヲ致スト云フコトニ相成ルノデアリ、ドウゾ此事實ヲ御諒承ヲ願ヒタイト議長ニ御願スル次第デアリマス、而シテ最後ニ議事進行ト云フコトヲ言ハレテ居ル、議事進行デアリナラバ、何ガ故ニ大臣ハ出席セヌデモ宜シイカト云フコトヲ伺ヒタイ、私ハ他ノ方ニモ伺ヒタイト云フハ、總理大臣ヲ主ニ指シタノデアリ、幸ヒ大藏大臣ガ政府委員席ニ居ラル、ノデアリマスカラ、私ハ安心シテ此發言ヲスルト云フコトヲ言フタラバ、事實ニ於テ大藏大臣ハ風呂敷包ヲ抱ヘテ行カレタ、其後ニ貴族院ヲ述ベラレタ第二段ニ於テ、用テ達シタクナツタカラ、一時カラ此政府委員席ニ著イテ居テ、健康上許サナイカラト云フヤウナ意味デ、貴族院ニ諒解ヲ求メテ居ル、便所ニ立テ行クニ何ガ風呂敷包ガ要ルノデアリ(拍手)幾ラ世間デハ其風呂敷包ノ中ガ臭イト云フカラ、便所ニデモ持テ行クアラ宜カラウト云フコトデアリカ知ラヌケレドモ(拍手、笑聲)サウ云フヤウナ白々シイ嘘ヲ吐クト云フノハ、ドウ云フ譯デアリカ、本員ガ何ヲ言フカ分ラナイと思タカラ、ソレデ自分ハ議員ノ前デ赤面ヲシタラ大變ダト云フノデ、逃出口ト云フコトニナルデ

〔答辯ノ必要ナシト呼フ者アリ〕

○國務大臣(片岡直温君) 只今ノ高橋君ノハ議事進行ノ御演説カモ知レマセヌガ、私ニ向テ御尋ヲ蒙リマシタカラ、極ク簡單ニ御答ヲ致シマス、高橋君ヨリ質問ヲ受ケマシタ其言葉中ニ、議會ニ對シテ敬意ヲ缺クガ如キ御答メノ御言葉ガアツタノデアリマス、ソレハ即チ衆議院ニ於テ議事進行中ニ席ヲ外シタト云フ事柄デアリマス、私ハ席ヲ外シタコトハ事實デゴザイマスト申シタ、而シテ當時衆議院ノ議事ハ議事進行中ノ發議中デアリ、其發議ヲシテ居ル人ニ對シテ、西方君デアツタカ、ソレヲ忘レマシタガト云フコト、斯ウ云フコトヲ言フタ、(速記録ヲ見ヨ)ト呼フ者アリ)ソレハ速記録ニアル通りデアリマス、或ハ今日ヨリ之ヲ顧ミレバ、一議員ト申シタ方ガ宜カッタカト思ヒマス、併ナガラ貴族院デハ西方君デアツタカ、名前ハ忘レマシタガ、ソレハ其人ガ値打ガナイカラ名ヲ忘レタト云フ意味デナイ、其演説ヲシタ其時ノ人ヲ忘レタト云フノデアリマス、ソレカラ議事進行中デア

〔國務大臣(片岡直温君) 只今ノ高橋君ノハ議事進行ノ御演説カモ知レマセヌガ、私ニ向テ御尋ヲ蒙リマシタカラ、極ク簡單ニ御答ヲ致シマス、高橋君ヨリ質問ヲ受ケマシタ其言葉中ニ、議會ニ對シテ敬意ヲ缺クガ如キ御答メノ御言葉ガアツタノデアリマス、ソレハ即チ衆議院ニ於テ議事進行中ニ席ヲ外シタト云フ事柄デアリマス、私ハ席ヲ外シタコトハ事實デゴザイマスト申シタ、而シテ當時衆議院ノ議事ハ議事進行中ノ發議中デアリ、其發議ヲシテ居ル人ニ對シテ、西方君デアツタカ、ソレヲ忘レマシタガト云フコト、斯ウ云フコトヲ言フタ、(速記録ヲ見ヨ)ト呼フ者アリ)ソレハ速記録ニアル通りデアリマス、或ハ今日ヨリ之ヲ顧ミレバ、一議員ト申シタ方ガ宜カッタカト思ヒマス、併ナガラ貴族院デハ西方君デアツタカ、名前ハ忘レマシタガ、ソレハ其人ガ値打ガナイカラ名ヲ忘レタト云フ意味デナイ、其演説ヲシタ其時ノ人ヲ忘レタト云フノデアリマス、ソレカラ議事進行中デア

○議長(粕谷義三君) 安達内務大臣代理ヨリ發言ヲ求メラレテ居リマス、之ヲ許シマス

○國務大臣(安達謙藏君) 私ハ昨夕關西地方ニ起リマシタル震災ニ付テ、其概要ヲ御報告シテ置キマス、先ヅ帝國大學ノ地震學教室ニ於ケル今村博士ガ、昨夕ノ震災ニ付テ發表セラレタル意見ヲ御紹介ヲ致シマシテ、而シテ各地ノ狀況ノ大要ヲ御報告申上ゲマス、尤モ今日ノ午前ニ到來致シタモノヲ基礎ト致シテ作りマシテ、只今議席ニ出マス頃、最近ノモノガ参リマシタカラ、併セテ御報告ヲ致シマス、多少重複ノアル所

タコトハ、別ニ私ガ此處デ説明シナクテモ、議事進行中ニ國務大臣ガ居ラナクテモ宜イデナイカト云フガ如キ議論ハ、各所ニ行ハレテ居リタ時デアリマシテ、現ニ私ガ用ヲ足シテ歸テ來ル時ニ、今何モ俄ニ行カナクテモ宜イデナイカト云フコトマデ言フタ人サヘアリマス、議事進行モ場合ニ依テハ國務大臣ガ居ラナケレバナラヌコトモアリマセウ、併ナガラ此間ノ時ハ議院中ニ色々ノ論議ガ行ハレテ、其議院中ノ行動ニ關スル議事進行ノコトデアツテ、議案其モノニ對スル關係デナカッタノデアリマス、ソレ故ニ其場合ニ席ヲ外スコトハ、不敬デモナケレバ、何等ノ妨ガナイト信ジタノデアリマス、ソレカラ風呂敷包ヲ持テ行クノハ何ノ用ガアツテカト仰セラレ、私ハ當時風呂敷包ヲ持テ此席ニ參テハ居リマセヌ(嘘ヲ言ヘ)ト呼フ者アリ)恐ラク此言葉ガ嘘ト云フコトデ答メラレルナラ、今高橋君ノ言ハレタコトガ嘘デアリマス、而シテ野紙ニ書イテ當時議會ノ應答ノ參考トシテ持テ居リタ、ムキ出シノ書類ヲ持テ居リタノデアリマス、席ヲ外ス時ニムキ出シノ書類ヲ彼所ニ置クコトハ、甚ダ職務ニ不忠實ナル譯デアリマスカラ、持テ出タニ違ナイ、洵ニ尤ラシク仰セラレタガ、事實ハ其通りデアリマス、別ニ侮辱致シタコトモナケレバ、事實ハ今申上ゲル通りデアリマス

ヲ御用捨テ願フテ置キマス、昨日ノ午後六時二十九分四十五秒、但馬、丹後地方ヲ中心ト致シマシテ強震ガアリマシタ、今村博士ノ發表ニ依リマス、初期微動繼續時五十七秒デアツテ、其震度ガ、即チ震幅ガ十五「ミリメートル」、繼續時間ガ約五十分、地震ノ態様ガ水平動デアリ、震源地ハ詳細明瞭ナラザルモ、多分兵庫縣下九山川、豐岡、城崎附近ガ中心デアラウ、之ヲ大正十四年ノ五月二十三日ニ於ケル所ノ但馬地方ノ地震ニ比較スレバ、其態様ハ前同ト極メテ似テハ居ル、併シ其震度ハ前同ト略倍ヲシテ居ルト云フコトデアリマス、之ニ依リマス、其被害ハ同博士ノ發表ニ依リマスレバ、但馬丹後ハ花崗岩地帯デアリマスカラシテ、震度ハ前同ト二倍デアリマスケレドモ、被害ハ必シモ一倍シテ居ルト云フコトハ斷言シ難イ、與謝半島海岸地帯ハ比較的地質ガ軟弱デアリマスカラ、此部分ニ於テハ被害ガ顯著デアラウラウト云フ發表デアリマス、而シテ其被害及範圍ニ付テ、各方面カラ集リマシタ所ノ通信ヲ綜合致シマスルト、被害ノ最モ甚シキ所ハ、今村博士ノ發表ト全然一致ヲ致シマシテ、京都府與謝郡及中郡地方ノ一帯デアリマシテ、兵庫、鳥取縣ノ日本海岸地方及大阪府下ニ亞イデ居リマス、前同ノ被害甚ナル地方デアリ所ノ城崎、豐岡ハ、被害ガ比較的小キ見込デアリマス、其他岡山、鳥根、鳥取、滋賀、福井、奈良、三重縣等ニ於テモ、戸又ハ障子ナドガ外レマシテ、戸欄ノ物ガ下ニ墜ソルヤウナ程度ノ強震ヲ感ジマシタケレドモ、人普及家屋等ノ被害ハ極ク輕微ナル見込デアリマス、最モ激シキ所ハ京都府下デアリマスガ、此京都府下ノ震災ノ激震地ハ、丹後ノ國ノ五郡ノ内、與謝、中、竹野、熊野ノ四郡デアリマシテ、同方面ニ對スル通信、交通機關ガ杜絶致シマシタ爲ニ、未ダ死傷者ノ數、倒壊家屋ノ數等ハ、確報ヲ得テ居リマセヌ、是ハ先刻申上ゲタ通り、後ノ報告ニハ此中確報ニ接シタ所ガアリマス、後デ御報告致シマス、其被害ノ地方ハ何處カト申シマス

ト、與謝郡ニ於キマシテ岩田町、此處ガ人口ガ四千百十一人位居ル所デアリマス、又同郡ノ加悅町ガ人口四千百三十、又同郡ノ石川村ガ人口二千三百六十四、同郡山田村ガ人口二千五、此各方面ガ最も被害ガ多クアリマシテ、多數ノ家屋ガ倒壊シ、火災ヲ起シテ殆ド全滅ニ近イ所モアルヤウデアリマス、死者モ午前中相當ニアル見込ト云ウテ參テ居リマシタ、午後若シテ居リマス、ソレカラ中郡ニ於キマシテ峰山町、人口四千五百八十五、竹野郡網野町人口五千八百三十六、同ジク間人町人口三千三百五十三アリマス、此各地方ニ於キマシテ、倒壊セル家屋ガ多クアリ、死傷者モ亦相當多數ニ上ル見込デアアル、峰山町ハ全滅ニ近シト云ウテ居ルケレドモ、マダ明カナラスト云フノガ午前中ノ報告デアリマス、ソレカラ熊野郡久美濱町人口二千九十六ノ所デアリマス、是ハ前回ノ震災ニ最も激甚ナル地方デアリマシタ、本日ノ午前一時頃、火災ヲ燃エツ、アルト云フ報告デゴザイマスケレドモ、其被害ガマダ詳カナラスト云フコトデアリマス、以上ノ被害各地ハ何處モマダ雪ガ積ンデ居リマシテ、罹災民ハ雪ニ避難シ居ルト云フ狀況デゴザイマス、鐵道ハ丹後ノ由良、栗田驛間ノ隧道、是ガ崩壊シテ居リマス、又峰山方面モ列車ガ不通トナッテ居リマシテ、電信電話モ共ニ宮津町以北ハ不通トナッテ居リマシテ、交通、通信機關全ク杜絶スルニ至ッテ居リマス、道路ハ舞鶴以北ハ道路路ニ龜裂ヲ生ジテ居リマシテ、與謝郡奧地ニ至リマシテハ、積雪ノ多クアリマス爲ニ、龜裂ノアル上ニ積雪ガアリマスカラ、自動車ノ通行ガ不能トナッテ居リマス、救護ノ狀況ニ付キマシテハ、峰山、網野方面ノ最も被害ノ多大ナル地方ニハ、警戒救護ノ爲、直ニ其附近ノ舞鶴外ニ警察署ヨリ、警察官五十五名ヲ災害地ニ急ニ派遣セシメマシテ、又今日ノ早朝、更ニ警視二名以下百五十五名ヲ派遣致シマシテ、罹災地ノ治安維持並ニ罹災民ノ救護ニ努メツ、アルノデアリマ

ス、向ホ右地方ニ對シマシテハ、宮津港ニ碇泊中ノ驅逐艦カラ、救護隊ヲ上陸セシメマシテ、擔架十五臺ヲ以テ死傷者ノ收容救護ニ努メツ、アルノデアリマス、其詳シキ事モ後デ海軍省ノ報告ニ接シテ居リマスカラ、御報告致シマス、ソレカラ内務省カラハ取敢ヘズ罹災地ノ狀況視察ノ爲ニ警保局ノ鈴川内務事務官、社會局ノ富田書記官ヲ現場ニ急派セシメテ次第デゴザイマス、大阪府ハ今日午前マデ二人畜、家屋ノ被害ノ判明セルモノハ死者ガ十五名、傷者ガ百六名デアリマス、家屋ノ全潰セルモノガ三十二戸、半潰ノモノガ五十四戸デアリマス、其死傷者ハ多クハ家屋倒潰等ノ際ニ起リタモノデゴザイマス、ソレカラ大阪府下ノ管内ニ於キマシテ、火災ノ生ジタルモノハナイ、鐵道電信電話モ通ジテ居リマスカラ、人心ハ一般ニ安定シテ居ルト云フ報告デアリマス、兵庫縣ニ於キマシテハ、多少ノ被害ガアリマスケレドモ、目下調査中ナルモ、差シタルコト無キ見込ト書イテアリマス、七日夜、鐵道省ニ達シタル情報ニ依リマスレバ、豊岡町ニ全半潰十數戸、橋梁墜落ガ一箇所アタト云フ報知デアリマス、鳥取縣ハ目下電報照會中デゴザイマスケレドモ、鐵道省ニ達シタル情報等ニ依リマス、被害ハ極ク少イ見込デアリマス、ソレカラ今日ノ午後零時ニ發シマシタ京都府知事ノ電報ニ依リマス、目下通信聯絡ノアル所ハ宮津町バカリデアアル、宮津町ノ警察署長ノ報告ニ依リマス、與謝郡岩龍町ハ燒失家屋ガ二百戸、死傷者ガ八十名、同郡ノ石川村ノ死傷者ガ五百四十名、燒失セル家屋ガ六戸デアリマス、同郡ノ市場村ノ死傷者ガ二十名、同郡ノ山田村ノ燒失家屋ガ八十戸、死者ガ六十名、中郡ノ峰山町、竹野郡網野町ハ殆ド全壊シタル後、火災ヲ起シテ全燒シタ、斯ク云フ報知デアリマス、其他中、竹野、與謝三郡ノ各村家屋殆ド倒壊シ、火災起リテ今尚ホ燃エツ、アリ、死傷者多數アル見込ナルモ道路龜裂崩壊等ノ爲メ、交通通信杜絶シ、詳細不明ト云フコトデ、熊野郡ハ右三郡ニ次グ被害ガアツテ、

一昨年丹後地方ノ震災ニ比シテ死傷其他ノ被害ガ十數倍ニ達スル見込ト云フコトデアリマス、京都府廳ヨリハ、應援警察官二百五十名、救護班員事務官屬ヲ派遣スルト共ニ、取敢ヘズ米二百石、毛布五千枚、亞鉛四千枚ヲ送付スルノ準備中ナリ、ソレカラ陸軍ノ十六師團長カラ本省ニ參リマシタ報告ニ依リマス、步兵第二十聯隊ヨリ大隊長ノ指揮スル歩兵二中隊及救護班ヲ昨夜夜半ニ峰山方面ニ出發セシメテ居リマス、舞鶴重砲兵大隊兵力不明、此重砲兵大隊ヲ宮津ニ、京都部隊ヨリ救護班ヲ久美濱ニ派遣セリ、尚ホ飛行機ガ京都附近ニ居リマスカラ、飛行隊ヲ以テ今日ノ狀況ヲ偵察セシムル筈、團下ノ諸隊ニ大ナル被害ナキモノ、如シ、是ガ陸軍ノ方ノ報告デアリマス、ソレカラ前ニ御報告シマシタ海軍ノ方カラ、海岸ニ起リタ震災デアリマスカラ、驅逐艦ヲ以テ救護ニ非常ニ盡力サレテ居リマス、其報告ノ大要ヲ申シマス、舞鶴要港司令官ハ直ニ先ツ海軍所屬各部並ニ地方被害ノ狀況ヲ調査シ、刻々無線電信ヲ以テ之ヲ東京ニ報告スルト同時ニ、前日來宮津灣ニ出動訓練中ノ第九驅逐隊並ニ麾下諸隊ヲ區處シ、應援救護作業ニ努メツ、アリ、即チ丹後與謝郡岩龍町及加悅町、火災全滅ノ報ニ接シ第九驅逐隊ハ直ニ約百名ヨリ成ル救護隊ヲ岩龍方面ニ派遣セリ、右派遣隊ノ報告ニ依リテハ、死傷多數ニシテ收容困難ノ狀況ナル趣ナルヲ以テ、舞鶴海軍病院其他ヨリ急速救護班ヲ編制シ、救護材料ト共ニ派遣方準備中、網野、久美濱方面被害甚カラザル模様ナルヲ以テ、宮津灣ニ在リタル驅逐艦ヲ同方面ニ急派シ、視察並ニ救護ニ任ゼシム、京都府ヨリ被害地ニ派遣スル應援巡查約五十名並ニ救護材料ヲ驅逐艦ニ搭載、沿海被害地ニ向ハシム、尚ホ右派遣隊艦ノ報告ニ應ジ増援方手配中ナリ、只今マデ手許ニ到來致シマシタ各方面ノ報告ハ、右報告致シマシタ通りデゴザイマシテ、昨夕突然起リマシタ此震災ニ付キマシテ、彼ノ地方罹災民我ガ同胞ノ人ニ對シマシテ、洵ニ同情ニ堪ヘザル次第デアリマス、此善

後ノ處置ニ付キマシテハ、能ク被害ノ程度ヲ調査致シマシタ上ニ、ソレノ機宜ノ處置ヲ執ル積リデゴザイマス、此段御報告致シテ置キマス(拍手)

(國務大臣子爵井上臣四郎君登壇)

○國務大臣(子爵井上臣四郎君) 鐵道ニ關スル被害ヲ申上ゲマス、鐵道ニ關スル被害ハ山陰線及宮津線ニ局限サレテ居ルノデアリマス、其中、山陰線ニ於ケル被害ハ、九日正午開通ノ見込デアリマス、居組、岩美間、岩美、隨見間ニ於キマシテ線路ノ沈下シタモノガアリマス、是ハ本日正午マデニ開通ノ見込デアリマス、湖山、寶木間、青谷、泊間ニ於ケル損害ヲ受ケタノデアリマスガ、是ハ既ニ今朝開通ヲ致シマシタ、次ニ宮津線ニ付キマシテハ、丹後由良カラ栗田間、由良カラ約二十哩附近ニ於キマシテ、山崩ノ爲ニ線路ガ埋沒致シマシタ、本日正午マデニ開通ノ見込デアリマス、宮津以西網野マデ六哩約二十哩ノ間ハ、道床沈下、線路ガ下リマシタ、種々損害ヲ受ケテ居リマスガ、通信機關ハ不通デアリマス、其詳細ヲ知ルコトハマダ出來ナイノデアリマス、諸所ニ龜裂及崩壊ガアリマシテ、尚ホ驛舎ノ崩壊セルモノガアリマス、此區間ニ於ケル開通ノ見込ハ今日未ダ不明デアリマス、幸ニシテ列車ノ乘客ニハ一人ノ死傷者モ無イノデアリマス、鐵道省ハ救恤品、避難民及救護班ニ對シテノ無償輸送ヲ開始シテ居リマス、右御報告ヲ致シマス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 只今ノ震災ニ關スル政府ノ報告ニ對シマシテ質疑ノ通告ガアリマス、順次之ヲ許シマス、長田桃藏君

(長田桃藏君登壇)

○長田桃藏君 只今内務大臣ヨリ、丹後及但馬方面ニ於ケル昨夜ノ震災ニ對シテ、詳細ナル御報告ヲ受取りマシタ、其御報告ニ依リマシテ、震災ノアリマシタ場所ガ極メテ狭イノデアリマスケレドモ、其損害ノ程度ノ極メテ深イト云フコトヲ聽キマシテ、諸君ト共ニ深く罹災民ニ同情ヲ致ス次第デ

アリマス、而シテ其機宜ノ處置トシテ交通  
及通信機關ノ破壞サレテ居ル此場合、極メ  
テ適當ニ、舞鶴要港部ヨリハ驅逐艦ガ派遣  
セラレテ相當ノ救護ニ盡力セラレ、陸軍ニ  
於テモ強行軍ヲ以テソレトシ、地帯ノ治安  
維持ノ爲ニ、兵卒ヲ派遣サレタト云フコト  
ニ對シテ、深く感謝ヲ致サネバナラヌト考  
ヘマス、又政府當局殊ニ京都府ハ、罹災地  
帶トシテ適當ニ食糧等ヲ送テ居リマスノ  
デ、是亦罹災者トシテハ深く感激ヲシテ居  
ル所ト存ジマス、此罹災ノ御報告ヲ受取リ  
マス、口大野、間入、網野、久美濱、此諸  
方面ニ對シテハ殆ド全部ノ滅失トモ言フ  
ベキ状態ニ在ルカノ如ク承テタノデアリマ  
ス、殊ニ峰山ヨリ竹野間ノ網野町方面ニ對  
シテハ、殆ド全部火災ニ依テ滅失サレタ  
ト云フ御報告デアリマス、又其人畜ノ損害  
モ極メテ多イト云フノデアリマス、此罹災  
地テ最モ御報告中ノ慘害ノ大キイ場所ハ、  
諸君ノ御承知ノ通り縮緬機業地デアリマシ  
テ、下度春ノ機ヲ始メマス時デアリマスカ  
ラ、機織リノ女工等ガ皆參テ居リマスノ  
デ、其女工等ガ不幸ニモ此犠牲ニナッタモ  
ノガ多クテ云フコトヲ考ヘマシテ、吾  
吾ハ此報告ヲ聽イテ、膚ニ粟ヲ生ズルヤウ  
ニ考ヘルノデゴザイマス、而シテ此方面ハ  
勿論デアリマスガ、丸山川ヲ越エマシテ豊  
岡、城崎方面モ亦此損害ヲ受ケタト云フコ  
トデアリマス、同地方及今回ノ丹後方  
面ノ罹災地ハ、御承知ノ如クニ大正八年ニ  
アノ驚クベキ水害ニ見舞ハレタノデアリマ  
シテ、非常ノ損害ヲ受ケテ、其損害モマダ  
十分ニ癒ユルコトノ出來ナイヤウナ状態ニ  
居ルノデアリマス、サウシテ十四年ノ五月  
ニ又震災ヲ受ケマシテ、城崎及豐岡、久美  
濱方面ニ於テハ甚ダ其震災ノ善後策ガ完全  
ニ出來テ居ラヌト云フヤウナ状態ニ居リマ  
ス、サウシテ今又此不幸ナル大震災ヲ受ケ  
タノデアリマス、其上ニ御承知ノ如クニ、  
京都府ノ地方財政ハ極メテ行詰メテ状態ニ  
居リマシテ、此屢起ル所ノ災害ニ對シ  
テ、十分ナル機宜ノ處置ヲ執ルト云フコト

ハ到底出來ナイ状態ニ居ルノデゴザイマ  
ス、故ニ此罹災地ノ不幸ナル方々ニ對シテ  
應急ノ救護ヲ致スニ付テハ、如何ニ致シマ  
シテモ、仁俠ナル我ガ國民同胞ノ同情ニ憑  
ヘルト云フコトハ、又政府ガ極メテ時機ヲ  
誤ラザル機宜ノ處置ヲ執テ下サルト云フ  
コトニ依テ、始メテ救護サル、モノト信ジ  
テ居ルノデゴザイマス、私共ハ只今ノ御報  
告ヲ受取テ、政府ハ適當ナル處置ヲ執  
ルト云フ御報告デアリマスルカラ、之ヲ  
全ク信ジタノデゴザイマスルケレドモ、此  
罹災地ノ人民ハ如何ニシテ如何ナル方法  
デ、適當ナル處置ガ執ラレルノデアラダラ  
ウカト云フコトヲ、一日モ早ク之ヲ聽イテ  
安心ヲシタイト考ヘテ居ルト思ヒマスカ  
ラ、政府ニ於ケレテハ、此點ニ對シテ御下  
下サルコトノ出來ル範圍ヲ、茲ニ御下下サ  
ルコトガ必要デアルト私ハ考ヘルノデアリ  
マス、今一點ハ、昨日ノ都下ノ新聞ニ或ル  
技師ノ説ト云フコトデ、今回ノ震災ノ元ハ  
富津灣方面ニアルト思ハレル、而シテ此震  
災ハ昨夜ノ震災ガクニ止ラズ、今後尙ホ連  
續起ル虞ガアルト思ハレルト云フコトガ書  
イテアリマシタ、之ニ依リマス、マダ斯  
ノ如キ震災ガ屢、起ルカノ如ク考ヘテレマ  
シテ、當ニ罹災地ノ者ノミナラズ、吾々其  
地方ヲ同ジクシテ居ル者カラ考ヘマス、  
恐怖ハ矢張繼續致シテ居リマスノデ、罹災  
地ノ者ハ生存ヲ脅カサレル上ニ、避難スル  
場所モナク、非常ニ恐怖致シテ居ルト考ヘ  
マスガ、政府ハ此災害ガ果シテ連續シテ尙  
ホ起ルト云フコトデゴザイマスルナラバ、  
之ニ對スル防護ノ方法ヲ速ニ示サレテ、安  
心ヲ與ヘラル、ト云フコトガ、極メテ必要  
ナル處置ナリト考ヘルノデアリマス、又斯  
様ナ事ナナイ、是デ後ニハ大キナモノハ  
續イテ來ナイ調査デアルト云フコトナラ  
バ、此點モハキリト御下下サテ、罹災住  
民ニ十分ノ安心ヲ與ヘルコトガ必要デア  
ルト思ヒマス、ドウカ此點ニ對シマシテ、十  
分ニ御調査ヲ賜ハルマシテ、能ク此東京ノ  
地震其他ノ地震ニ付テモアリマシタヤウ  
ニ、國民ノ根本カラ安心ノ出來ルヤウナ御

調査ヲ成ベク速ニ御發表サル、コトヲ切ニ  
希望スルノデアリマス、此兩點ニ對スル政  
府ノ御意見ヲ伺ヒタイト考ヘル次第デア  
リマス  
○議長(粕谷義三君) 安達内務大臣代理  
(國務大臣安達謙藏君登壇)  
○國務大臣(安達謙藏君) 只今長田桃藏君  
カラ此度ノ災害方面ノ事ニ付キマシテ、  
御質問デゴザイマシタ、災害方面ニ深キ  
御關係ヲ有セラル、同君トシテ御尤ナ事ト  
考ヘマス、同君ノ御質問ノ通り、彼ノ地ハ  
縮緬機業ノ本場デアリマスガ、其到ル處此  
縮緬業ハ全滅シテ居ルグラウト云フ想像ヲ  
懷イテ居ル次第デアリマス、其損害モ頗ル  
大ナルモノガアルト考ヘテ居リマスガ、只  
今ノ御質問ノ要旨ハ、此救濟ニ付テドウ云  
フ善後策ヲスルカ、其程度如何、ソレガ分  
テ居ラバ、此所デ示シテ吳レロト云フ  
コトガ、第一ノ質問デゴザイマスケレドモ  
ガ、是ハ昨晩突發致シマシタ事デゴザイマ  
シテ、マダ只今續々被害ノ模様、其程度ニ  
付キマシテハ電報ナドニ接シテ居ル次第デ  
アリマスカラ、今日此所デ善後策ヲ如何ニ  
致スト云フコトヲ、其輪廓デモ申上ダレ譯  
ニハ參ラヌノデアリマス、當局者ト致シマ  
シテハ、細心ノ注意ヲ拂ヒマシテ、一通リ  
調査ノ見込ヲ付ケマシテ、相當ノ措置ヲ執  
ルト云フコトヲ今日ハ御答ヲ致シテ置クヨ  
リ外ハナイト考ヘマスカラ、ドウゾ左様ニ  
御承知ヲ願テ置キマス、第二ノ御質問ノ此  
地震學ニ關スルコトハ、是ハ私輕々ニ何ト  
モ申上ダラレマセヌガ、學說上カラ研究出  
來ルコトハ、出來得ルダケ調査研究ヲシタ  
イト考ヘテ居リマス、又地方人民ニ對シマ  
シテ安ニ不安ノ念ニ襲ハレナイヤウナコト  
ニ最善ニ、最大ノ努力ヲシタイ、斯ウ云フ  
希望ヲ持テ居ルト云フコトヲ申上ダテ置  
キマス(拍手)  
○議長(粕谷義三君) 筒井民次郎君  
(筒井民次郎君登壇)  
○筒井民次郎君 昨夜突然關西地方ニ於キ  
マシテ、大震災ノ起リマシタコトハ、洵  
ニ諸君ト共ニ遺憾ニ堪ヘザル次第デアリマ

ス、只今内務大臣代理ヨリ、其被害ノ程度  
ヲ詳細ニ御報告ニナリマシタノデアリマス、  
又私ガ御尋致シタイト思ヒマシタコトヲ、  
只今長田桃藏君ヨリ色ト御尋ニナリマシ  
テ、又ソレニ對シマシテ内務大臣代理ヨリ  
是亦詳細ニ御答ニナッタノデアリマス、私  
ハ再ビ此事ヲ繰返スト云フコトハ、時間ノ  
都合ニ依テ避ケタイト思フノデアリマス、  
唯、此罹災者ニ對シテ先程内務大臣ノ言ハ  
ル、所ニ依リマスル、此罹災者ハ全猶雪  
上ニ在ルト云フコトヲ承テタノデアリマス、  
洵ニ返ス、モ御氣毒千萬デアルト思フノ  
デアリマス、斯ノ如キ罹災者ニ對シ、一日  
モ迅速ニ、深切ニ、此機宜ノ處置ヲ執ラレ  
シコトヲ、政府當局ニ御願ヲ致ス次第デア  
リマス、之ヲ以テ私ノ質問ノ打切ト致シタ  
イノデアリマス(拍手)  
○議長(粕谷義三君) 是ヨリ日程ニ入りマ  
ス、本日ノ日程ニ掲ゲマシタ質問一ヨリ五  
ニ至ルモノハ、何レモ政府ヨリ答辯書ヲ受  
領致シマシタ、仍テ日程ヨリ之ヲ省キマス  
○井本常作君 議事日程變更ノ動議ヲ提出  
致シマス、此際日程第十三乃至二十六ヲ繰  
上ゲ、逐次議題ト爲シ、各委員長ノ報告ヲ  
求メ、其審議ヲ進メラシムコトヲ望ミマス  
(贊成一ト呼フ者アリ)  
○議長(粕谷義三君) 井本君ノ動議ニ御異  
議アリマセヌカ  
(異議ナシト呼フ者アリ)  
○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマ  
ス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第  
十三乃至第十七ハ同一委員ニ付託シタ議案  
デアリマスカラ、一括シテ議題トナスニ御  
異議アリマセヌカ  
(異議ナシト呼フ者アリ)  
○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマ  
ス、仍テ日程第十三、銀行法案、日程第十  
四、貯蓄銀行法中改正法律案、日程第十五、  
農工銀行法中改正法律案、日程第十六、北  
海道拓殖銀行法中改正法律案、日程第十七、  
非訟事件手續法中改正法律案ヲ一括シテ第  
一讀會ノ續キヲ開キマス、委員長小野義一



云フ機關ガアル、内部検査ノ行ハレルト云フ事實ヨリ見テモ、將又資本金ヲ容易ニ集メ得ルト云フ點カラ見テモ、信用機關デア  
ル所ノ銀行ニ取テハ最モ適當ナル組織ト  
認メテ居ルカラデア、現ニ貯蓄銀行及信託  
會社ニ於テモ、此意味ヲ以テ議會ノ協賛ヲ  
經テ居テ、現行法トナッテ居ルノデア、  
ト云フ説明デア、タノデアリマス、其次ニ  
ハ最低資本金額、之ヲ原則トシテ百万圓ト  
定メタル理由如何、此事ハ實ニ委員會ニ於  
テ最モ熱心ニ委員諸君ガ議論ヲサレタ點デ  
ア、タノデアリマス、政府ノ御答辯ハ最低  
ノ資本金ニ關スル所ノ信託業法、或ハ貯蓄  
銀行法ノ規定ヲ見テモ、前者ハ百万圓、後  
者ハ五十萬圓ト云フコトニシテ居ル、是亦既  
ニ議會ノ同意ヲ經テ確定法律ニナッテ居ル  
ノデア、是等ノ法制ト共ニ、又現在政府  
當局ニ於テ銀行ヲ認可スル場合ノ内規ノ標  
準カラ照シテ見テモ、而シテ今日經濟狀態  
ノ推移カラ考ヘテ見テモ、寧ロ百万圓以上  
トスルコトガ妥當ナリト云フ御說明デア、  
タノデアリマス、然ルニ此點ニ關シマシテ  
ハ、成程原則トシテ百万圓ハ諒トスルコト  
シテモ、極ク小サイ町村ニマデ此原則ヲ強制  
スルコトハ如何ナモノデア、ルカト云フコト  
ノ議論ガ盛ニ行ハレマシテ、遂ニ時ニハ懇談  
會ニモ移リ、成ベク意思ノ疏通ヲ圖リ、政  
府當局ト頻ニ意見ヲ交ヘマシタ結果、後程  
申上グル通りノ修正案ガ生レタノデアリマ  
ス、次ニハ本條ノ規定ノ結果、或ハ増資ガ  
不能ニナリ、若クハ合同ヲ無理ニ致スト云  
フコトニ依ッテ、地方ニ於テハ銀行ノ數ガ或  
ハ少クナリハシナイカ、サウ致スト云フ  
ト、地方産業ノ金融ノ上ニ於テ障礙ガ來ル  
ノデハナイカト云フ御心配ノ質問ガアリマ  
シタ、之ニ對シテ政府當局ハ、我國ノ普通銀  
行ハ實ハ非常ニ多過ギルノデア、是ガ爲  
ニ不當ノ競争モ起ルノデア、今回増資資  
本ニ付テノ最低金額ヲ先程申ス通り定メタ  
リト雖モ、之ニ依ッテ或ハ多少銀行ノ減少  
ヲ來シタ所ガ、由テ以テ地方ノ産業ガ阻碍  
サレルト云フ心配ハナイ積リダト云フ御答  
辯デアリマシタ、其次ニハ之ニ關聯ヲ致シ

マシテ、若シ斯ノ如ク百万圓ト決メルト云  
フト、株主ガ配當ノ減少ヲ承認セザル限リ  
ハ、銀行ノ經營ガ困難ニ陥ルヤウナ憂ハナ  
イカ、之ニ對シテ政府當局ハ、是ハ意見ノ  
相違ニナルカモ知レヌガ、自分等ノ考デハ  
御質問ノ如キ憂ハ先ツナカルベシト思フ  
云フコトデア、タノデアリマス、其次ニハ矢  
張同ジク資本ノ規定ニ關聯致シマスル質問  
デアリマシタガ、資本増加ニ依ッテ強制的ニ  
合併セシムルト云フヤウナ不自然ノ結果ヲ  
生ジ、是ガ爲ニ非合併會社ノ壓迫トナルヤ  
ウナコトモアリハシナイカト云フ、御心配ノ  
質問ガア、タノデアリマス、之ニ關シテモ政  
府當局ハ吾々ハ斯ル心配ハナイト思フト云  
フコトデアリマシタ、其次ニヤカマシク論  
議サレマシタノハ所謂附隨業務、銀行業ニ  
附隨スル所ノ業務トシテ法律ノ認メントス  
ル所ノモノ、並ニ禁止セントスル所ノ他  
業、此區別ハドウデア、ルカト云フ質問ガ起  
タノデアリマス、而シテ附隨業務ト云フコ  
トノ觀念トシテ、政府當局ハ銀行業務ヲ行  
フニ必要若クハ有用ナルモノノ附隨業務ト  
云フノガ、他業ト云フノハ銀行業トハ縁ノ  
無イ、別箇ノ業務デア、ルカト云フ說明デア、  
タノデアリマス、更ニ進んで附隨業務ト云フ  
ノデアリマス、更ニ進んで附隨業務ト云フ  
ノハ性質ノ問題デア、ルカト云フ、分量ノ問題デア  
ルノカト云フ質問、之ニ對シテ政府ノ答  
辯ハ、附隨業務デア、ルカト云フハ性質  
ニ依ッテ決定スルモノト思フガ、併シ其結  
果ハ多ク分量ニ現ハル、ヲ通例トスルコト  
ヲ認メルト云フコトデアリマシタ、其次ニ  
ハ事實問題トシテ、先ニ不始末ヲ演ジタル  
所ノ帝國實業貯蓄銀行、或ハ最近ノ共榮貯  
蓄銀行、此善後策ニ付テ政府ハ如何ナル事  
ヲ爲シテ居ルカト云フヤウナ質問ガアリマ  
シタ、之ニ對シテ政府當局ハ本會議其他ニ  
於テ御答辯ニナッテ同ジヤウニ、政府トシ  
テハ極力預金者ノ利益ヲ保護センガ爲ニ、  
種々攻究シ且ツ努力中デア、ルカト云フ答辯デ  
アリマシタ、其次ニヤカマシクナッタル問  
題ハ、銀行ノ常務ハ將來他ノ法人ノ常務ト  
ナルコトヲ得ズト云フ規定デアリマス、之  
ニ付テハ常務トハ一體ドウ云フコトヲ云フ

ノデア、ルカ、政府ノ答辯ヲ簡單ニ申上ダマ  
スレバ、常務ト云フノハ實際其業務ニ携ハ  
テ居ルト云フ、其事實ニ依ッテ判斷スルノ  
デア、ル、其名稱ノ如何ハ問ハナイノデア、  
ト云フ御答辯デアリマシタ、其次ニ起リマ  
シタル質問ハ、政府ハ銀行ノ合同ヲ獎勵シ  
テ居ラル、而シテ其獎勵ヲセラル、標準  
トシテハ、成ベク地方的ニ合同ヲセシメル  
ト云フコトデア、ルカ、其地方的ト云フ意味  
ハドウ云フコトデア、ルカト云フ質問デア、  
リマス、之ニ對シテ政府ハ、經濟狀態ノ同一  
狀態ニ置カレタル地方ハ、成ベク其地方ノ  
ミデ合同ヲ爲シ、以テ眞ニ地方的ノ發展ヲ  
爲サシメヤウ、斯ウ云フ意味合デア、ルカト云  
フ答辯デアリマス、其次ニ起リマシタルコ  
トハ検査監督ニ關聯スル質問、日本銀行ニ  
検査ノ權能ヲ與フルノ意思ハナイカト云フ  
質問デアリマシタ、之ニ付テハ政府當局  
ハ、日本銀行ハ兎モ角モ營利會社デア、ル  
シムルト云フコトハ法制上面白カラヌト思  
フ、併シ日本銀行ト取引ヲ爲ス所ノ銀行ニ  
付テハ、當該銀行ト日本銀行トノ契約ニ  
基イテ検査ヲセシムルコトト致シタイ、斯  
ウ云フ答辯デアリマシタ、續イテ銀行検査  
官ハ現在ハ役人ノミヲ採用シテ居ル、官廳  
育チ其儘ノ役人ヲノミ任用シテ居ルノデア  
ルガ、之ニ付テハ特別任用ノ途ヲ開クノ意  
思ハナイカ、依ッテ以テ検査監督ノ實際のデ  
アリ、且ツ徹底のナルコトヲ得ル所以デア、  
ハ、此點ハ十分研究中デア、ルカト云フコトデア  
リマス、而シテ此點ニ關聯致シマシテ、  
最後ニ述ベマスルガ如キ希望條項ガ生レ出  
タノデアリマス、尙ホ似寄リ、質問トシ  
テ、今回計理士法案ガ通過ヲ致シタガ、銀  
行ノ検査ニ計理士ヲ採用スルノ意思ハナイ  
カ、是ハ時期尙早ナリト思フト云フ御答辯  
デアリマシタ、次ニハ今回ノ銀行法ノ規定  
ヲ熟讀致スト云フコト、他ノ法令例ハ刑  
法或ハ民法等ニ比較ヲ致シテ、罰則ガ過重  
ニナッテ居ルヤウニ思フガ、是ハドウデア  
ルカ、而シテ此罰則ニ關シマシテハ、特ニ

商法刑法ト本法内ノ各條文ト比較對照サレ  
テ、頗ル綿密ナル質問ガ行ハレタノデア、  
リマス、之ニ關シテ政府當局ノ答辯ノ大體ヲ  
擧擧シテ申上ダマスルコト云フト、時勢ノ變  
化並銀行ガ公共的機關デア、ルカト云フ性質ニ  
鑑ミテ、今回ノ罰則ヲ設ケタノデア、ルカ、  
是ハ決シテ過重ナリトハ認メナイト云フコ  
トデア、リマス、而シテ此點ニ於テハ、數時  
間ニ互ッテ論難攻撃若クハ質問應答ガ行ハ  
レマシタガ、結局委員諸君ニ於テモ、此點  
ハ諒トセラレタノデア、リマス、而シテ次ニ  
ハ先程申ス通り、他業ノ兼營ハ禁止スル  
ト云フコトニナルガ、之ヲ原案ノ如クニ三年  
ト云フノハ、ドウモ短カ過ギハシナイカ、  
是ガ又非常ニ議論ノ中心ト相成ッテデア  
リマス、而シテ此點モ亦種々政府當局ト折  
衝ノ結果、遂ニ後程速アルガ如ク、五箇年  
ニ延長スルコト云フ修正案ガ生レ來、タノデア  
リマス、其次ニハ本會議若クハ委員會等  
ニ於ケル政府ノ御說明ニ依ルコト云フト、  
我國ノ金融組織、金融體系ニ關シテハ大改  
善ヲ圖ラントスルコト云フ意氣込デア、ル  
ヤウデア、ルガ、然ラバ其改善ノ要領ハドウ  
デア、ルカ、又銀行法案ノミヲ先ツ提出ヲ致  
シ、中央銀行タル日本銀行、其他不動産金  
融等ニ關スル事、或ハ特殊銀行ニ關スル  
事、是等ノモノヲ後廻シニ致シタノハ、ド  
ウ云フ譯デア、ルカ、斯ウ云フ意味デア、  
タノデア、リマス、之ニ對シテ政府當局ハ、改  
善ノ方針ト致シテハ、各種ノ金融ニ付テ其  
金融上缺陷ノ存スル所ヲ先ツ研究調査ヲス  
ル、而シテ其缺點ガ金融機關ノ改善ニ俟ツベ  
キモノアリト云フコトヲ認メタナラバ、其  
金融機關ノ改善ヲ施ス考デア、ル、而シテ目  
下折角朝野ノ有識者ヲ集メテ、金融調査會  
ヲ開イテ審議中デア、ル、併ナガラ先ツ銀行  
法案ヲ今回提出セル所以ノモノハ、金融機  
關ノ全般ニ關スル調査ノ全部完了スルコト  
ヲ待ツトキハ、非常ノ時日ヲ要スル、加之普  
通銀行ハ各種ノ金融ニ關シテ最モ普遍的ノ  
モノデア、ル、又急務デア、ルコト認メルガ故  
ニ、今回幸ヒ其成案ガ出來タカラ、兎モ角  
モ逸早く之ヲ提出スルノデア、ル、併シ他ノ

金融機關ニ付テハ又案ノ成リ次第第二協賛ヲ求ムル考デアルト云フ綿密ナル答辯ガアッタデアリマス、其次ニ尙ホ重要ナリト認メラレルモノニ質問應答ヲ御紹介致サナクハナラズト思ヒマス、預金者保護ノ爲ニ資本金ヲ法定スル、或ハ準備金ノ引上ヲ行フト云フコトハ結構デアリガ、其以外ニ尙ホ預金保證制度ノ如キモノ、之ヲ採用スルノ意思ナキカト云フコトニ付テ、政府當局ハ如キハ寧ろ金融業者ノ自治ニ俟ツベキモノデアリ、政府ニ於テハ法規ヲ以テ之ヲ律スル考ハ先ヅナリト云フデアリマス、次デ資金ノ運用ニ關スル所ノ制限デアリマス、之ニ關シテ資金ノ運用ガ一人若クハ一事業ニ偏スルト云フコトハ洵ニ面白クナイ、之ニ付テハ何等カ監督ノ方針ハナイカト云フコトニ付テハ、政府トシテハ、法律ニハ之ヲ明定シナイケレドモ、行政ノ手心又施行細則等ニ於テ出來ルモノハ其標準ニ依リ、又監督等ニ付テ是ガ實行ノ期シタリ、斯ウ云フ風ナ答辯ガアッタデアリマス、而シテ尙ホ地方銀行ハ現在ハ不動産ノ貸付ニ偏倚シテ居ル、隨テ是ガ爲ニ資金ノ固定ニ苦シメ居ルガ、勸業銀行等ノ間ニ金融上ノ聯絡ヲ圖ル考ハナイカ、即チ不動産ノ資金化ノ問題起リタラバデアリマス、之ニ關聯シテ又後程述ブル所ノ希望條項ガ生レ出デタト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、其他重要ナル質問應答ハ洵ニ多イデアリマシテ、私ト致シマシテハ、何レヲ重シトシ、何レヲ輕シトシテ、取捨選擇スル譯デアリマセウガ、併シ先ヅ議論ノ多カリシモノハ、如上ノ點デアッタヤウニ考ヘマシタノデアリマス、而シテ尙ホ手形割引ニ關シ、手形ノ流通ヲ圓滑ニスルガ爲ニ、政府ハ官民合同ノ手形引受會社ヲ設置スルノ意思ナキヤト云フ質問ニ對シテ、手形割引ノ流通ヲ好クスルト云フコトハ、政府ハ勿論努力ムル考デアリガ、御質問ノ如キ今會社ヲ造ルト云フコトニ付テハ、直グニハ其意思ハナイ、斯ウ云フ應答デアッタノデアリマス、斯クテ過グル五日討論ニ入りマシテ、小川委員ヨリ先程來申述ベマシタヤウナ趣

旨ニ依ッテ、修正案ガ出タノデアリマス、其要領ヲ申上ゲマシレバ、本法案ノ第三條ニ依レバ、原則トシテ銀行ノ資本ハ、最低限度百萬圓トスルコトハ結構デアラウ、併ナガラ人口一萬未滿ノ小町村ノ銀行ニマデ之ヲ適用スルコトハ、餘程無理デアラウト思フカラ、之ニ付テハ五十萬圓ト云フコトニ致シタイ、又會社ノ猶豫期間、是ハ原案デハ七年ニナツテ居ルガ、五年ニ短縮シテモ出來ルコトデアアルマイカ、兼業禁止ノ猶豫期間、是ハ三年トナツテ居ルガ、是ハ少シ無理デアアルカラ、五年ニ統一シテハドウデアアルカ、又株式會社ノ組織ヲ變更シナクテヤナラズ、是ガ猶豫期間七年トアルノヲ五年トシテ、要スルニ是等ノ期間ハ、五年ヲ以テ統一スルコトガ宜シクハナイカ、斯ウ云フ趣旨ヨリシテ、只今御手許ニ回付シテアリマス所ノ修正案ガ生レタノデアリマス、次デ木暮委員ヨリ、是亦御手許ニ回付シテアリマス通り、銀行監督ニ關スル事、不動産ノ資金化ニ關スル事、又會社ニ付テノ政府當局ノ扱方、是等ニ付テモ希望條項ガ出タノデアリマス、右修正案及希望條項ハ、全員一致ノ贊成ヲ得タノデアリマシタガ、之ニ對スル政府當局ノ所見ヲ質シマシタル所、片岡大藏大臣ハ、修正案ニ對シテハ、政府ハ同意ヲスル、又希望條項ハ何レモ無理カラヌコト、思フ、特ニ銀行検査官ノ特別任用ト云フコトニ付テ、政府ハ成ベク特殊ノ官職ハ別デアアルガ、成ベク特別任用ノ途ヲ一般ノ官吏ニ開キタイト云フ考デアッテ、折角攻究中デアアルガ、併シ樞密院ノ關係モアルカラ、直ニ是ガ實現スルモノトハ明言ハ出來ヌケレドモ、御希望ハ洵ニ無理カラヌ事デアルト云フ御答辯デアリマシタ、斯クテ採決ニ入りマシテ、修正案ハ全員一致ノ贊成ヲ得タノデアリマス、而シテ本法ヲ施行スル所ノ時期、是ハ御承知ノ如クニ勅令ヲ以テ定ムト云フコトニナツテ居リマスガ、政府當局ハ明年ノ一月一日ト云フコトニ豫定シテ居ルト云フコトデアリマス、次デ貯蓄銀行法中改正法律案、農工銀行法中改正

法律案、北海道拓殖銀行法中改正法律案、非訟事件手續法中改正法律案、是亦全部政府原案通り全員一致ヲ以テ可決致シタノデアリマス、以上ヲ以テ私ハ御報告ヲ終ルノデアリマスガ、私ノ御報告ノ或ハ誤レル所、或ハ足ラザル所ガアリマシタナラバ、何卒特別委員諸君及政府ノ御答辯ニ關スル事ニ付テハ、政府當局ヨリ御補正下サルコトヲ御願致シマシテ報告ヲ終リマス、長ク御清聴ヲ汚シマシタコトヲ感謝致シマス

○議長(粕谷義三君) 質疑ノ通告ガアリマス、之ヲ許シマス、土屋清三郎君

(土屋清三郎君登壇)

○土屋清三郎君 只今ノ委員長ノ報告ニ關聯致シマシテ、簡單ニ政府ニ御尋フ致シタイノデアリマス、本案ニ於テ銀行ヲ株式會社ニ限ルコトニシタ其理由ハ、第一ニハ資金ヲ集ムルコトノ容易ナル爲、第二ハ監督ヲ十分ニスルコトノ出來ル爲、此二ツノ點カラ合名會社ナドヲ廢シテ株式會社ニ限ルコトニシタト云フコトデゴザイマス、若シ果シテ此精神カラシテ銀行ハ、株式會社デナケレバナラナイト云フナラバ、更ニ一歩ヲ進メテ此目的ヲ十分ニ徹底スルガ爲ニ、現行商法中ノ株式會社ニ關スル規定、株式ノ金額ヲ五十圓以上ニ制限シテ居ル所ノ此規定ヲ撤廢致シマシテ、假令一株一圓ノ株式ヲ以テシテモ、五圓ノ株式ヲ以テシテモ、之ニ依リテ銀行ヲ設立スルコトノ出來ルヤウニスル考ハナイカドウカ、既ニ吾々ハ普通選舉ノ主義ニ依ッテ、選舉法ヲ改正シテ、庶民階級ヲシテ、等シク政治ニ參與スル所ノ機會ヲ與ヘタノデアアル、果シテ然ラバ產業ニ於テモ同様ニ、庶民階級ヲシテ其經營ニ參加スル權利ヲ認メルト云フコトハ當然デアラウト思フノデアリマス、現ニ此意味ニ於テ米國ニ於テハ一株ノ金額一弗ノ銀行ガ出來テ居テ、勞働階級、庶民階級ノ人々、之ニ依リテ自ラ銀行ヲ設立シテ、庶民階級ノ金融機關ト致シテ居ルノデアアル、政府ガ偶、此法案ヲ制定スルニ當テ、資金ヲ集ムルニ容易ナルコト、監督ヲ十分ニスルコトガ出來ルト云フ、其趣旨ニ付テハ私

ハ大ニ贊成デアアル、即チ之ヲ更ニ徹底スルガ爲ニ、此商法ノ株式ノ金額ニ對スル制限規定ヲ廢止スル所ノ御意思ガナイカドウカ、明白ナル御説明ヲ得タイト思フノデアリマス

(國務大臣片岡直溫君登壇)

○國務大臣(片岡直溫君) 土屋君ノ御尋ニ御答申上ゲマス、只今ハ御述ニナリマシタヤウナ改正ヲ致サウト云フ考ヲ持ッテ居リマセウ

○議長(粕谷義三君) 委員長ノ報告ニ對シテ贊成ノ通告ガアリマス、此際之ヲ許シマス——木暮武太夫君

(木暮武太夫君登壇)

○木暮武太夫君 私ハ只今議題ニナツテ居リマスル案ニ對シマシテ、委員長ノ報告ニ贊成ヲ表スル者デアリマス、特ニ銀行法案ハ御承知ノ通りニ、我が經濟界ノ一般ノ意嚮ニ依ッテ出マシタモノデアリマシテ、此際修正事項ニ付キマシテモ、希望事項ニ付キマシテモ、贊成意見ヲ表明シテ置クコトガ、議員トシテ極メテ私ハ適當ナコトデアルト考ヘマシテ、議案編輯ノ今日恐入りマスガ、暫クノ間時間ヲ預戴スル次第デアリマス、政府ノ原案ニ依リマスル、晚カレ早カレ相當ノ年限ノ後ニ於キマシテハ、我國ノ津々浦々ニ於テハ公稱資本百萬圓ニ致スベシト云フコトデアリマス、而シテ此資本金百萬圓ト云フコトヲ法定スルコトガ、即チ委員會ニ於キマシテ重大ナル問題トナツタノデアリマス、而シテ從來ハ内規ニ依リマシテ、新設ノ銀行ニ付テハ五十萬圓ト云フコトヲ以テ、行政ノ手段ニ依ッテ資本ノ充實ト銀行信用ノ擴張ト云フコトヲ圖リテ居リマシタモノヲ、今回法定シテ、明ニ百萬圓以上ト致シマスルコトニ付テハ、是ハ重大ナル問題デアアル、殊ニ普通銀行ニ於キマシテ、經營上、內資金ノ需要供給ヲ調節致シマスルニ付テハ、大體ニ於テ營利統制ニ一任スベキモノデアリニ拘ラズ、此資本金ノ充實ノ爲ニ公稱資本百萬圓ニスルト云フコトハ、餘程實狀ニ合致致シマセヌケレバ、或ハ之ヲ恐ル、將來ニ於キマシ

テハ、所謂大銀行支店主義ノ弊ニ墮シ、或ハ合同主義ノ弊ニ墮ルト云フコトハ、常ニ考ヘテ居ラレドアリマス、而シテ若シ例ヘバ人口一万人未滿ノ町村ノ如キ小地域ニ於キマシテモ、百万圓ノ公稱資本ヲ以テスルニアラザレバ銀行ヲ造ルコトガ出來ナイト云フヤウナコトニ相成リマシタナラバ、先ヅ第一現在ノ銀行ト云フモノハ強制的ニ合併ヲ致サナケレバナラナイヤウナ、一ツノ方法ヲ執ラナケレバナラナイノデアリマス、此結果ト致シマシテハ、都會ニ於ケル所ノ大キイ銀行ノ支店ガ、地方到ル處ニ瀰漫致シマシテ、サウシテ動モスレバ今日世間ノ問題トナテ居リマスル所ノ、地方金融ノ壓迫ト云フコトニ相成テ、而モ大都會ニ於キマシテ、段々證券ノ放資ト云フコトガ盛ニナツテ來ル、隨テ定期預金ト云フモノモ少クナツテ來ル、サウシテ信託預金ト云フモノガ盛ニナツテ來ルナラバ、銀行ハ今日資金ノ中樞トシテ求メテ居ル所ノ、定期預金ト云フモノヲ禁ジナケレバナラヌ、或ハ庶民金融ガ盛ニナツテ來ル、貯蓄銀行ガ盛ニナツテ來ル、我國ノ銀行ノ資金ノ大部分ヲ成シテ居ル所ノ、所謂特別口座ノ預金ト云フモノガ、都會ニ於テハ減シテ參ル、此結果ハ地方ニ於テ零細ナル金ヲ集メテ、都會ニ參ラヌケレバナラヌト云フヤウナ趨勢ニ、今日ナツテ居リマスニ當テ、尙更此合同主義、所謂大都會ニ在ル大銀行ノ支店ト云フモノガ、地方ニ散布スルコトハ、洵ニ私共ハ危險デアル、ドウシテモ一万未滿ノ町村ニ於キマシテハ、五十萬圓位ノ公稱資金ヲ以テ許サナケレバナラヌト云フノガ、私共ノ贊成致シマスル第一ノ理由デゴザイマス、而シテ第二ニハ此強制的ニ合併ヲ致シマセヌデ、資本ヲ自ら増加致シマスル場合ニ於テ、銀行ノ預金モ増加シナイ、或ハ貸出モ増加致サナイ、即チ從來ノ銀行ノ營業ノ狀況ト云フモノガ變リマセヌノニ、法律ヲ以テ百萬圓ト云フ公稱資本ヲ決定シタ爲ニ、増資ヲ致シマシタナラバ、勢ヒ株主ハ配當率ノ低減ヲ忌ム餘リ、銀行當局ニ之ヲ掛合シテ銀行ノ當事者ト云

フモノハ止ムヲ得ズ焦躁苦慮致シマスル結果ハ、不堅實ナル營業ヲ行フヤウニナツテ、金融制度ノ改善トハ全ク其趣旨ガ違フヤウナ結果ニナルコトヲ私共ハ慮レテ居ルノデアリマス、更ニ第三ノ理由ト致シマシテハ、御承知ノ通り何モ銀行ノ拂込資本ト云フモノガ、必シモ普通銀行ニ於ケル資金ノ中樞ヲ爲シテ居ルモノデハナイノデアリマス、御承知ノ通りニ銀行ノ資金ノ主ナルモノハ要求拂ノ債務ヲ負ウテ、之ヲ轉換シテ手形ノ割引ヲスルモノデアリマス以上ハ、一人以下ノ町村ナドニ、百万圓以上ノ公稱資本ヲ強制スルト云フコトハ、積極的ニ何等ノ理由ハ無イト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、此三ツノ點カラ致シマシテ、此一人以下ノ人口ヲ持テ居リマスル所ノ町村ニ於テ、五十萬圓ノ公稱資本ヲ以テ銀行ヲ作ルコトヲ許スト云フ此修正ハ、洵ニ私ハ時宜ニ合ツテ、事情ニ合ツテ、動モスレバ我國ノ地方金融ノ壓迫セントシテ居ル所ノ、大銀行支店主義ノ弊ニ墮センコトヲ、救フモノデアルト私共ハ信ジテ居ルノデアリマス、更ニ私ハ是ヨリ希望條件ニ付テ申シマスルナラバ、先ヅ第一銀行ノ監督ト云フコトハ、御承知ノ通り預金者保護ノ立場カラ見マシテモ、或ハ又銀行ノ健全ナル發達ノ立場カラ見マシテモ、洵ニ必要デアルトコトハ勿論デアリマス、併ナガラ從來ハ銀行ノ監督ト申シマスル所、所謂定款ニ違フモノデアルトカ、或ハ法規ニ違反シタモノヲ爬剔別扶シテ、若イ官吏ガ一時ノ快ヲ食ルト云フコトガ、銀行ノ検査デアッタト云フコトハ、是ハ洵ニ歎ハシイコトデアアル、銀行ノ検査ト云フモノハ、寧ロ其銀行ノ其地方ニ於ケル金融機關トシテノ機能ヲ、十分ニ發揮シテ居ルカドウカト云フコトヲ能ク調ベテ、營業ノ健全ナル發達ヲ助成スル意味ニ於テ、検査ヲシ、監督ヲスルト云フコトガ必要デアラウト考ヘル、此検査ヲ徹底致シマスルノニハ、從來ノ如クニ唯、法規典例ニ詳シク、或ハ高等文官ヲ通ツタト云フヤウナ方ニノミ待テ、本當ノ検査ノ實ヲ擧ゲ、銀行業ノ健

全ナル發達ヲ達成スルト云フコトハ、蓋シ至難デアルト私共ハ考ヘテ居ル、此意味ニ於テ、地方ノ事情ニモ通ジ、銀行ノ從來ノ事情ニモ能ク精通致シマシタ人ヲ、特別任用ニ依ツテ選任致シマシテ、サウシテ此大目的ヲ達成スルコトニ遺憾ナキヲ、私共ハ希望致シテ居ルノデアリマス、更ニ第二ノ希望條件ト申シマスルコトハ、所謂普通銀行ノ擔保不動産ヲ資金化スルト云フコトデアリマス、御承知ノ通り我國ニ於テ銀行行政策ト申シマスレバ、從來ハ銀行ノ分野ヲ相定メテ、言葉ヲ換ヘテ申シマスルナラバ、勸銀、農銀ハドウ云フ方ニカヲ盡ス、興業銀行ハドウ云フ方ニカヲ盡ス、而シテ所謂普通銀行ト云フモノハ、政府當局ガ辯明スルガ如クニ、英國流ニ預金銀行主義ニ依ル方針デアッタノデアリマス、併ナガラ是ハドナタガ御考ニナツテモ分ル通り、此趣旨ヲ十分ニ達成致シマシテ、分野ヲ明ニシテ置クコトハ出來ナカッタ、即チ勸業銀行法ヲ改正シ、農工銀行法ヲ改正シテ、サウシテ普通銀行ノ中ニモ、是ガ入ッテ行カナケレバナラヌ、ト云フヤウナ狀態ニ立至ッテ居ルノデアリマス、而シテ政府當局ノ方ハ從來ノ事ヲ御考ニナツテ、將來ニ於テモ亦此分野ト云フモノハ、相當ニ分ケテ置ク必要ガアラウト云フヤウナ御考デアリマスケレドモガ、私共ハ是ハ洵ニ困難デアルト思フ、何トナレバ日本銀行ノ條例ヲ改正シテ、サウシテ商業手形ニ對シテ幾多ノ優遇ヲ與ヘマシテ、商業手形ヲ普通銀行ニ於ケル所ノ手形割引ノ材料トスルト云フヤウナコトハ、洵ニ理論ト致シマシテハ結構デアリマスルガ、英吉利ノ如クニ貿易ノ中心トナツタ爲ニ、幾多ノ善良ナル手形ガアルナラバイザ知リマセヌ、我國ノ如ク殊ニ地方ニ於テハ、商業手形ノ善良ナルモノト云フモノハ洵ニ少イ、殊ニ善良ナル地方ノ有價證券ト云フモノモ亦少イ、普通銀行ト雖モ矢張不動産ノ金融ニ其大體ノ資金ヲ投ジナケレバナラヌト云フコトハ、是ハ事實上止ムヲ得ナイコトデアリマス、此事實ニ直面

致シマシタ場合ニ、唯、理窟ノ上カラ普通銀行ヲ英國流ニ預金銀行主義ニ依ツテヤツテ行クト云フヤウナコトヲ仰セラレテモ、是ハ何ニモナラナイ、今日普通銀行ハ十五億萬圓ヲ投ジテ居ル所ノ此不動産ヲ、一朝財界ニ事有ル場合ニ於キマシテハ、直ニ見返リ擔保ニシテ、サウシテ勸銀ナリ、農工銀行ナリト有機的ノ連絡ヲ附ケ、脈絡ヲ附ケマシテ、此十五億萬圓ノ不動産ノ資金化ト云フコトヲ努メナケレバ、恐ラクハ地方ノ金融ヲ救フコトハ出來ナイト私共ハ考ヘテ居ル、此意味デ希望條件ヲ附シタノデアリマス、更ニ第三ノ希望條件ト致シマシテハ、從來ハ新シク作ル所ノ銀行ダケニ對シマシテ、内規ニ依ツテ五十萬以上ト云フ公稱資本ニ致シテ居ラヌモノヲ、今度ハ將來ノ銀行ノ資本ヲ百万ナリ、五十萬ナリニスルコトハ勿論、或ハ既設ノ銀行ニ於キマシテモ、相當ノ年限ノ後ニ於テハ、矢張法律ヲ定メタ所ノ公稱資本ヲ持タセナケレバナラヌト云フ、可ナリ營利統制ヲ無視シタ、強制的ノ法律デアリマスルガ故ニ、此最低ノ法定ノ資本金ニ達シマスルマデ、増資ヲ致シマスル際ニ於キマシテハ、相當ニ政府ニ於テ手心ヲ加ヘテ、寛大ナル取扱ヲシテ貰フノガ、蓋シ當然デアルト私共ハ信ジテ居ルノデアリマス、以上ヲ以チマシテ簡單ニ此修正條項並ニ希望條件ニ對スル私ノ贊成ノ意見ト致シテ置キマス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 別ニ發言ノ通告ハアリマセヌカラ、討論ハ是ニテ終局致シマシタ、銀行法案ノ委員長報告ハ修正デアリマシテ他ノ四案ハ凡テ可決デアリマス、先ヅ銀行法案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○井本常作君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(粕谷義三君) 井本君ノ動議ニ御異

議ナシト認メマス、仍テ直ニ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

銀行法案

第二讀會

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 別ニ御異議ガアリマセヌカラ採決シマス— 本案ノ委員長報告ノ修正ノ點ニ、賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマ

〔賛成者起立〕

○議長(粕谷義三君) 起立總員デアリマス、仍テ委員長報告ノ修正ノ點ハ、可決サレマシタ、次ニ其他ノ部分ハ、原案ノ通り御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ其他ノ部分ハ總テ原案ノ通り決シマシタ、是ニテ第二讀會ハ終了致シマシタ

○井本常作君 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 井本君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ第三讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス

銀行法案(政府提出)

第三讀會

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ハ第二讀會議決ノ通り可決確定致シマシタ(拍手起ル)— 續イテ貯蓄銀行法中改正法律案外三案ハ、委員長報告ハ何レモ可決デアリマス、仍テ四案ヲ一括シテ、第二讀會ヲ開クコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ此四條ノ第二讀會ヲ開クコトニ決シマシタ

○井本常作君 此四案ハ一括シテ直ニ其第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決セラレンコトヲ望ミマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 井本君ノ動議ニ御異

議ナシト認メマス、仍テ直ニ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、議案全部ヲ議題ニ供シマス

貯蓄銀行法中改正法律案

第二讀會(確定議)

農工銀行法中改正法律案

第二讀會(確定議)

北海道拓殖銀行法中改正法律案

第二讀會(確定議)

非訟事件手續法中改正法律案

第二讀會(確定議)

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ四案トモ委員長報告ノ通り可決確定致シマシタ、是ニテ全部終了致シマシタ— 次ハ日程第十八乃至第二十三ハ、同一委員ニ付託シタル議案ナルニ依リ、一括シテ議題ニ供スルコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程第十八、登録稅法中改正法律案、日程第十九、印紙稅法中改正法律案、日程第二十、砂糖消費稅法中改正法律案、日程第二十一、關稅定率法中改正法律案、日程第二十二、商事非訟事件印紙法中改正法律案、日程第二十三、明治四十年法律第二十一號中改正法律案、樺太ニ於ケル租稅ニ關スル件、右各案ヲ一括シテ議題ニ供シ第一讀會ノ續ヲ開キ委員長ノ報告ヲ求メマス— 武藤金吉君

第十八 登録稅法中改正法律案(政府提出) 第二讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一 登録稅法中改正法律案(政府提出) 右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和二年三月五日

委員長 武藤 金吉

衆議院議長粕谷義三殿

(小字及ハハ委員會修正)

登録稅法中改正法律案中左ノ通修正ス

第十九條 左ニ掲グルモノニハ登録稅ヲ

○第八號第九號、第十二號課セス但シ○第十一號及第十四號ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依ル

一 政府自己ノ爲ニスル登記又ハ登録

二 社寺若ハ堂宇ノ敷地又ハ墳墓地ニ關スル登記

三 北海道府縣市町村其ノ他ノ公共團體ニ於テ公用ニ供スル不動産ニ關スル登記

四 府縣市町村ノ廢置分合若ハ境界變更ニ因ル府縣市町村ノ權利ノ取得又ハ其ノ府縣市町村ニ所有權ヲ移スニ付爲ス所有權ノ保存ノ登記又ハ登録

五 市町村ノ一部ニ屬スル財產ヲ其ノ市町村ニ移ス場合ニ於ケル市町村ノ權利ノ取得又ハ其ノ市町村ニ所有權ヲ移スニ付爲ス所有權ノ保存ノ登記又ハ登録

六 市町村又ハ市町村ノ一部ニ屬スル入會權ニシテ二以上ノ市町村ニ互ルモノヲ消滅セシムル爲メ市町村又ハ其ノ一部カ其ノ入會財產ニ付爲ス權利ノ取得若ハ財產ノ分割又ハ之カ爲ニスル所有權ノ保存ノ登記

七 産業組合、産業組合聯合會、産業組合中央會、漁業組合、漁業組合聯合會、重要輸出品工業組合、重要輸出品工業組合聯合會又ハ輸出組合ニ付産業組合法、漁業法、重要輸出品工業組合法又ハ輸出組合法ニ基キテ爲ス登記

八 自作農ノ創設維持事業ニ關スル國庫補助金ノ交付ヲ受テ行フ北海道府縣市町村、産業組合又ハ産業組合聯合會ノ施設ニ依ル個人ノ土地所有權ノ取得ノ登記

九 前號ニ規定スル北海道府縣市町村、産業組合又ハ産業組合聯合會カ自作農ノ創設維持ノ爲ニスル抵當權ノ取得ノ登記

十 北海道府縣市町村、産業組合又ハ住宅組合カ住宅ノ供給ノ爲ニスル抵當權ノ取得ノ登記

十一 住宅又ハ住宅用地ニ付産業組合

員又ハ住宅組合員カ其ノ所屬組合ヨリノ權利ノ取得ノ登記

十二 第八號ニ規定スル北海道府縣市町村、産業組合又ハ産業組合聯合會ヨリ自作農創設維持ノ爲資金ノ貸付ヲ受ケタル者カ其ノ貸付ノ條件ヲ具備セサルニ至リタル場合ニ於ケル北海道府縣市町村、産業組合又ハ産業組合聯合會ノ土地所有權ノ取得ノ登記

十三 農業倉庫業者又ハ聯合農業倉庫業者ノ農業倉庫若ハ聯合農業倉庫又ハ其ノ敷地ニ關スル權利ノ取得ノ登記

十四 學校經營ヲ目的トスル法人ノ土地、建物ノ權利ノ取得又ハ所有權ノ保存ノ登記

第十九 印紙稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一 印紙稅法中改正法律案(政府提出) 右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和二年三月五日

委員長 武藤 金吉

衆議院議長粕谷義三殿

第二十 砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一 砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出) 右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和二年三月五日

委員長 武藤 金吉

衆議院議長粕谷義三殿

第二十一 關稅定率法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一 關稅定率法中改正法律案(政府提出) 右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和二年三月五日

委員長 武藤 金吉

衆議院議長柏谷義三殿

第二十二 商事非訟事件印紙法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一 商事非訟事件印紙法中改正法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和二年三月五日

委員長 武藤 金吉

衆議院議長柏谷義三殿

第二十三 明治四十年法律第二十一號中改正法律案(樺太ニ於ケル租税ニ關スル件)(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一 明治四十年法律第二十一號中改正法律案(樺太ニ於ケル租税ニ關スル件)(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和二年三月五日

委員長 武藤 金吉

衆議院議長柏谷義三殿

○武藤金吉 只今上程サレマシタ登録税外五件ノ委員會ノ成績ヲ報告ヲ致シマス、特別委員會ハ小委員會マデ開イテ、回ヲ重ネルコト十九回、詳細ニ質問應答ヲ試シマシテ、慎重ナル審査ヲ致シマシタ、此各案ニ對シテ大體ノ質問應答ノ要旨ヲ申上ゲマスレバ、此案ハ所謂第二次ノ税制整理ト稱セラレバ、政府ハ現下ノ財政状態ニ鑑ミテ、認容セラルベキ範圍ニ於テ國民租税ノ負擔ノ均衡ヲ圖ルト云フコトガ一ツデアリマス、又社會政策上、經濟上カラ我國ノ現況ニ照シテ、社會政策ノ效果ヲ舉ゲルコトニシタイト云フノガ、此目的ノ一ツデアリマス、又稅務行政ノ實行ノ上カラ、官民ノ便利ヲ圖リテ無駄ナ手數ヲ省クト云フコトモ一ツ

デアリマス、此目的ヲ以テ出來タ此税制整理ニ付テノ大體ノ質問ハ、此案ヲ調ベテ見レバ、何處ニ國民負擔ノ均衡ヲ舉ゲラレテ居ルカ、何處ニ社會政策ノ施設ガ現ハレテ居ルカ、産業上ニ重大ナル關係ガアルト云フノハ、下ノ點ヲ指スノデアアルコト云フ質問ニ對シマシテ、政府ハ其内容ヲ見レバ、確ニ其負擔ノ均衡ト社會政策ガ現ハレテ居ルト云フコトヲ答ヘラレマシタ、次デ此税制整理案ハ、登録税、印紙税ニ於テ説明サレテ居ルカ、中産以下一般社會ニハ恩典ガ少クシテ、大尙社若クハ大取引ヲスル富豪階級ニハ非常ニ便利ノヤウデアアルカ、一般國民ノ消費ニ關スル砂糖消費税ノ如キハ、海ニ其ノ負擔ノ均衡ヲ得テ居ナイバカリデナイ、外ノ税ニ較ベテ、消費税ノ中デモ砂糖ハ世界各國ニ類例ノナイ程高イ稅デアアル、斯様ナル事實ニ付テノ痛烈骨ヲ刺ス質問、完膚ナキニ至ッタノデアリマス、政府ハ社會政策ヲ考慮シタト言フガ其理由ハドウカト尋ネタ所ガ、社會政策ニ留意シタト云フ點ハ、例ヘバ住宅ヲ拵ヘル場合ニ於テ二重課税ヲセラレテ居ルノ、今度ハ之ヲ止メタ、砂糖消費税ノ如キハ第一種ヲ半減ニシタ、第一種トハ樽入黒糖——黒砂糖デアリマス、之ヲ二圓ノモノヲ一圓ニサレタノデアリマス、之ヲ申スノデアリマス、第一種ハ半減ニシタ、財政ガ許スナレバ消費税ハ皆廢シタイノデアアルケレドモ、サウ云フ譯ニイカナイ、財政ガ許スナレバ、皆消費税ヲ無税ニシタイト云フコトマデモ皆ハレタガ、サウ云フコトニハ出來ヌト云フ御話マデアリマシタ、此第二次税制整理ヲ見マスルト、僅ニ登録税、印紙税、砂糖消費税、砂糖ノ關稅ニ付テ提案シタダケデ、第二次税制整理ナド、云フ大看板ヲ懸ケルナレバ、何故ニ其外ノ鹽業税、砂糖區稅、兌換銀行券發行税、取引所稅、特種免許稅等ニ付テ、何故ニ此整理ノ中ニ加ヘナカッタノデアアルコト云フ質問ニ對シマシテ、政府ハ是ハ今改正シナケレバナラヌ必要ヲ認メナイ、斯ウ云フ譯デアリマス、更ニ要領ヲ得ヌ答辯デアリマシタ、又昨年第一次ノ税

制整理ノ際ニ、衆議院ニ於テ議員ノ調ベタル關稅收入ノ統計、總算値上ニ關スル統計、酒稅ノ増額ニ對スル數字、營業收益稅及所得稅等ニ付テ見積タ所ノ金額ト云フモノハ、衆議院ニ於テ議員ノ示シタ數字ガ其通り的確ニナラシメ居ルデハナイカ、而シテ政府ガ豫定サレタル所ノ數字ハ悉ク誤リデアッタガ、政府ハ今日此數字ノ不正確デアッタコトヲ認メルカ、實蹟ニ徴シテドウ云フ感ゾヲ持ツ、又今日第二次税制整理ニ付テモ此所ニ收支ノ數字ガ盛テアルカ、此數字ハ大藏大臣ハ責任ヲ以テ之ニ當ルノデアアルコト云フ質問ニ對シマシテ、大藏大臣ノ答辯ハ海ニ明答ヲ委員會デ與ヘテ居リマス、餘リノ明答デアリマスカラ、私ハ其通り報告致シマス、當局トシテハ當時何等ノ據口ナクシテ隱匿シタノデハナイガ、當局トシテハ責任觀念ノ動ク所カラシテ、用心ヲシタ嫌ハアルカモ知ラヌガ、ト極メテ曖昧ノ答辯ヲ以テスルノミナラズ、第二次税制整理ニ於キマシテハ、ソレデアリマスカラ、アナタ方ハアナタ方自ラ御卓見ト御決メニナレバ、卓見デナイトハ私ハ申上ゲマセヌ、政府ノ立場トシテハ前段申上ゲタ通りデアリマス、餘リノ御答辯デアリマスカラ、是ハ其以上ハ問ヒマセナカッタガ、第一次税制整理、今回ノ第二次税制整理、而モ收支ノ數字ニ付テ斯様ノ質問應答ガ行ハレタト云フコトヲ、特ニ私ハ聲ヲ大キクシテ茲ニ御報告致シテ置キマス、次ハ國稅收入ノ中デ直接稅、間接稅ノ割合ハ、近年著シク間接稅ノ割合ガ殖エテ參タ、本年度ニ於テハ直接稅ハ「コンマ」三五五、間接稅ハ「コンマ」六三五、百ノ中ガ斯ウ云フ風ノ比例ニナラシメ居リマス、然ルニ此度ノ第二次税制整理ヲ行フニ付テハ、益、此間接稅ヲ殖ヤス傾向ガアリマスカラ、試ニ數字ニ當テ見マスレバ、直接稅ハ「コンマ」三三二、間接稅ハ「コンマ」六四八、斯ウ云フ風ニナラシメ、一般國民ノ負擔ト云フモノハ消費稅ニ於テ間接稅ノ負擔ガ多クナリ、益、一般國民ハ重稅ヲ負ウテ、一部ノ富豪階級、特權階級ハ輕クナルト云フ傾向ガアルカ、此事ヲ考

慮シタカ如何デアアルカト言フタ所ガ、是ハ折角此登録税、印紙税ニ付テモ十分ニ考慮シテ、是ハ立案ヲシタモノデアルト云フ答辯デアリマシタガ、詳細ノ事ハ十九回ニ互テ審査ヲ致シテアリマシテ、大分遠記録ヲ消去シテ居リマスケレドモ、是ハ是非諸君ニ於キマシテモ、國民負擔ニ關スル大切ナル稅制ノ事デアリマスカラ御覽ヲ願ヒタイト思ヒマス、右様ノ次第デアリマシテ大體ノ質問ヲ終シテ、更ニ各案ニ付テ申シマスレバ、大體ハモウ是デ盡キテ居ルノデアリマスガ、先ヅ以テ問題ニナリマシタノハ登録税デアリマス、登録税ハ相續稅ト均衡ヲ得ナイト云フコト、ソレカラ又脱稅ノ質問應答ハ最も時間ヲ要シタノデアリマス、最も時間ヲ要シタノデアリマスガ、大藏大臣、政府委員ノ答辯ガ婉曲デアリマシテ、要領ヲ得ナイ點ガ澤山アツタ、故ニ高橋次郎君ヨリ最後ニ書面ヲ以テ質問ヲ致シマシタ、又政府モ之ニ對シマシテ、書面ヲ以テ回答サレタノデアリマス、餘リ長イモノデアリマシマスカラ、只今此處デ申上ゲルコトヲ略シマシテ、速記録ニ御許ヲ得テ載セテ置クコトガ却テ便宜ト思ヒマスルカラ、ドウゾ御許ヲ願ヒタイ、次ハ砂糖消費税デアリマス、砂糖消費税ニ付テ問題トナリマシタノハ、沖繩、大島ノ樽入黒糖ノ課稅ニ付テノ問題デアリマス、其他稅ノ盛り方等ニ付テモ大分議論ガアリマシタガ、詳細ハ速記録ヲ御覽ヲ願ヒタイ、次ハ印紙税デアリマス、印紙税ニ付キマシテハ登録税ト同ジク從來ノ印紙稅法ト權衡ガ取レナイイバカリデナク、殊ニ議論ノ起リマシタノハ備船契約、備船契約ノ賃賃價格ノ權衡、又備船契約ニ付テハ國際的ノモノデアアルニ拘ラズ、日本ダケガ之ヲヤルノハドウ云フ譯ダト云フテ、内田代議士カラモ專門ノ御質問ガアリマシタ、尚又之ニ書イテデアリマセヌ保證金ノ納入書、報償金ノ契約書、賣買契約書等ニ印紙ヲ貼ラナイノハドウダト云フヤウナ質問モアリマシタ、更ニ問題トナリマシタノハ

社會政策ヲ行フ爲ニ預金通帳ノ印紙ダケハ免稅シタガ、其他ノ通帳ハ免稅ヲシナイ、免稅ヲシナイデ元三錢ノモノガ却テ通帳ハ五錢ニナリテ居ル、又判取帳ト云フモノヲ舊法ハ二十五錢デアッタモノ、此新法ハ五十錢ニナリテ居ル、是等ニ付テモ大分激シイ質問ガアリマシタガ、小委員會ニ於キマシテ成立シマセヌデ、小委員會ニ於キマシテハ唯、一點登録稅法中ニ對シテ第十九條ノ但書ヲ左ノ如ク改ム「但第八號、第九號、第十一、第十二號及第十四號ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依ル」第十九條、第八號ヲ左ノ如ク改メ、第九號中「前號ニ規定スル」ヲ第十二號中「第八號ニ規定スル」ヲ削リ「八、自作農ノ創設維持ノ爲ニスル北海道府縣市町村、産業組合又ハ産業組合聯合會ノ施設ニ依ル個人ノ土地所有權ノ取得ノ登記」左様ニ修正スルコトニナリ、此理由ハ多年是ハ農政研究會等デ研究サレタ問題デアリマシテ、多年主張サレタ問題ガ偶、此修正ノ理由ニナリマシテ、三派共ニ意見ガ一致シマシテ之ヲ認ムルコトニナリ、デアリマシ、更ニ砂糖ノ稅ニ付キマシテハ、沖繩縣並ニ鹿兒島縣ノ大島ガ非常ニ悲惨ナリ狀況ヲ政府ハ認メラレ、委員會ニ於キマシテモ政府ニ交渉ヲ致シマシタ結果、諮議員ノ質問ニ對シマシテ大藏大臣ノ聲明ガアリマシタ、政府ハ沖繩縣及大島ニ於ケル糖業ノ現狀ニ鑑ミ、是ガ保護助長ノ爲ニ、昭和三年度以降同地方ニ於ケル樽入黑糖ノ消費稅總額ヲ下ラザル經費ヲ豫算ニ計上スヘシ、此意味ハ約八十万圓程ノ砂糖ノ消費稅金ヲ拂フサウデアリマスガ、之ヲ超エナイ範圍ニ於テ、産業獎勵ノ爲ニ政府ハ昭和三年度以降ニ於テ補助スル、斯ウ云フ意味デアリマシ、御委託ニナリマシタ登録稅外五案ノ審查成績ハ斯ノ如クデアリマス、尙ホ附加テ此處デ申上ゲテ置カネバナラヌコトハ、昨年ノ五十一議會ニ於テ政府ニ要求サレマシタ關稅定率ノ改正ニ付テ、尙ホ此關稅定率法ガ出テ居リマシ、關聯シテ質問應答ガアッタ、何故ニ政府ハ是ダケ砂糖ノ關稅ト、又其外ニ酸化「コバルト」ダケヲ

出シテ、外ノモノヲ出サヌカ、斯ウ云フコトデアリマス、マダ調査ガ出來ナイ、マダ關稅委員會議決審議中ノモノガアル、斯ウ云フコトデアリマシタ、之ヲ分ケテ申シマスレバ、金液ト云ヒマシテ瀬戸物ニ塗リマスル金液ハ何故出サヌカ、政府ニ於テハ、モウ一年待テ呉レマス、立派ナ成績ガ舉ルカラ、ソレマデ待テ呉レト云フノデ、大分ヤカマシイ論議ガアリマシタガ、是一年待テ貰ヒタイト云フコトニナリ、最近ニ提出スル、ソレカラ木材デアリマス、木材ハ目下關稅會議ニ付シテアル、又一面ニハ我が帝國ノ森林行政ノ上カラモ見ナケレバナラナイ、水源涵養ノ點カラモ見ナケレバナラナイ、國土保安ノ點カラモ見ナケレバナラナイ、本年ハ遺憾ナガラ提出スルコトガ出來ナイカモ知ラヌ、併ナガラ此點ニ付キマシテハ、輸入材木ト内地ニ於ケル樹木ノ成長力ト、植林ノ比較ト各般ニ互フデハ、調査シナケレバナラナイ事デアリマシ、マダ定ムルコトガ出來ナイト云コトガ、此木材ニ關スル政府ノ答辯デアリマス、又綿絲ニ付キマシテハ、政府ハ綿絲關稅ハ撤廢ニ反對ダ、反對ノ理由ト云フモノハ四五點アリマスルガ、紡績會社ガ不良會社ガアル、五十一アルガ不良會社ガアル、其不良會社ガマダ十分デナイカラ良クシナケレバナラヌト云フコトガ、一ツノ理由デス、所ガ政府カラ出シタ統計ト、綿製品者ノ提供シタ統計ニ依ルト、綿製品者ノ出シマシタ力當テ居ナイ、其程度ノ不良ノ程度ハ百分ノ四ニシカ當テ居ナイ、政府ノ出シタ方デハ其數字ハ明デアリマセヌケレドモ、不良會社ハ十幾ツニ當テ居ルト云フコトヲ言ハレテ居リマス、又其外ニ支那ノ特惠關稅ト綿絲ノ關係ニ付テ、今日ハ支那カラ綿絲ガ這入マシタナラバ防ダヌカラ、同意スルコトガ出來ナイ、ソレカラ又追テ深夜業ノ廢止——深夜業ノ廢止ヲ行ハナケレバナリマセヌカラ、之ヲヤルト云フト能率ニ關係ヲ持ツカラ、此撤廢ガ出來ナ

イト云フノガ理由ノ一ツ、尙ホ其外印度ノ關稅ニ對スル誓約、種々ノ理由ヲ附ケテ此綿絲關稅ノ撤廢ニハ不同意デアルト云フコトヲ、政府ハ聲明サレタノデアリマス、大藏省、商工省ハ綿絲關稅撤廢ヲ多年主張サレタ、政府當局ノ方々ガ責任ヲ持テ其衝ニ當フレテ、前日ト方針ガ變ルノ甚シキヲ委員會ニ於キマシテハ遺憾トシタ次第デアリマス、尙ホ其他御報告ヲ申サナケレバナラヌ事柄、澤山アリマスケレドモ、商工省ニ於テ平野ト云フ一技師ガ、昨年ノ關稅改正ノ時分ニ於テ、議員ヲ侮辱セルヤウノ行動ガアッタト云フコトヲ、憲政會ノ奥村千藏君ヨリ御發議ガアリマシタ、其委員會ハ調査ヲスルコトハ出來マセヌガ、ソレハ、取調ヲ致シマシテ、委員會ニ於キマシテハ、別段之ニ對シテ決議ハ致シマセヌガ、藤澤商工大臣ハ責任ヲ持テ、不都合ノコトガアルナレバ取調ベテ戒防ヲスルト云フコトヲ聲明サレマシタ、議員ノ信用ニ關係シ、議員ノ體面ニ關係スル放言ヲ爲シタ事實デアリマスルガ、藤澤商工大臣ハ責任ヲ取ル、責任ヲ持テ事實アリトスレバ相當ノ處分ヲスルト云フコトヲ聲明サレマシタカラ、委員會ハ左様諒承致シマシタ次第デアリマス、右概要御報告ニ及ビマス(拍手)

〔參照〕 次回ノ速記録ニ掲載ス

○議長(稻谷義三君) 質疑ノ通告ガアリマス、之ヲ許シマス、田淵豐吉君

〔田淵豐吉君登壇〕

○田淵豐吉君 一寸一言政府ニ問ヒタイ、全部問ヒタイノデスケレドモ、私ハ後ガ續クテ居リマセヌカラ砂糖消費稅ノ事ヲ特ニ問ヒタイ、若シ外ノ事デモ答辯シテ下サレバ少シ聞キタイコトモアリマス、私モ少シ稅制ヲ財政ノ事ニ付テ議論シタイノデスケレドモ、十分ニ調ベテナイノデスカラ、成ベク控ヘテ居ルヤウナ次第デアリマスガ、後來生キテ居レ議員デアリマスレバ、財政及稅制ニ付テ諸君ト意見ヲ關ハシテ見タイト云フ意見モ持テ居ルノデゴザイマス、故ニ私ハ大藏大臣ノヤウナ人トハ少シ考ガ違テ、モウ少シ根柢カラ財政經

濟ヲヤラナケレバイカスト云フ考ヲ持テ居ル、故ニシツカリヤレバ大ニヤル所デアリマスガ、是マデハ控ヘテ居ラ、唯、小川郷太郎君、大口君等ガヤレテ居ル狀態デアリ、吾々ガ飛出スハ四五年ノ後カモ知レヌ、勞働黨其他ノ者ガ議員ニ出テ來タラ尙ホ違タ財政稅制ノ上カラ立テ行クデアラウト思ヒマス、此點ニ諸君ハ思フ致サレシコトヲ願フノデアリマス、私ハ第一——斯ウ云フ事ヲ聞イテ宜イカ知リマセヌガ、今ノ直接稅、間接稅ノ問題デアリマス、果シテ今言フノハ本當デアルカ、嘘デアルカト云フコトヲ明カニシテ戴キタイ、ソレカラ間接稅トハ何ゾヤ、直接稅トハ何ゾヤト云フコトニ付テ、今答辯ガ出來ナケレバ、後デモ宜シイ、速記録ナリ、文書ナリ、何ナリヲ通シテ、一ツ十分ニ的確ニシテ戴キタイ、詰リ財政學上ニ謂フ、稅制學上ニ謂フ間接稅ト直接稅ト、政府ノ言フテ居ル所ト違フノデアリマス、此點モ明ニシテ、サウシテ願クハ各國ノ——列國ノ、或ハ十カ十五トカアル、國々ノ中間接稅直接稅ト云フモノヲ、日本ノ概念ニ直シテ列舉シテ戴キタイノデアリマス、若シ是ガ出來レバ非常ニ結構ナコトデアッテ、參考ニ資スルコト非常ニ大デアルト思フノデアリマス、話ガ横ニ外レマスガ、若槻君ハドウモ佛蘭西流ノヤウデアル、能ク知リマセヌガ、登錄稅、印紙稅ノヤウナモノハ、佛蘭西ニテ多ク取テ居ラ、佛蘭西ハ農業國デアアル、日本ガ農業國デアッタ時ハ宜イカモ知レマセヌ、貧富ノ懸隔ガ盛デナイ時、或ハ共產主義ヲ露國ガ數クトカ云フヤウナ工合ニ、貧富ノ懸隔ガ無イ時ニハ所得稅トカ相續稅ヲ取ナラクトモ宜イ、消費稅デ宜イコト思フ、農業時代各、同ジヤウナ生計ヲシテ居ル時ニハ、所得稅トカ、相續稅トカ云フモノハ宜イカ、消費稅デ結構デアアル、所ガ富豪ガ起リ、資本家ガ起リ、國家社會主義ガ起リ、補助金ガ起リ、工業資金ガ起リ、色々ナ事ガ起リ、インダストリーノ時代ニ這入テ來ルト、茲ニ經濟上、財政上ノ「レウオリウシオン」ガ起リテ來ルト思ヒ

マス、元ノ佛蘭西ノヤウナ「チムニー」ノ無  
イ煙突ノ少イ貯金ニ依テ生キテ居ル状態、  
始末ニ依テ生キテ居ルノデナク、日本ノヤ  
ウナ今日ノ大ナル工業、資本家ガ起テ、  
海外貿易ガ盛ニナリ、大企業、「トラス」  
ガ起ルト云フ時代ニ當テハ、此所得稅ト  
カ、或ハ累進所得稅トカ——佛蘭西ハ永ク  
所得稅ヲ好マナカッタ、平等主義カラ、稅  
ハ皆ナ一割ナラ一割ト云フコトデアッタ、  
平等主義デアッタ、之ニ對シテ負擔能力說  
ト云フモノガ起テ來タ、故ニドウシテモヤ  
ラナケレバナラヌガ、英吉利ハ何億ト云フ  
相續稅ヲ取テ居ル、日本ハ極ク少ナイ、サ  
ウシテコンナ馬鹿ナ砂糖ノ——黑砂糖ノ消  
費稅ヲ取テ居ルノハ根本的ノ誤リデア  
ル、コンナモノヲ以テ第二次ノ財政整理ナン  
ト云フコトハ烏濟ガマシト思フノデアリマ  
ス、怒リ譯デハナイガ、私ハ武藤委員長ノ直  
接稅ハ〇・三六五、間接稅ハ〇・六三五六カ云  
フタノハ果シテ本當カ、内容ハ何デア  
ルト云フコト、各國ニ於ケル所ノ状態ト  
比較研究スル爲ニ答辯ヲシテ戴キタイ、是  
ハ切ニ願フ、世界ノ學者ニモ都合ガ好イ  
思フ、後來ノ政治家ニモ都合ガ好イ思フ  
ノデアリマス、ソレデ是等ノ所謂労働者、  
中産階級ノ國民、元ノ國民黨トカ言フモノ  
ノ案ト、今ノモノト比較研究シタイ、サウ  
シテ財政整理、行政整理ニ當テ權衡ガア  
リマスカラ、特ニ之ヲ聞キタイノデゴザイ  
マス、ドウカ私ハ斯ウ云フ小サイ稅ヲ成  
ベク止メテ、大キナ所デ取テ宜カラウト  
思フ、相續稅デモ、相當ニ取ラナケレバ  
ラヌト思フ、日本ノヤウナコトハイカヌ  
アリマス、私モ能ク調べテ見テ居ナイ、ダ  
カラホンノ思付デアアル、私ハ砂糖ハ文明國  
ニ於テハ非常ニ餘計食フ、日本モ段々食  
來タ、砂糖ハ後ニ機會ガアレバ言ヒマス  
ガ、非常ニ此文明ノ人間ノ早ク「カ  
ロー」ヲ取ルコトガ出來テ、四十八「ア  
ト」メン「カ」成テ居ルト云フコトヲ聞  
イテ居ル、非常ニ早イ胃ノ中デ溶解性ヲ持  
テ居ル、故ニ子供又遠足スル時ナドニ非常ニ

砂糖ガ必要ニナラズテ來ル状態ニアル、時  
ニ「アルコール」ノ代リヲ爲ス状態デア  
ル、サウシテ黑砂糖ト云フモノハ、日本  
ニ於テドウ云フヤウナ原料ニ使ハレテ居  
ルカ、ソレヲ聞キタイ、サウシテ黑砂糖  
ト云フモノハ、ドノ工業ニ使ハレテ居ル  
カ、或ハ食物ノドナモノニ使ハレテ居  
ルカ、或ハドウ云フ階級ガ食ベテ居ル  
カ、何處ニ販賣サレテ居ルカト云フ状態  
モ聞キタイ、委員會デ質問ガアッタカモ  
知レナイガ、私ハ委員會ニ出ラレナイ、  
サウ云フヤウナ状態デ、吾々ノ小サイ時  
ニ、猫ノ糞トカ云フヤウナモノガアッタ、  
ア、云フモノ、中ニ入レテ、最モ貧民ノ  
食フ所ノモノデアアル、子供ノ營養  
デアアル所ノモノデアアル、最モ貧困  
ノ者ガ食ベテ居ル、今日黑砂糖ナ  
ンカヲ使フノハ、獨逸トカ日本ノ如  
キ下等民族ノ國デアアル、良イ所ノ  
亞米利加、英國ナカハ比較的ノ少イ  
ト思ヒマス、量ハ知りマセウガ——  
故ニ斯ウ云フモノヲ食ベルノハ、蕎麥  
トカ、麥トカヲ食フテ居ルヤウナモノ  
ト思フ、私ハ素人考デゴザイマス  
ケレドモ、斯ウ云フモノハ一切免稅  
シナケレバナラヌ、財源ガ無イカラ  
ト云フヤウナ、コンナ馬鹿ナコト  
ハナカラウト思フ、財源ハ幾ラデ  
モアル、其根柢ヲ誤テ居ルカラ  
デアラウト思フ、故ニ私ハ黑砂糖ト云  
フモノハドウ云フ方向ニ使ハレテ居  
ルカ、何方圓デ何貫ノ砂糖ガ使ハ  
レテ居ルカト云フコトヲ聞キタイ、  
又ドウ云フヤウナ方向ニ黑砂糖ガ使  
ハレテ居ルカト云フコトヲ聞キタイ、  
サウシテ大島トカ沖繩トカ云フヤウ  
ナ方面ニ於テ、日本全國ニ於ケル何  
割ノ量ガ生産サレテ居ルカト云フコ  
トヲ聞キタイ、ソレカラ私ノ政府ニ  
問ヒタイ所ハ、黑砂糖ト云フヤウ  
ナモノハ、貧民ガ食ベテ居ル、子供  
ガ食ベテ居ル、尤モ白砂糖ハ今日  
文明國ニ於テ大體——獨逸ニモ  
黑砂糖ガアリマスルガ、黑砂糖ニ  
モ色々ナモノガアル、赤イモノ、  
黒イモノ、溶解シタモノモアリ  
マセウ、能ク知ラヌガ色々  
マセウケレドモ、之ヲ大體ノ標準  
ニ依

テ黑砂糖ト云フモノカ、是ハ委員會  
ノ問題デスケレドモ、其黑砂糖ト云  
フモノハ、大體ニ於テ私ハ無稅ニ  
スル方ガ社會政策上最モ必要デア  
ルシ、又日本ニ於ケル今日ノ財政  
政策ノ上カラ見テモ必要デア  
ルト思フノデアリマス、政府ノ考  
ヘドウカト云フコトヲ聞キタイ、  
第二ニ聞キタイノハ總額ノ八十  
萬圓ヲ沖繩トカ、ア、云フ所  
ニヤルト云フハ、ドウ云フ譯  
デアラウ云フ金ヲヤルカ、  
唯、本黨ガサウ云フコトヲ云  
ウテ來タカラ、ソレデ妥協スル  
爲ニ、サウ云フヤウナ胡麻  
化シ的ノコトヲヤルノカド  
ウカ（違フ「ト」呼フ者アリ）  
マア怒リ給フナ、ソレモハ  
キリシテ置キタイ、此八十  
萬圓ヲ何年間ヤルノデア  
ルカ、又私ノ聞キタイノハ、  
沖繩ト云フ所ノ砂糖ハ何  
軒ノ人ガ造テ居ルカト云  
フヤウナ割合、其沖繩ニ於  
ケル所ノ砂糖ノ生産者ノ  
人間ト、或ハ消費者ト云  
フモノト、ドウ云フ關係  
ニナラシメ居ルカト云フ  
コトモ聞キタイ、例ヘバ或  
人ガ言テ居ルヤウナ——  
森田君等モ言テ居ル、生  
産者ニ其金ヲヤツ所ガ、  
生産者ガ取テシマツテ、  
サウシテ外ノ一般ノ消費  
スル所ノ人ニハ砂糖ノ稅  
ガ掛テ居ルデハナイカ、  
是デハ果シテ徹底的ノ  
モノデアアルカト云フ  
ヤウナ、差別觀念ガアル  
デラウト思フ、是ハドウ  
見テ居ルカドウカ、或  
ハ又黑砂糖ノ稅ハ、即  
チ轉嫁ヲスルモノデア  
ラウト思フガ如何、酒  
ノ稅ナドハ轉嫁シナイ  
ノデ酒屋ガ困ルト云  
フヤウナコトモアル  
ガ、此黑砂糖ト云フ  
モノハ轉嫁シナイカ  
ドウカ、外ノ物トノ  
競争ニ文明ノ進歩ガ  
早イノデアアルカ、  
ドウ云フ譯デア  
ラウ云フ金ヲヤル  
カ、其生産費ガ高  
ク掛ルノデ現代  
デアラウ云フ  
モノ、其生産費  
ガ高ク掛ルノ  
デ現代デア  
ラウ云フモノ、  
其黑砂糖ノ生  
産スル必要  
アルガ爲ニ金  
ヲヤルモノノ  
ハドウ云フ  
意味ガ獎勵  
スルノカ、獎  
勵シナケレ  
バ黑砂糖ガ  
出來ナイノ  
カドウカ、  
之ヲ聞キ  
タイ、ソレ  
デナケレバ  
何ノ爲

ニ八十萬圓ノ金ヲヤルノデア  
ルカ譯ガ分  
ラナイ、故ニ私ハ其點ヲ明  
ニシテ戴キ  
タイ、サウシ  
テ若シ假  
ニ私ハ能ク  
知リマセ  
ウガ、沖繩  
トカ或ハ  
大島邊リ  
ノ人ガ、  
自身ニ  
黑砂糖ヲ  
作ラナイ  
人モアラ  
ウ、或ハ  
作テモ賣  
ルダケノ  
モノハ無  
イト云フ  
人ガアル  
カモ知  
レヌ、買  
ウテ食  
ベル人ハ  
矢張砂糖  
消費稅ヲ  
取ラレ  
ルデハ  
ナイカ、  
困リハ  
シナイ  
カ、ソ  
レカラ  
ソレヲ  
他ノ内地  
ノ國ニ  
賣出ス  
ノニ  
不便  
デア  
ルト云  
フノカ  
ドウカ、  
或ハ  
相稅  
ノ轉嫁  
ガ出來  
ナイト  
云フノ  
カド  
ウカ、  
或ハ  
砂糖  
ハ其處  
ニ生産  
物デア  
ルカラ、  
貧民ノ  
——  
貧窮  
デア  
ル所ノ  
島國  
デア  
ルカラ、  
成ベク  
其  
所ニ  
出來  
ル所  
ノ物  
ヲ産業  
ヲ發展  
セシ  
メタイ  
ガ、其  
處ニ  
ハ  
黑砂  
糖ヨリ  
外ニ  
ナイ  
カラ  
黑砂  
糖ニ  
補助  
ヲヤ  
ラウト  
云フ  
ノ  
デア  
ルカ、  
其意  
味ガハ  
キリ  
シナイ  
ノ  
デア  
ル、  
サウ  
云フ  
ヤ  
ウ  
ナ  
意味  
ハハ  
キリ  
シ  
ナイ  
モ  
ハ  
吾  
々  
ハ  
分  
ラ  
ナ  
イ、  
政友  
本黨  
ノ諸  
君ハ  
顔  
ガ立  
ツカ  
知  
ラ  
ヌ  
ガ、  
八十  
萬圓  
ヤ  
ルト  
云  
フ  
意  
味  
ガハ  
キ  
リ  
シ  
ナ  
イ  
ト、  
何ノ  
爲  
ニ  
ヤ  
ツ  
カ  
ト  
云  
フ  
コ  
ト  
ノ  
扨  
格  
ガ  
生  
ズ  
ルト  
思  
フ、  
私  
ハ  
寧  
ろ  
之  
ヲ  
免  
稅  
ス  
ル  
ト  
云  
フ  
方  
ガ  
宜  
イ、  
唯  
單  
ニ  
沖  
繩、  
大  
島  
ニ  
限  
ラ  
ズ、  
全  
國  
ニ  
對  
シ  
テ  
斯  
ノ  
如  
キ  
モノ  
ニ  
對  
シ  
テ  
課  
稅  
ス  
ル  
程、  
日本  
ハ  
現  
ニ  
貧  
窮  
デ  
ナイ、  
其  
證  
據  
ニ  
ハ  
震  
災  
手  
形  
ノ  
法案  
デ  
二  
億  
萬圓  
ノ  
金  
モ  
諸  
君  
ハ  
貸  
シ  
テ  
居  
ル  
デ  
ハ  
ナイ  
カ、  
サウ  
云  
フ  
役  
ニ  
立  
タ  
ヌ  
モ  
ノ  
ニ、  
二  
億  
圓  
ノ  
金  
ヲ  
貸  
ス  
ト  
云  
フ  
コ  
ト  
ガ  
出  
來  
ル  
ノ  
ニ、  
黑  
砂  
糖  
位  
免  
稅  
ガ  
出  
來  
ナイ  
ト  
云  
フ  
コ  
ト  
ハ  
ナ  
イ  
ト  
思  
フ、  
ソ  
レ  
デ  
カ  
ラ  
諸  
君  
ハ  
若  
シ  
政  
友  
會  
ト  
組  
ン  
デ  
徹  
底  
的  
ニ  
黑  
砂  
糖  
ヲ  
免  
稅  
シ  
ロ  
ト  
云  
フ  
ノ  
デ  
政府  
ニ  
向  
テ  
タ  
ナ  
ラ  
バ、  
政府  
ハ  
一  
遍  
ニ  
參  
テ  
シ  
マ  
フ  
ノ  
デア  
ル、  
故  
ニ  
私  
ハ  
大  
藏  
大  
臣  
ニ  
向  
テ、  
如何  
ナル  
意味  
デ  
以  
テ  
此  
金  
ヲ  
ヤ  
ル  
ノ  
デア  
ル  
カ  
ト  
云  
フ  
コ  
ト  
ヲ  
聞  
キ  
タイ、  
又  
黑  
砂  
糖  
ト  
云  
フ  
モノ  
ハ  
免  
稅  
ス  
ベ  
キ  
性質  
ノ  
モノ  
デ  
ナ  
イ  
カ  
ド  
ウ  
カ  
ト  
云  
フ  
コ  
ト  
ヲ  
聞  
キ  
タイ、  
先  
ヅ  
第  
一  
ニ  
許  
シ  
テ  
吳  
レ  
ル  
ナ  
ラ  
バ、  
前  
ノ  
消費  
稅  
ト  
直  
接  
稅  
ト  
ノ  
割合、  
及  
其  
如何  
ナル  
稅  
ガ  
直接  
稅  
デア  
ル  
カ、  
如何  
ナル  
稅  
ガ  
間  
接  
稅  
デア  
ル  
カ  
ト  
云  
フ  
コ  
ト  
ヲ  
聞  
キ  
タイ、  
ソ  
シ  
テ  
列  
國  
ニ  
於  
ケ  
ル  
所  
ノ  
モ  
ト  
日本  
ノ  
統計  
イ、  
若  
シ  
數  
日  
中  
ニ  
出  
シ  
テ  
戴  
ケ  
レ  
バ  
非常  
ニ  
結構  
ダ  
ト  
思  
ヒ  
マス、  
私  
ハ  
尙  
ホ

其他ノ稅制問題ニ付テモ意見ガアリマス...

〔政府委員黒田英雄君登壇〕

○政府委員(黒田英雄君) 第一ノ御尋ノ...

〔國務大臣片岡直温君登壇〕

○國務大臣(片岡直温君) 只今御尋ノ中、...

其ノ見解ヲ持シテ居リマス...

殆ド九割餘ハ島外ニ移出サレテ居ルノデア...

ヲ施シテ貰ハナケレバナラヌト云フコトノ...

ルカ、ソレナラバ餘程話ヲ違フテ來ヤセヌ...

ナイ豫算ノ編成ニナルノデハナカラウカト  
思フ、私ハ此點ニ於テ藏相ノ猛省ヲ促スノ  
デアル、而シテ明確ナル御答辯ヲ願ヒタイ  
ノデアリマス、(答辯無用)ト呼ブ者アリ  
無用ノコトハナイ、ソレカラ前ニ、間接  
税、直接税ト云フモノハ關係ガナイト言ハ  
レテ居ル、併ナガラハ矢張消費ノ租税ノ  
轉嫁ノ點ニ於テ、本人ニ掛カルカ、或ハ他  
ノ者ニ掛カルカト云フ點ニ於テ、非常ニ貧  
富ノ懸隔ハ上ニ於テ違フノデアアル、消費税  
ト云フモノハ、露西亞ノ一部デ行テ居ル  
カ知ラヌケレドモ、餘計使ヤタ者ニハ、餘  
計掛ケルト云フヤウナ事ヲヤテ居ルカモ  
知レズ併シ一般消費税ハ、皆平等デアアル  
所得税ト云フモノハ平等デアアル、故ニ平  
等ト不平等ノ直接税、消費税ト云フコト  
ガ、分ラズシテ、ドウシテ税制ヲ立テルコ  
トガ出來ルカ、此譯ガ分ラズシテドウシテ  
出來ルカ、故ニ此間接税、直接税ガ分ラナ  
イヤウナコトデハ、此税制ノ根本義ヲ立テ  
ルコトハ出來ナイノデアアル、片方ハ平等デ  
アル、片方ハ不平等デアアル、此關係ガ分  
ナイデ、ドウシテ、税制ヲ立テルコトガ出  
來ルカ、唯學問上ト實際ノ關係ノ上ニ於  
テ、ソレガ明カニナラナイト云フダケ  
ノ話デアラウト思フ、税制ヲ按排スルト云  
フガ、何ヲ以テ按排スルトコトガ出來ルカ、  
コンナコトデハ、日本ノ國ハ何處ニ廻テ  
見テモ分ラナイノデアリマス、日本ハ統計  
ニ依テ、是ハモノノガアル、是ハノ財産ガ  
アル、一々消費カラ生産費、此分配ト消費  
ノ關係ヲ決定シテ、ソレカラ初メテ色々  
統計ヲ割出シテ、如何ニスレバ社會政策ニ  
ナルカト云フコトニ依テ、初メテ税制整  
理ガ起テ來ルノデハナイカト私ハ思フノ  
デアリマス、ソレヲ知ラズシテ唯、税制ノ  
按排ヲスルト云フガ、何ヲ以テ按排スルト  
コトガ出來ルカ、故ニサウ云フヤウナ考デア  
ルナラバ到底私ハ駄目デアルト思フ、直接税  
間接税ト云フモノハ何物デアアルカ、或ハ學  
者ガドウ云フコトヲ言テ居ルカ、世界各國  
ハドウ云フヤウナ状態ヲ取テ居ルカ、日本  
ハ是マデドウ云フヤウナ状態デアラウカ、又  
後來ノ社會政策、其他ノ點ニ於テ良クスル  
ノハ、如何ナル點ヲ採ラナケレバナラス  
カ、ト云フコトガ重大ナル問題デアルト思  
フ、ソレヲ白バクテ居ル、能ク知テ居  
ルノデアアル、故ニサウ云フ點ヲ胡麻化サナ

イデハキリ言ヲラトウデスカ、知ラナ  
イノデハナイ、知テ居ルノダ、故ニ間接  
税、直接税ト云フコトヲ明カニシテ載キタ  
イ、何方デモ宜イト云フヤウナ、サウ云フ  
頭大藏當局ガヤラレタナラバ、此日本ノ  
不利益デアリ、當局ノ責任デアルト云フコ  
トヲ斷言シテ憚ラナイノデアアル、故ニモウ  
少シ眞面目ニ此砂糖消費税ニ付テヤカマシ  
ク言テ失禮デアリマシタケレドモ、斯ウ  
云フ點、其他ノ點ニ付テ諸君ハ根本カラ研  
究シテ出發セラレンコトヲ切ニ願ヒタイノ  
デアリマス、即チ大臣及政府委員ニ質問ヲ  
致シテ此壇ヲ降ルノデアリマス  
〔無用々々ト呼ブ者アリ〕田淵豐吉君  
馬鹿ヲ言ヘト呼ブ  
〔國務大臣片岡直溫君登壇〕  
○國務大臣(片岡直溫君) 田淵君ノ再度ノ  
御尋ニ御答ヲ申上ダマス、御言葉ハ隨分澤  
山アツクデアリマス、之ニ一々應答シ  
テ非常ニ時間ヲ費シマス、要スルニ獎勵  
其モノハ産業デアリマス、産業ナラ産業デア  
ルコト云フヤウナ御言葉デアリマシタガ、是  
ハ糖業ニ對シテ獎勵ヲスルノデアアル、沖繩  
及大島ノ糖業ニ對シテ獎勵金ヲヤル、斯ウ  
云フノデアリマス  
〔武藤金吉君登壇〕  
○武藤金吉君 御手許ニ配付致シマシタ報  
告書ノ中ノ十九條ノ十一號、其次二十二號  
ト云フノガ規定ケテ居リマス、又十二號ノ中  
ノ第八號ニ附ケテ居ルコトガ削テア  
リマセス、私ガ先刻報告致シマシタノハ何  
等一字一句間違ハナイノデアリマスガ、報  
告書ガ誤テ居リマスカラ、此處ニ謹ンデ  
訂正ヲ致シテ置キマス  
○議長(稻谷義三君) 委員長報告ニ賛成演  
說ノ通告ガアリマス、丹下茂十郎君  
〔丹下茂十郎君登壇〕  
○丹下茂十郎君 諸君、私ハ只今武藤委員  
長ヨリ御報告ニナリマシタ登録税法中改正  
法律案外五件ニ對シマシテ、主トシテ修正  
ニナリマシタ箇所ハ即チ修正ノ通り、其他  
委員會ニ於テ決定サレマシタ通り賛成ノ意  
思ヲ表スルト共ニ、此問題ニ關聯致シマシ  
テ、二ニ三ノ所見ヲ申述ベテ政府當局ニ要望  
致シ、置キタイト思フノデアリマス、專ラ  
農村ノ問題ニ關係シマスル事柄ニ付テ聊カ  
所見ヲ申述ベタイト思フノデアリマスガ、  
今回提案ニナリマシタ登録税法中改正法  
律案ニ於キマシテ、登録税免除ノ規定ノ中

ニ政府ハ自作農地ニ對シマシテ、一部ノ登  
録税免除ノ原案ヲ出サレタノデアリマス、  
此政府案ニ對シマシテハ、固ヨリ吾々贊意  
ヲ表スルデアリマス、然ルニ此政府原案  
ハ政府ノ自作農地ヲ維持事業ニ關シマスル  
所ノ國庫ノ補助金ヲ受ケテ、サウシテ行ヒ  
マスル北海道、府縣、市町村、或ハ産業組合、  
産業組合聯合會等ノ其施設ニ依ル所ノ個  
人ノ土地所有權ノ取得ノ登録税ヲ免除スル  
ト云フコトデアリマス、然ルニ彼ノ自作農  
家ノ人ガ所謂粒々辛苦、僅ニ貯ヘ得マシタ  
所ノ資金ヲ以テマシテ、之ニ依テ自作地  
ヲ買入レマシタ者ニ對シテハ、登録税ヲ免  
除サナイト云フコトニナラシメテ居ルノデ  
アリマス、此政府ノ原案ハ私共甚ダ不公平デ  
アリ、不徹底デアリ、又不條理デアリヤウ  
ニ考ヘタノデアリマス、少クトモ自作農  
保護獎勵ノ趣旨ノ一貫シナイコトヲ甚ダ遺  
憾ニ感ジタノデアリマス、前者ノ方ハ政府  
ノ助成ニ依ルモノデアリマス、資金ニ於  
テ四分八厘ノ低利ノ融通ヲ受ケ、又之ニ加  
フルニ少カラヌ利子ノ補助モ受ケテ居ルノ  
デアリマス、即チ特典ニ重ネルニ特典ヲ以  
テシテ居リマス者ニ對シテ、更ニ登録税  
ヲ免除スルノデアアル、登録税免除ニハ何等  
異議ハナイ、固ヨリ免除ヲ希望スル者デ  
アリマスガ、斯ノ如ク特典ヲ重ネテ居ル者  
ニ對シテ、尚且ツ登録税ヲ免除スルト云フ  
ノデアリマスモ拘ラズ、後者ハ何等ノ恩典ヲ  
受ケテ居ナイ、前ニ申シマスル通り營々々  
シテ土ニ親シク眞面目ニ働キマス所謂粒々  
辛苦、勤儉力行、漸ク一段一段ノ僅ナル自  
作地ヲ買入レルモノデアリマシテ、前者ニ  
比ベマシテハ、寧ロ此方面ニ登録税免除ノ恩  
典ヲ與ヘルコトガ至當デアルト私ハ信ジテ  
居ル者デアリマス、而モ是等ノ自己資金或  
ハ其他ノ資金ニ依テ買ヒマスル所ノモノ  
ニ於キマシテモ、悉ク政府ノ低利資金ノ融  
通、或ハ利子ノ補助ヲ希望シテ止マナイ者  
デアリマス、現ニ本年度ニ於キマシテ、政  
府ニ要望致シテ居ル統計ヲ見マスレバ補助  
金附ノ低利資金ノ貸付ノ要求ガ約二千四百  
萬圓ニナラシメテ居ルト云フノデアリマス、  
對シマシテ政府ノ貸付資金ハ僅ニ七百萬圓  
デアリマス、其要求ノ四分の一ニ充タナイ  
ヤウナ有様デアアルノデアリマス、故ニ此要  
求ガ通ラナイ、已ムヲ得ズ僅ナル自己資  
金ニ對シテ産業組合、或ハ其他ノ團體若ク  
ハ地主等ニ、特ニ二年賦償還等ノ手續ヲ取

テ貰フテ、漸ク僅ナル自作農地ヲ買入レル  
モノデアリマスガ故ニ、之ヲ除外スルト云  
フコトハ、誠ニ謂レナイコト、思フノデア  
リマス、農村ノ救済、農村ノ振興ニ對シマ  
シテハ、幾多ノ施設ヲ要スルコトガアルノ  
デアリマスガ、現在ノ農村ニ於キマシテモ、  
最モ重大ナル問題ハ、私ハ自作問題デア  
ウト信ズルノデアリマス、小作問題ハ御承  
知ノ通り益々複雜ニ、益々紛糾致シ、愈々傳  
播ノ虞ガアルノデアリマシテ、隨テ農村ノ  
安定ヲ脅カサレルコトハ頗ル遺憾ニ感ジテ  
居ルノデアリマス、此小作問題ノ解決シタ  
ルヤ、吾々ハ先ヅ以テ小作法ノ制定ヲ叫ブ  
者デアアル、之ニ依リマシテ地主小作間ノ權  
利義務ヲ明確ニ定メ、小作者ヲシテ其經  
濟的、社會的地位ノ向上ヲ圖リ、其生活ノ  
安定ヲ期スルト云フコトヲ致シマスルト同  
時ニ、一面ハ地主ニ對シテモ亦相當其安  
定ノ途ヲ與ヘナケレバナラヌト信ズル者デ  
アリマス、是ト同時ニ所謂勤勉ニシテ眞面  
目ナル小作農家ヲ保護獎勵ヲ致シマシテ、  
之ヲ自作農家トシメ、更ニ動モスレバ年  
年減少致シ維持スル所ノ自作農家ヲ保護獎  
勵シ、之ヲ維持シテ以テ健全ナル農村ノ中  
堅ヲ養ハナケレバナラヌト信ズル者デアリ  
マス、吾人ハ此見地ニ立脚致シマシテ、過  
グル第五十一議會ニ於キマシテモ、自作農  
家ノ負擔ノ輕減ヲ圖ル爲メ、自作農地ノ地  
租ノ全免案ヲ以テシ、一面ニハ義務教育費  
國庫負擔金ノ増額ヲ以テ、吾々ノ大政  
策トシテ其遂行實現ニ努力致シタノデアリ  
マス、隨テ地方農村ニ於キマシテハ、幸ニ  
自作農地ノ地租全免ト云フ恩典ニ浴シ、此  
施設ニ依リマシテ、著々トシテ農村ノ安定  
ヲ期シツ、アルコトハ今更申上ゲル迄モナ  
イノデアリマス、吾人ハ更ニ此自作農地ノ  
地租全免ト共ニ、低利資金ノ融通ニ依リマ  
シテ、又利子ノ補助ニ依リマシテ、益々小  
作農家ノ發達ヲ助成致シタイト云フコトヲ  
要望致シタノデアリマス、即チ此自作農  
發達充實ニ依リマシテ、農村ノ基礎ノ安固  
ヲ圖リタイト云フコトヲ希望スル者デアリ  
マス、隨テ此度ノ所謂第二次税制整理ニ於  
キマシテ、少數ノ自作農地ノ登録税免除  
ノ提案ヲ見タノ、自作地ノ登録税免除  
ガ、尚ホ其他ノ幾多ノ條件ニ對シテハ、何  
等願ヒルコトノ無クシテ一點ノ睛眼ヲ忘レ  
タモノダト思ハレルノデアリマシテ、

吾々ハ洵ニ此點ニ付テ遺憾ニ感ズタ者デアリマス、ソレ故ニ吾々ハ委員會ニ於キマシテ、自ラ小作ヲ爲ス目録ヲ以テ土地ヲ買入レラシタ、其所有權ノ移轉登録稅ハ總テ免除スルト云フ修正案ヲ提出致シマシテ、種々政府ニ對シマシテモ質難應答熟議ヲ重ネタデアリマス、然ルニ政府ニ於キマシテモ、矢張吾々ト同ジク此趣旨ニ於キマシテハ、極メテ贊成ヲサレテ居ルマデアリマス、唯、立法技術ノ上ニ於キマシテ、又他ノ關係ニ於キマシテ、今直ニ私共ノ希望ノ通り、悉クニ登録稅ヲ免除スルト云フコトガ、甚ダ不可能デアルト云フコトデアリマス、吾々ハ洵ニ遺憾ヲ感ズタ者デアリマス、併ナガラ只今委員長ノ御報告ニナリマシタ通り、單ニ政府ノ助成ニ依ル公共團體及產業組合ノ事業ニ依ルバカリデナク、公共團體及產業組合自體ノ事業ニ依テ、自作農創定維持ノ事業ニ對シマシテモ、同ジク登録稅ヲ免除スルト云フコトヲ擴張サレタデアリマス、即チ吾吾ノ要求ノ全部ハ通ラナカッタデアリマスケレドモ、大體ニ於テ私共ノ主張ガ貫徹シタコトデアリマス、唯、今後政府ニ於キマシテハ、速ニ調査研究ヲ遂ゲラレマシテ、是等ノ公共團體及產業組合ノ事業ニ依ルモノノ外、所謂前ニ申シマスル自己資金其他自ラ土地ヲ買入レマスル所ノ自作農家ニ對シマシテモ、矢張登録稅ヲ免除スルヤウニ、成ベク速ニ是ガ實現スベク努力セラレンコトヲ希望スル者デアリマス、更ニ今一ツ登録稅ノ中ニ於テ要望致シタイノハ、產業組合ノ事業及住宅組合ノ事業ニ依リマシテ、住宅及住宅用地ノ供給ノ事業ニ關スルコトデアリマス、此度ノ登録稅法ノ改正案ニ於キマシテハ、產業組合及住宅組合ヨリ、其組合員ガ住宅又ハ住宅用地ノ權利ヲ取得スル場合ニ於テハ、登録稅ヲ免除サレルト云フコトニナラセテ居ルデアリマス、然シニ產業組合又ハ住宅組合ガ住宅及住宅用地ヲ組合員ニ供給スル目的ノ爲ニ、一旦組合ガ權利ヲ取得スル場合ニ於テハ、登録稅ヲ徵收スルト云フ案デアリマスガ、產業組合又ハ住宅組合ハ固ヨリ營利ノ團體ト違フデアリマス、即チ此住宅供給ト云フモノハ、言フ迄モナク、社會政策ノ上ニ於キマシテ住宅ノ緩和、是ハ寔ニ必要ナル事業デアリマス、此事業ノ發達ヲ圖ラントスルナラバ、產業組合及住宅組合ヲ獎勵致シ

マシテ、此事業ノ伸展ヲ圖ラナケレバナラヌト思フデアリマス、此意味ニ於キマシテ今後產業組合又ハ住宅組合ガ、一旦權利ヲ取得スル場合ニ於テモ、矢張登録稅免除ノ手續ヲ取ルベク、政府ニ於キマシテハ速ニ調査研究ヲ遂ゲラレンコトヲ希望スルデアリマス、更ニ印紙稅法ノ中ニ付キマシテ、私ノ希望ヲ申述ベテ置キマス、ソレハ印紙稅法ノ中ニ於キマシテ、產業組合ノ發シマスル貯金ノ通帳ニ對シテハ、印紙稅ヲ免除スルコトニナラセテ居ル、然ルニ貯金ノ證書ニ對シテハ、收入印紙ノ貼用ヲ命ジテ居ルデアリマス、此產業組合ノ貯金通帳或ハ貯金證書ノ收入印紙貼用免除ト云フ問題ハ、十數年前ヨリ組合界ノ切ナル要求デアリマシテ、先年漸ク貯金通帳ニ對シマシテハ、一錢ノ收入印紙ヲ貼用スルコトニ改正サレタデアリマス、此度ハ貯金ノ通帳ニ對シテ免除シタ、然ルニ貯金證書ニ對シテハ尚ホ未ダ免除スルコトガ出來ナイデアリマス、之ニ對シマシテ政府ノ所見ヲ伺ヒマスレバ、貯金ノ通帳ハ極メテ零細ナル資金デアアル、貯金證書ハ相當ニ額ガ大キイデアルカラ、擔稅能力ガアル、斯ウ云フ意味ノ説明デアリマスガ、是ハ實際ニ甚ダ陳い話デアリマス、内容ニ於キマシテハ貯金ノ通帳ニ記載サレルモノノニ相當額ノ大キイモノガアル、證書ニ記載サレル、定期ノ貯金ニ於キマシテモ極メテ零細ナルモノガアル、其内容ニ於キマシテハハ區別スルコトハ、出來ナイデアアル、唯、產業組合ト云フ團體ノ此貯金ノ通帳及證書ニハ、總テ免除スルコトニナラセテ主權ヲ取テ御願シタイト思フデアリマス、殊ニ營利會社デアアル貯蓄銀行ノ貯金通帳ハ、矢張免除スルコトニナラセテ居ル、營利ノ目的トセザル產業組合ノ貯金證書ニ對シテ免除スルコトハ、當然ノ事ト信ズルデアアル、要スルニ時間モ迫ラセテ居リマスカラ、私ハ極メテ自己資金ニ依ル所ノ自作農家ニ對シテモ、登録稅免除ノ方法ヲ取テ置キタイ、產業組合及住宅組合ガ組合員ニ住宅及住宅用地ヲ供給スル目的ヲ以テ、一旦取得スル其權利ニ對シテハ、登録稅ヲ免除シテ置キタイ、更ニ產業組合ノ貯金ノ通帳及證書、之ニ對シマシテハ同ジク免除シテ置キタイ、尙ホ關稅ノ問題ニ付キマシテ聊カ所見ヲ述ベタイト思ヒマスガ、マダ關稅ノ問題ハ後ニ殘

テ居リマスカラ、適當ナ機會ニ於テ意見ヲ述ベタイト思フデアリマス、  
○議長(粕谷義三君) 他ニ發言ノ通告ガアリマセ、是ニ對シテ討論ハ終局致シマシタ、採決ニ付テ一言致シテ置キマス、登録稅法中改正法律案ノ委員長ノ報告ハ修正デアリマス、他ノ五案ハ總テ可決デアリマス、先ヅ登録稅法中改正法律案ニ付テ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセカ  
○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト呼フ者アリ  
○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ  
○井本常作君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開クレンコトヲ望ミマス  
○議長(粕谷義三君) 井本君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ致シマス  
○議長(粕谷義三君) 呼フ者アリ  
○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ採決ヲ致シマス、本案ノ委員長報告ノ修正ノ點ニ御異議アリマセカ  
○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト呼フ者アリ  
○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ委員長報告ノ修正ノ點ハ可決致シマシタ、次ニ其他ノ部分ニ付テモ原案通り御異議アリマセカ  
○議長(粕谷義三君) 呼フ者アリ  
○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ部分ハ原案ノ通り決シマシタ、之ニテ第二讀會ヲ終了致シマシタ  
○井本常作君 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開クレンコトヲ望ミマス  
○議長(粕谷義三君) 井本君ノ動議ニ御異議アリマセカ  
○議長(粕谷義三君) 呼フ者アリ  
○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ第三讀會ヲ開キ議案全部ヲ議題ト致シマス  
○議長(粕谷義三君) 第三讀會  
○議長(粕谷義三君) 呼フ者アリ  
○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ハ第二讀會議決ノ通り可決確定致シマシタ、次ニ印紙稅法中改正法律案外四件ノ委員長報告ハ、何レモ可決デアリマス、五案ヲ一括シテ第二讀會ヲ開ク

ニ御異議アリマセカ  
○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト呼フ者アリ  
○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ  
○井本常作君 直ニ各案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決セラレンコトヲ望ミマス  
○議長(粕谷義三君) 呼フ者アリ  
○議長(粕谷義三君) 井本君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ五案ノ第二讀會ヲ開キ議案全部ヲ議題ト致シマス  
○議長(粕谷義三君) 呼フ者アリ  
○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ五案ノ第二讀會ヲ開キ議案全部ヲ議題ト致シマス  
○議長(粕谷義三君) 呼フ者アリ  
○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ第三讀會ヲ省略シテ、五案全部ヲ委員長報告ノ通り、可決確定致シマシタ、次ニ日程第二十四、公益質屋法案ノ第一讀會ノ續ヲ開キ、委員長ノ報告ヲ求メマス、横山勝太郎君  
第二十四 公益質屋法案(政府提出)  
第一讀會ノ續(委員長報告)  
報告書  
一公益質屋法案(政府提出)  
右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也  
昭和二年三月七日  
委員長 横山勝太郎  
衆議院議長粕谷義三殿  
(小字及一ハ委員會修正)  
公益質屋法案中左ノ通修正ス  
第四條 貸付金額ハ一口ニ付二十圓、一世帯ニ付百圓ヲ超エルコトヲ得ズ但シ地方長官ノ認可ヲ受ケタル命令ノ定ムル所ニ依リ生業資金トシテ貸付ヲ爲ス場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

希望條項  
一 本案ヲ施行スルニ當リ政府ハ公益質屋ヲ普及擴張シ庶民金融機關ノ整備ニ資スルコト  
二 政府ハ速ニ質屋取締法ヲ根本的ニ改正シ質屋主ノ利益ヲ保護シ庶民階級金融機關ノ機能ヲ完ウセシムルコト

〔橫山勝太郎君登壇〕  
○橫山勝太郎君 公益質屋法案ハ政府ノ施設ノ一端デゴザイマシテ、其精神ノアル所、及法文ノ内容ハ、本會議ノ經過及委員會ノ詳細ナル質問應答ニ依テ、極メテ明瞭デゴザイマスカラ、之ヲ省略シテ置キマス、審議ノ結果、政友本黨ノ大議員ヨリ修正ヲ提出セラレマシタ、其要旨ハ本案ノ第四條中「貸付金額ハ一口ニ付二十圓、一世帯ニ付百圓ヲ超ユルコトヲ得ズ」トアリマス點ヲ、一口ニ付十圓、一世帯ニ付五十圓「斯ウ云フコトニ修正ヲ致シ、同條ノ但書ニ」但シ命令ノ定ムル所ニ依リ生業資金トシテ貸付ヲ爲ス場合ニ於テハ此限ニ在ラズ」トアリマス、點ヲ但シ地方長官ノ認可ヲ受ケタル場合ニ於テハ此限ニ在ラズ」斯ウ云フコトデアリマス、次ニ政友會ノ安藤君ヨリ同ジク修正ヲ提出セラレマシタガ、第四條ノ一項ニ關スル修正ハ、大議員ト全然同一デアリマス、但書ノ點ニ於テ其趣旨ヲ異ニ致シテ居リマスガ、其要旨ハ但書ニ出產、死亡、疾病等特別ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラズト云フコトデゴザイマス、此趣旨ガ問題トナリマシテ、採決ノ結果、滿場一致ヲ以テ大議員提議ノ如ク決定致シマシタ、此場合一言致シテ置キタイ點ハ、但書ノ「地方長官ノ認可ヲ受ケタル場合ニ於テハ此限ニ在ラズ」トアル場合ニ、原案ノ但書ニアリマス所ノ、生業資金ナルモノヲ含ムカドウカト云フ問題デアリマシタガ、是モ當然含ムト云フ提案者ノ趣旨デアリマス、委員全體モソレヲ諒トシタ次第デアリマス、此修正案ヲ可決シ、其他ノ條項ニ付テハ原案通り、全會一致ヲ以テ可決致シタ次第デアリマス、次ニ憲政會ノ上藤君ヨリ希望事項ヲ提出セラレマシタ、ソレヲ朗讀致シマスニ希望條項一、本案ヲ施行スルニ當リ政府ハ公益質屋ヲ普及擴張シ、庶民金融機關ノ整備ニ資スルコト、二、政府ハ速ニ質屋取締法ヲ根本的ニ改正シ、質屋主ノ利益ヲ保護シ、庶民階級金融機關ノ機能ヲ完ウセシムルコト」是亦全會一致ヲ以テ可決シマシタ、次第デアリマス、以上御報告申上ゲマス

○議長(粕谷義三君) 本案ニ對シテ何等發言ノ通告ハアリマセヌ、仍テ直ニ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ  
〔異議ナシ〕「異議ナシ」ト呼フ者アリ  
○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ  
○井本常作君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス  
〔異議ナシ〕「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 井本君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス  
公益質屋法案  
〔異議ナシ〕「異議ナシ」ト呼フ者アリ  
○議長(粕谷義三君) 別ニ御異議ナシト認メマス、發言ノ通告ガアリマセヌカラ、採決ヲ致シマス、本案ノ委員長報告ハ修正デアリマス、此委員長報告ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕「異議ナシ」ト呼フ者アリ  
○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ委員報告ノ通り決シマシタ、之ニ第二讀會ヲ終ラシマシタ  
○井本常作君 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス  
○議長(粕谷義三君) 井本君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ  
〔異議ナシ〕「異議ナシ」ト呼フ者アリ  
○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ第三讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

公益質屋法案  
〔異議ナシ〕「異議ナシ」ト呼フ者アリ  
○議長(粕谷義三君) 別ニ御異議ナシト認メマス、仍テ本案ハ第二讀會議決ノ通り、可決確定致シマシタ、次ニ日程第二十五、及第二十六ハ同一委員ニ付託シタル議案デアリマスカラ、一括議題トナスニ御異議アリマセヌカ  
〔異議ナシ〕「異議ナシ」ト呼フ者アリ  
○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、即チ日程第二十五、水戸鐵道株式會社、越後鐵道株式會社、陸奥鐵道株式會社、苦小牧輕便鐵道株式會社、及日高拓殖社、苦小牧輕便鐵道株式會社、及日高拓殖社、

鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案、日程第二十六、鐵道敷設法中改正法律案ヲ一括シテ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス、理事工藤十三男君  
第二十五 水戸鐵道株式會社、越後鐵道株式會社、陸奥鐵道株式會社、苦小牧輕便鐵道株式會社、日高拓殖鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)  
第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書  
一 水戸鐵道株式會社、越後鐵道株式會社、陸奥鐵道株式會社、苦小牧輕便鐵道株式會社、日高拓殖鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)  
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也  
昭和二年三月七日  
委員長 前田 米藏

衆議院議長粕谷義三殿  
鐵道豫定線ノ選定並建設ノ順序等ニ付政府當局ノ措置遺憾ノ慮ナカラス現行鐵道敷設法ニ定ムル豫定線ハ何レモ之カ速成ヲ要望セルニ拘ラス其ノ大部分ハ未ダ建設ニ着手セラレザル實況ニ鑑ミ政府ハ宜シク敷設法ノ變更ニ付テハ周到ナル調査ヲ遂ケ建設ニ付テハ前後緩急ヲ行ラサル様深ク注意ヲ加フヘシ  
〔工藤十三男君登壇〕  
○工藤十三男君 只今議題トナリマシタ水戸鐵道株式會社、越後鐵道株式會社、陸奥鐵道株式會社、苦小牧輕便鐵道株式會社、日高拓殖鐵道株式會社所屬ニ關スル鐵道買收ニ關シ、公債發行ノ法律案並ニ鐵道敷設法案ノ

委員會ノ經過並ニ結果ニ付テ、前田委員長カラ御報告スベキ筈デアリマスガ、前田委員長ニハ風邪ノ爲メ咽喉ヲ害セラレ、ソレデ私カラ此經過ヲ簡單ニ御報告申上ゲマス、此委員會ハ回数數ヲ重スルコト七回、其間各委員諸君ニ於テハ非常ニ恪勤精勵、慎重審査ヲ遂ゲラレタノデアリマス、先ヅ順序ト致シマシテ鐵道買收法案ヨリ質問ヲ開始致シマシテ、最初ニ井上鐵道大臣カラ、此買收法案提出ノ理由ニ付テ、御説明ガアツタノデアリマス、其大要ヲ申上ゲマスレバ、水戸鐵道ト陸奥鐵道ハ現在國有鐵道ノ間ニ在リシ、尙ホ現ニ列車並ニ貨車ヲ直通運轉シテ居ル狀態アルカラ、一日モ早ク之ヲ買收セサケレバナラヌ必要ガアルソレカラ苦小牧鐵道、日高鐵道ノ兩鐵道ハ、大正二年度ニ於テ政府ハ豫算ヲ要求シテ居ル所ノ苦小牧、浦川間ノ鐵道買收ニ該當シテ居ルモノデアアルカラ、之ヲ買收シ改革利用スルコトハ、最も利益デアアルト云フ見地カラ是ガ買收ヲ爲スノデアアル、又更ニ越後鐵道ニ於キマシテハ、羽越鐵道ノ完成ニ依テ、近ク又完成スベキ上越線ノ開通ニ依テ、東日本ノ東北、關東、關西方面ニ於ケル交通狀態ノ變化ヲ來スノデアアルカラ、此實狀ニ應ジテ之ヲ買收シテ以テ、東日本ノ幹線トシタイト云フ希望カラ、此案ヲ提出致シタノデアアルト、斯ノ如キ説明デアリマシタ、之ニ對シテ質問ノ大體ヲ申上ゲマスレバ、第一ニ各鐵道ノ買收ノ價格並ニ交付公債ニ關スル條件デアリマシテ、而シテ政府ノ之ニ對スル價格ノ依リマシテ、鐵道買收價格ハ最近ノ價格ノ會社ノ決算ヲ標準ト致シマシテ、過去三年ニ於ケル會社ノ收益ノ割合ヨリ計算シマスレバ、其價格ハ水戸鐵道ニ於テ三百二十二萬餘圓、陸奥鐵道ニ於キマシテハ三百三十三萬餘圓、越後鐵道ニ於キマシテハ一千二百四十萬餘圓、苦小牧鐵道ニ於キマシテハ六百三十六萬圓餘、日高鐵道ニ於キマシテハ六百九十九萬圓餘、此外ニ尙ホ越後鐵道ニ於キマシテハ、本年ノ七月ニ竣工スベキ區間ニ對スル建設費ノ實費ガアルノデアリマシテ、其額ハ約三十三萬圓ニ達シテ居ル、又日高鐵道工事中ノ部分ニ對スル建設費ハ前二連ベマシタ以外ニ、十五萬圓餘アル爲ニ、總計二千三百五十五萬圓ニ達スルコト云フ答辯デアリマシタ、而シテ交付公債ニ付テハ、五十五萬圓

委員會ノ經過並ニ結果ニ付テ、前田委員長カラ御報告スベキ筈デアリマスガ、前田委員長ニハ風邪ノ爲メ咽喉ヲ害セラレ、ソレデ私カラ此經過ヲ簡單ニ御報告申上ゲマス、此委員會ハ回数數ヲ重スルコト七回、其間各委員諸君ニ於テハ非常ニ恪勤精勵、慎重審査ヲ遂ゲラレタノデアリマス、先ヅ順序ト致シマシテ鐵道買收法案ヨリ質問ヲ開始致シマシテ、最初ニ井上鐵道大臣カラ、此買收法案提出ノ理由ニ付テ、御説明ガアツタノデアリマス、其大要ヲ申上ゲマスレバ、水戸鐵道ト陸奥鐵道ハ現在國有鐵道ノ間ニ在リシ、尙ホ現ニ列車並ニ貨車ヲ直通運轉シテ居ル狀態アルカラ、一日モ早ク之ヲ買收セサケレバナラヌ必要ガアルソレカラ苦小牧鐵道、日高鐵道ノ兩鐵道ハ、大正二年度ニ於テ政府ハ豫算ヲ要求シテ居ル所ノ苦小牧、浦川間ノ鐵道買收ニ該當シテ居ルモノデアアルカラ、之ヲ買收シ改革利用スルコトハ、最も利益デアアルト云フ見地カラ是ガ買收ヲ爲スノデアアル、又更ニ越後鐵道ニ於キマシテハ、羽越鐵道ノ完成ニ依テ、近ク又完成スベキ上越線ノ開通ニ依テ、東日本ノ東北、關東、關西方面ニ於ケル交通狀態ノ變化ヲ來スノデアアルカラ、此實狀ニ應ジテ之ヲ買收シテ以テ、東日本ノ幹線トシタイト云フ希望カラ、此案ヲ提出致シタノデアアルト、斯ノ如キ説明デアリマシタ、之ニ對シテ質問ノ大體ヲ申上ゲマスレバ、第一ニ各鐵道ノ買收ノ價格並ニ交付公債ニ關スル條件デアリマシテ、而シテ政府ノ之ニ對スル價格ノ依リマシテ、鐵道買收價格ハ最近ノ價格ノ會社ノ決算ヲ標準ト致シマシテ、過去三年ニ於ケル會社ノ收益ノ割合ヨリ計算シマスレバ、其價格ハ水戸鐵道ニ於テ三百二十二萬餘圓、陸奥鐵道ニ於キマシテハ三百三十三萬餘圓、越後鐵道ニ於キマシテハ一千二百四十萬餘圓、苦小牧鐵道ニ於キマシテハ六百三十六萬圓餘、日高鐵道ニ於キマシテハ六百九十九萬圓餘、此外ニ尙ホ越後鐵道ニ於キマシテハ、本年ノ七月ニ竣工スベキ區間ニ對スル建設費ノ實費ガアルノデアリマシテ、其額ハ約三十三萬圓ニ達シテ居ル、又日高鐵道工事中ノ部分ニ對スル建設費ハ前二連ベマシタ以外ニ、十五萬圓餘アル爲ニ、總計二千三百五十五萬圓ニ達スルコト云フ答辯デアリマシタ、而シテ交付公債ニ付テハ、五十五萬圓

官報號外 昭和二年三月九日 衆議院議事速記第二十二號 議事日程第二十四乃至第二十六ノ件 四九三

滿期ノ五分利附公債ヲ以テ之ニ充テルノデアルト云フ御答デアリマシタ、ソレカラ其  
道、若小牧鐵道、日高鐵道ニ對シテハ、其  
線路ニ對シテハ別段大シテ議論モナカ  
クデアリマシタ、之ヲ省略シテハ、越  
後鐵道ニ對シテハ、其實尙ハ非常ニ多岐ニ  
涉リマシテ、第一ニ井上鐵道大臣ガ本會議  
ニ於テ說明シタ所ニ依リマスト、越後鐵道  
買收後ニハ、之ヲ裏日本ノ幹線トスルコト  
ヲ御說明デアッタ、此鐵道買收後ニ於テ  
ハ、從來ノ裏日本ノ幹線ヲ新津ヨリ長岡  
經、柏崎ニ至ル、其線ヲ幹線トスルコトヲ  
廢シテ、此越後鐵道ノ通過スルモノヲ以テ  
幹線トスル意思デアルカ、其邊ヲハキリ  
御答辯ヲ願ヒタ、斯ウ云フ質問デアリマ  
シタ、之ニ對スル委員會ニ於ケル政府ノ御  
說明ハ、多少曖昧ノ嫌ガアッタヤウニ思ハ  
レマシ、サウシテ其御答辯ニ依リマスト、  
是ハ兩方共直通ノ列車ガ通ルコトト思ハレ  
ルガ、此點ニ付テハ將來ノ事ニ屬スルコト  
デアルカラ、只今ノ所確定シテハ居ラ  
ヌ、斯ウ云フ御答デアリマシタ、其御答カ  
ラ見マスト、必シモ越後線ヲ幹線トスル  
ト云フ意思デモナイヤウデアリ、又越後線  
ヲ幹線トセズ、從來ノ儘ノ新津長岡ヲ經由  
シマシテ、柏崎ニ至ルモノヲ幹線ト云フ、  
サウ云フハ、キリトシテ御意思モナイヤウ  
ニ、頗ル曖昧ノ聽カレタノデアリマシ、第  
二ノ質問トシテハ、此別ニ提出シテアル所  
ノ敷設法ノ改正法律案ニアル、白山、新發  
田間ノ新線路ガ若シ不幸ニシテ議會ノ承認  
ヲ得ナカッタ場合、其場合ニハ政府ハ越後  
鐵道ト連絡スル爲ニ、新潟ト白山トヲ連絡  
スル新ナル計畫ヲ立ツル意思ガアル、否  
ヤ、斯ウ云フ質問デアリマシタ、之ニ對シ  
テ政府ハサウデアアルト云フ御答デアリマ  
シ、ソレカラ第三ノ質問ト致シマシテハ、  
從來地方鐵道ノ買收ハ、例ヘバ橫濱鐵道、  
成田鐵道、足尾鐵道ノ如キ、是等ノモノハ  
必シム得ナイモノニ限リテ、買收シテ  
云フ方針デアッタヤウニ思ハレル、而シテ  
國有鐵道法實施以來今日マデ二十箇年ニ達  
シテ居ルガ、其間ニ買收シタ地方鐵道線ト  
云フモノハ、僅カテ十數線ニ過ギナイ、其金  
額モ二千數百萬圓ニ過ギナイヤウニ記憶シ  
テ居ルガ、政府ハ此度一時ニ五線ノ鐵道ヲ  
買收シ、而シテ之ニ對シテ二千數百萬圓ノ  
公債ヲ發行スルト云フコトハ、政府ノ執シテ

居ル所ノ緊縮方針カラ見テモ、或ハ又現在  
ノ經濟狀態カラ見テモ、甚ダ喜バシキモノ  
デナイデハナイカ、然レモ之ヲ提出シタ理  
由ハ如何ト云フ質問デアリマシタ、之ニ對  
スル政府ノ答辯ハ、地方鐵道買收ノ線路ハ  
十五線デアッタ、其金額ハ二千六百三十萬圓  
デアアル、又今回此五線ヲ買收シタ理由ハ、  
先ニ申上ゲマシタ所ノ鐵道大臣ノ御說明ト  
同様ナル御答辯ヲ爲サレタノデアリマシ、  
ソレカラ第四ノ質問ト致シマシテハ、越後  
鐵道買收後ニ於ケル改良費ノ問題デアリマ  
シ、サウシテ之ヲ買收シタ後ニ、直通列車  
ヲ運轉スル爲ニドレダケノ改良費ヲ要スル  
カ、斯ウ云フ問題デアリマシタ、之ニ對  
スル政府ノ御答辯ハ、停車場ノ擴張費ニ二  
十萬圓餘、橋梁ノ改良費ニ約六十八萬圓餘  
ト云フ御答デアリマシタ、又第五ノ質問ト  
致シマシテハ、越後鐵道株式會社ノ資金並  
ニ買收ニ依リテ、此會社ガ利益ノ額、次ニ  
買收後收入ノ減收ガ如何ト云フ問題デア  
リマシタ、ソレニ對スル政府ノ答辯ハ、越  
後鐵道ノ資本金ハ四百五十萬圓デアッタ、  
全額拂込ニナラ居ル、其以外ニ借入金四百  
二十萬圓ヲ持ッテ居ルカラ、合計八百七十  
萬圓、而シテ若シ之ヲ假ニ二百萬圓ニ買  
收スルトスレバ、會社ノ利益ハ三百三十萬  
圓トナル計算デアアルト御答ニナラ、ノデア  
リマシ、ソレカラ買收後ニ於ケル鐵道ノ減  
收ハ約五十一萬圓ノ減收ノ見込デアアル、併  
ナガラ買收後ハ重役ノ賞與金其他營業費ノ  
節減等ガアルカラ、多少其邊ニ於テ補充ガ  
出來ル爲ニ、假ニ買收額ヲ千二百萬圓ト  
假定シ、之ニ百萬圓ノ改良費ヲ投ジテ  
モノノ利廻ハ二歩二厘三毛ト云フ計算  
ニナル、斯ノ如クデアアルカラ、勿論差當  
リ公債ノ利息ヲ支辨スルコトハ出來ナイ  
ケレドモ、二三年ノ後ニアッタハ、他ノ  
例ニ照シテ見テモ、漸次其收益ヲ増シテ、  
公債ノ利息ヲ支辨シテ餘リアルヤウナ状態  
ニナルコトハ必然デアアルカラ、決シテ將來  
ノ御心配ハナイト云フ御答デアリマシタ、  
以上ハ質問應答ノ大要デアリマシ、次ニ鐵  
道敷設法中改正法律案ノ質問應答ニ付テ、  
極ク簡單ニ申上ゲマス、質問ノ主ナルモノ  
ハ、主トシテ白山新發田線ニ集中サレタノ  
デアリマシ、サウシテ先ノ第一ノ質問トシ  
テハ、鐵道買收方法ヲ議スル質問ノ際ニ、

政府ノ答辯スル所ニ依レバ、新發田白山間  
ノ敷設法ガ議會ニ於テ認メラレナイ場合ニ  
ハ、數政府ハ新ニ白山新發田ヲ連絡スル新線ヲ  
提案シテ、以テ越後鐵道ト連絡ノ意思デア  
ルト云フコトデアアルガ、此白山新發田間ニ  
ハ、信濃川、阿賀川ト云フ二大河川ガアッテ、  
其工事モ中々難工事デアアル、ソレ故ニ寧ロ  
此際信濃川ノ架橋ヲシテ白山新發田ヲ結付ケ、  
ソレヨリ新津ヲ經テ國有線ト連絡スルコト  
ヲ計畫スル方ガ、却テ五十萬圓内外ノ工費  
ヲ選シテ方ガ宜イデアリカト云フ意味ノ  
質問デアリマシタ、之ニ對スル政府ノ御答  
辯ハ、新發田白山間ノ工費ハ、御説ノ如ク  
澤山ノ費用ヲ要スルノデアアルカラ、先ヅ此  
線ハ認メラレテモ、第一番ニ著手スルモノ  
ハ、白山新發田間ノ連絡デアアルカラ、事實上  
今委員ノ質問サレタヤウナ方法ニ依リテ、  
暫ク幹線ト連絡スル順序ニナルデアラウ、  
併ナガラ此白山新發田ヲ選ブコトハ、鐵道  
經營上カラ見テ適當デアアルト考ヘタ爲ニ、  
此敷設法中改正案ヲ出シタノデアアル、斯ウ云  
フ答デアリマシタ、ソレカラ次ノ質問ハ、  
國費多端デアッタ不十分ナル場合ニハ、此鐵  
道ノ如キ文化的施設モ、成ベク效果ノ大  
ナルモノ、必要ノ迫リテ居ルモノカラ著手  
スル、即チ前後後急ヲ圖リテ著手スルモノ  
デアアルト思フデアアルガ、政府ハ「地  
方ノ人ニガ議會ニ對スル請願若クハ建議案  
ニ依リテ、多數ノ線路ヲ要望シテ居ルノデア  
ル、然レニ特ニ此六線ダケヲ選擇シテ、サ  
ウシテ茲ニ豫定線ニ加ヘタト云フニ付テ  
ハ、十分ナル理由ガアルカラ、其理由  
ハ如何デアアルカ、斯ウ云フ御答デアリマシ  
タ、ソレニ對スル政府ノ答辯ハ、疑ニ鐵道  
豫定線百四十九線ヲ選擇シタノハ、大正五年  
迄ノ調査ニ基キタモノデアッタ、ソレ以後  
モ調査ヲ繼續致シテ居ルガ、其中カラ  
調査ノ出來上リタモノ、中必要ト認メタモ  
ノヲ、今日選シタ上程ヲシタノデアアルト斯  
ウ云フ御答デアリマシタ、尙ホ又此外ニ將  
來調査ノ結果、只今提案シタ六線ト同等  
以上ノ線路モ澤山アルト思フカラ、ソレハ  
調査ノ完了次第、鐵道網ノ完壁ヲ期スル上  
ニ於テ、追加提案スル方針デアアルト云フ御  
答デアリマシタ、最後ニ政友本黨ノ大團君  
カラ政府ノ御答辯ニ依リテ、全國ニ渉ル  
鐵道ノ調査ハ、四五年後ニ終了スルト云フ  
御話デアアルカラ、寧ロ今俄ニ此六線ヲ決定

スルヨリモ、四五年後ニ於テ、全部ノ調査  
ガ完了シ、比較對照ガ出來ル時ニナリテ、敷  
設法ノ改正ヲ行フ方ガ宜イデアリカ、斯  
ウ云フ大團君ノ御質問デアリマシタ、之ニ  
對スル政府ノ御答辯ハ、是モ多少明瞭ヲ缺  
イタヤウデアリマシ、其要旨ニ曰ク、敷設  
法ノ改正、新線ノ追加ハ必シモ全部ノ調査  
ヲ俟テカラスル必要ハナイ、調査ガ完了シ  
次第、必要デアアルト認メタモノハ、之ヲ隨  
時追加シテ差支ナイト云フ考デアアル、尙ホ  
將來ト雖モ此意味ニ於テ、此線路ヲ取ッテ、  
鐵道網ノ完成ヲ期スルコトハ適當デアアルト  
思フト云フ御答デアリマシタ、是ハ敷設法  
中改正法律案ノ質問ノ要旨デアリマシ、サ  
ウシテ斯ノ如クニシテ、質問應答ハ終了シ  
ニ入りマシタ、此討論ニ付テハ後程吾々ノ  
同志カラ詳シク申上ゲルガ於ケル狀況カ  
ラ、極ク簡單ニ、其委員會ニ於ケル此買  
收法案ヲ修正シテ、越後鐵道ダケヲ削除ス  
ルト云フ提議ヲ出シマシタ、其理由トシテ  
ハ、元來本案全部ニ對シテ、世間ニハ隨分  
何レモ不急デアアルト云フ議論ガアルノ  
デアアルガ、陸奥鐵道、水戸鐵道、若クハ日  
高鐵道、若小牧鐵道ハ何レモ現ニ直通列車  
ヲ運轉シテ居ルカラ、又ハ政府ノ新線ト同  
ジ所ノ線路デアアルカラ、是ハ已ムヲ得ナイ  
トシテ認メルガ、越後鐵道ハ是ガ買收ニハ  
約千二百萬圓以上ヲ要スルノデアアルカラ、  
昭和二年度ニ於テ政府ハ各種ノ名義ニ於テ  
約五億ノ公債ヲ發行スルノデアアル、是ハ國  
民トシテ八十十分斯ル多額ノ公債ヲ發行スル  
コトニ付テハ、考慮ヲ拂ハナケレバナラヌ、  
其意味ニ於テ遺憾ナカラ原案ヲ修正シテ、  
不急デアアル所ノ越後鐵道ダケヲ削除スル  
ト云フ、斯ウ云フ議論デアリマシタ、之ニ對  
シテ憲政會ノ工藤鐵道君カラ原案維持ノ御  
説モアリマシタ、又次探決ヲシタ所、修  
正案ハ少數ヲ以テ否決ニナリ、原案ハ政友  
會委員カラハ修正説ヲ保留致シマシ、之  
ニ贊シタノデアリマシ、次デ憲政會ノ工藤  
鐵道君ハ、無條件デアラウ原案ヲ贊成スルト云フ  
贊成説ヲ出シ、政友會ノ若宮貞夫君カラ  
ハ「鐵道豫定線ノ選定並建設ノ順序等ニ付  
政府當局ノ措置遺憾ノ慮ナカラス現行敷  
設法ニ定ムル豫定線ハ何レモ之ガ速成ヲ要  
望セルニ拘ラス其ノ大部分ハ未タ建設ニ著

手セテレハル實況ニ鑑ミ政府ハ宜シク敷設  
法ノ變更ニ付テハ周到ナル調査ヲ遂テ建設  
ニ付テハ前後緩急ヲ行ハサル様深ク注意ヲ  
加フヘシ、右警告スラト云フ警告支附之  
ヲ可決シテ、右警告スラト云フ警告支附之  
對シテ憲政會ノ岡本實太郎君カラ、無條件  
贊成論ガアリマシタガ、採決ノ結果、政友  
本黨諸君ノ贊成ヲ得マシテ、警告附可決ト  
云フコトハ多數ヲ以テ可決致シマシタ、其  
警告ヲ附スル理由ニ付キマシテハ、後デ吾  
吾同志カラ十分御説明アルコト、思ヒマス  
カラ、是デ報告ヲ終リマス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 鐵道敷設法中改正法  
律案ニ對シテ、贊成演說ノ通告ガアリマス、  
此際之ヲ許シマス志賀和多利君

(志賀和多利君登壇)

○志賀和多利君 極メテ簡單ニ鐵道敷設法  
中改正法律案贊成ノ趣意ヲ述ベマス、由來  
鐵道ノ建設ニ付キマシテハ屢々黨略線ト云  
フ聲ヲ聞クノデアリマス、鐵道ハ一度地方  
ニ通ジマスレバ、其地方ハ是ガ爲ニ文化普  
及シ、産業發達シ、由テ以テ其地方ノ福利  
ヲ増進スルガ爲ニ、各地方共ニ之ニ賴ラン  
トスル念慮ガ、即チ所謂黨略線デアルト云  
フ言葉ヲ發スルニ至リタル原因デアルト信  
ズルノデアリマス、斯様ナ立場ニ於キマシ  
テ、今日此鐵道敷設法中改正法ニ於テ居  
ルニ於テハ、果問題モ黨略線デアルト云フ聲  
ヲ沸カシテ聞イテ參シタルデアリマス、此  
故ニ委員會ニ於キマシテモ、何ガ爲ニ現在鐵  
道網ノ中ニアル所ノ百四十何線ト云フモノ  
ガ、各地方共悉ク地方産業發達ノ爲ニ速ニ  
敷設シテ貰ヒタイト云フコトヲ希望シテ居  
ルニ拘ラズ、ソレヲ先ツ着手ガ出來ナイ以  
テ、多數ナルニモ拘ラズ、茲ニ敷設法ヲ改  
正シテ之ヲ入レルト云フ理由ハ、ドウ云フ  
譯デアアルカト云フコトハ非常ナ問題ニナ  
タノデアリマス、政府當局ノ答ヘマスル所  
ハ、一トシテ要領ヲ得ナイ、唯、調査ガ出  
來テ是ガ必要ダト思フカラ入レテ置クノデ  
アルト云フノデアリマス、斯様ナル答辯ニ  
依リマシテハ、如何ニモ此線路ト云フモノ  
ヲ黨略線ト世人ガ唱ヘルノモ無理デハナイ  
ト云フ考ヲ抱カザルヲ得ナイノデアリマス、  
諸君、併ナガラ今回ノ提案ニ付キマシテ、  
唯、一ツ黨略ニアラズト私ノ斷言スル所ノ  
線路ガアルノデアリマス、ソレハ即チ敷設

法中ノ改正法律案ノ初ニゴザイマスル巖手  
縣花卷ヨリ遠野ヲ經テ釜石ニ至ル鐵道ト云  
フノガアルノデアリマス、此線路ハ鐵道當  
局モ説明シ能ハザル程ノ事柄ニ依テ鐵道  
網ノ中ニ漏レテ居タルデアリマス、第四  
十九議會ニ於キマシテ私及他ノ二人ノ諸君  
ガ提案者ト相成リマシテ、之ヲ建議案トシ  
テ當議場ニ提案ヲ致シ、滿場諸君ノ御贊成  
ヲ得テ通過ヲ致シマシタ案ナノデアリマ  
ス、是ガ若シ憲政會ガ黨略ニ於テ此線路  
ヲ使フト云フコトヲ爲サシムルコトニ相成  
ルノデアリマスカラ、幸ニ此案ガ茲ニ提案セ  
ラルルニ至ラズト云フ所以ノモノハ、畢竟スルニ  
當時私ガ說明致シマシタ通り今交通機關  
ノ關係ニ於テ、日本海ト太平洋沿岸トヲ通  
ジマシテ最大捷徑ノ路線ト致シマシテ、現  
内閣モ之ヲ御認ニナシテ、黨略問題以上ニ  
超越シタル神聖ナル御考ヲ以テ提案セラ  
タルコトト考ヘルノデアリマス、果シテ左  
様デアルト致シマスレバ、他ノ此敷設法ノ  
中ノ案、例ヘテ申シマスナラバ、愛知縣岡  
崎ヨリ舉母ヲ經テ岐阜縣多治見ニ至ル、世  
ニ稱シテ所謂古屋慶隆案ト稱スルモノ、如  
キ、或ハ又新潟縣白山ヨリ新發田ニ至ル鐵  
道ノ如キ、即チ越後鐵道ヲ買收スルト云フ  
爲ニ殊更ニ作テ如ク見エラサシムルコト、斯  
様ノ案ト云フモノハ實ハ黨略案トシテモ  
排斥セラルベキ値打ガナイモノデアリマス、  
ト思フ程ノ事柄ナノデアリマス、唯、併シ  
並ニ私ノ前ニ提唱致シマシタル巖手縣花卷  
ヨリ釜石ニ達スル鐵道ト云フ神聖ナル線路  
ガアルガ故ニ、纒ニ其命脈ヲ存スルコトガ出  
來ルコト云フコトニ相成ルノデアリマス、諸  
君、私共ハ實際ヨリ申シマスナラバ、即チ  
現在當局者ガ此鐵道ニ對シテヤテ居リマ  
ス、ソレハ今言フ所ガ詰リマセヌカラ之  
ヲ申シマセヌガ、兎ニ角將來ニ於キマシテ  
モ、此鐵道ノ建設、鐵道網ノ變更等ニ付キ  
マシテ、現在ノ遺方ノヤウナコトヲヤリマ  
スト、結局鐵道當局ト云フモノハ、國民ノ  
間ニ信任ヲ失フ結果ニ陥ルデアラウト憂フ  
ルノデアリマス、此故ニ先程委員長代理ヨ  
リ報告セラレマシタル通り、將來ノ鐵道建  
設、將來ノ鐵道網變更ニ付テハ十分慎重ナ  
ル審議ヲ盡シテ、今日ノ如ク所謂黨略線ト  
目スルヤウナモノヲ餘リ拵ヘナサラヌヤウ

ニナサレンケレバイケナイト云フ警告ヲ附  
シテ、此鐵道敷設法中改正法律案ニ贊成ス  
ル次第ナノデアリマス、是ダケ申シテ置キ  
マス

○議長(粕谷義三君) 之ニ討論ハ終局致  
シマシタ、先ツ水戸鐵道株式會社外四件ノ  
買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案、此案ニ  
付テ採決致シマス、該案ノ二讀會ヲ開クニ  
御異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマ  
ス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○井本常作君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カ  
レンコトヲ望ミマス

○議長(粕谷義三君) 井本君ノ動議ニ御異  
議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマ  
ス、仍テ直ニ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ  
議題ニ供シマス、本案ニ對シテハ志賀和多  
利君外一名ヨリ修正案ガ提出サレテ居リマ  
ス、此際其趣旨辯明ヲ許シマス、志賀和多  
利君

買收ト略、同額ナル金額ヲ支辨セントスル  
ノデアリマス、此大體ノ見地ヨリ見マシ  
テ、何ガ故ニ憲政會内閣ノ其財政策ヲ緊  
縮ヲ標榜シ、非募債ヲ標榜シナガラ、縱シ  
ヤ交付公債トハ言ヒナガラ一時二千六百  
餘萬圓ノ金額ヲ此鐵道ノ爲ニ出スコトニ  
ナタノデアアルカ、ソレ程必要ノ鐵道買收  
デアアルカト云フコトヲ吟味致シテ見マスル  
ト云フト、水戸鐵道、陸奥鐵道、其他ノ鐵  
道ノ如キハ暫ク措キマシテ、此越後鐵道ニ  
於テハ毫末モ急要ナル理由ヲ發見スルコト  
ガ出來ナイノデアリマス、鐵道當局ガ必要  
ナル理由トシテ曰ク、裏日本ノ産業ノ開發  
ハ裏日本幹線ヲ必要トスル、御尤デアリマ  
ス、吾々之ニ反對ヲ致シマセヌ、併ナガラ  
此越後鐵道ヲ買收スルコト云フニ至リマシ  
テハ、越後鐵道ノ新潟方面ニ於ケル終點ノ白  
山ヨリシテ、今日ノ信越本線ノ新潟驛ニ達  
スル間ニ於ケル信濃川ノ架橋ガ完成致シマ  
セヌケレバ、幹線ノ目的ヲ達シナイト云  
フコトハ政府當局既ニ之ヲ言明シテ居リ  
マス、現在ニ於テ此架橋工事ガ設計畫サ  
ハサレテ居ラナイノデアリマス、架橋未ダ  
計畫セラレズシテ、而シテ此ヤクザ鐵道デ  
アルト稱セラレル所ノ此越後鐵道ヲ買收致  
シマシテ、白山マデ汽車ヲ一官設ノ汽車  
ヲ運ビマシタ所ガ、何ニ依テ裏日本幹線  
鐵道タル用ヲ爲スコトガ出來ルノデアリマ  
セウカ(拍手) 此橋ガ出來ト上デ、橋ガ出來  
テシマツタ今日ハ交通機關ノ關係上、裏日本  
ノ鐵道ヲ幹線ニスル必要ガアリト云フナラ  
バ、吾々ハ諒トスルノデアアル、マダ橋モ架  
ケナイ、マダ橋ヲ架ケル設計モ致サヌ、殊  
ニ此鐵道敷設法ニ於テハ、白山ヨリ新潟ニ  
達シ、及ビ新發田ニ達スル線ト云フモノハ、  
今日初メテ議案トシテ議會ニ現ハレタダケ  
デ、其計畫ノ前提デアアル所ノ鐵道敷設法  
ハ完成サレテ居ラザル今日ニ於テ、先ヅ北  
越鐵道全部ヲ買收シテ國有ニシナケレバ  
ナイト云フ理由ハ、急ガベキ理由ハ毫モ  
是レナキノミナラズ、却テ此事實、即チ不  
急ナルコトヲ證明シテ居ルモノデアラバ  
斷言シテ彈ヲスルノデアリマス(拍手) 然ラバ  
此不急ノ鐵道ノ爲ニ、ドレ程ノ金ヲ出スノ  
デアアルカ、此鐵道買收ノ爲ニ、二千六百餘  
萬圓ヲ要スル、其中一千二百萬圓ト云フモ  
ノハ、此越後鐵道ニ支拂フト云フノデア  
ル、何ノ爲ニ支拂フノデアアルカ、憲政會ノ  
委員諸君ノ中ニハ、質問ヲナサレマシテ、

○志賀和多利君 諸君、再ビ此壇ヲ汚シマ  
ス、只今提出致シマシタル修正案ハ、即チ  
本法ヨリ「越後鐵道株式會社」ト云フ八字ヲ  
除キマシテ、越後鐵道會社ト線路ヲ買收シ  
ナイト云フコトニ致シタイト云フ修正案ナ  
クデアリマス、鐵道國有法實施ガ十五、政府  
ガ地方鐵道ヲ買收シマシタ數ガ十五、政府  
ノデアリマス、是ハ政府當局ノ明言スル所  
ニ依テ極メテ明白デアアル、其金額ハ二千  
六百餘萬圓、二十年間此方鐵道ニ於テ必要  
ナリトシテ買受ケマシタル鐵道ハ十五、二  
千六百餘萬圓ノ範圍内デアタ、然ルニ財政緊  
縮ヲ標榜スル此現内閣ハ、昭和二年度ニ於  
テ買收シマシテ、只今討論ニナシテ居リマ  
スル水戸鐵道、陸奥鐵道、若小牧鐵道、日高  
鐵道及越後鐵道ノ五ツノ線ヲ買收シテ其總  
額二千六百餘萬圓、既往二十年間ニ渉ル鐵道

〔粕谷議長議長席ヲ退キ小泉副議長代  
理者席〕

(志賀和多利君登壇)

○志賀和多利君 諸君、再ビ此壇ヲ汚シマ  
ス、只今提出致シマシタル修正案ハ、即チ  
本法ヨリ「越後鐵道株式會社」ト云フ八字ヲ  
除キマシテ、越後鐵道會社ト線路ヲ買收シ  
ナイト云フコトニ致シタイト云フ修正案ナ  
クデアリマス、鐵道國有法實施ガ十五、政府  
ガ地方鐵道ヲ買收シマシタ數ガ十五、政府  
ノデアリマス、是ハ政府當局ノ明言スル所  
ニ依テ極メテ明白デアアル、其金額ハ二千  
六百餘萬圓、二十年間此方鐵道ニ於テ必要  
ナリトシテ買受ケマシタル鐵道ハ十五、二  
千六百餘萬圓ノ範圍内デアタ、然ルニ財政緊  
縮ヲ標榜スル此現内閣ハ、昭和二年度ニ於  
テ買收シマシテ、只今討論ニナシテ居リマ  
スル水戸鐵道、陸奥鐵道、若小牧鐵道、日高  
鐵道及越後鐵道ノ五ツノ線ヲ買收シテ其總  
額二千六百餘萬圓、既往二十年間ニ渉ル鐵道

買收ト略、同額ナル金額ヲ支辨セントスル  
ノデアリマス、此大體ノ見地ヨリ見マシ  
テ、何ガ故ニ憲政會内閣ノ其財政策ヲ緊  
縮ヲ標榜シ、非募債ヲ標榜シナガラ、縱シ  
ヤ交付公債トハ言ヒナガラ一時二千六百  
餘萬圓ノ金額ヲ此鐵道ノ爲ニ出スコトニ  
ナタノデアアルカ、ソレ程必要ノ鐵道買收  
デアアルカト云フコトヲ吟味致シテ見マスル  
ト云フト、水戸鐵道、陸奥鐵道、其他ノ鐵  
道ノ如キハ暫ク措キマシテ、此越後鐵道ニ  
於テハ毫末モ急要ナル理由ヲ發見スルコト  
ガ出來ナイノデアリマス、鐵道當局ガ必要  
ナル理由トシテ曰ク、裏日本ノ産業ノ開發  
ハ裏日本幹線ヲ必要トスル、御尤デアリマ  
ス、吾々之ニ反對ヲ致シマセヌ、併ナガラ  
此越後鐵道ヲ買收スルコト云フニ至リマシ  
テハ、越後鐵道ノ新潟方面ニ於ケル終點ノ白  
山ヨリシテ、今日ノ信越本線ノ新潟驛ニ達  
スル間ニ於ケル信濃川ノ架橋ガ完成致シマ  
セヌケレバ、幹線ノ目的ヲ達シナイト云  
フコトハ政府當局既ニ之ヲ言明シテ居リ  
マス、現在ニ於テ此架橋工事ガ設計畫サ  
ハサレテ居ラナイノデアリマス、架橋未ダ  
計畫セラレズシテ、而シテ此ヤクザ鐵道デ  
アルト稱セラレル所ノ此越後鐵道ヲ買收致  
シマシテ、白山マデ汽車ヲ一官設ノ汽車  
ヲ運ビマシタ所ガ、何ニ依テ裏日本幹線  
鐵道タル用ヲ爲スコトガ出來ルノデアリマ  
セウカ(拍手) 此橋ガ出來ト上デ、橋ガ出來  
テシマツタ今日ハ交通機關ノ關係上、裏日本  
ノ鐵道ヲ幹線ニスル必要ガアリト云フナラ  
バ、吾々ハ諒トスルノデアアル、マダ橋モ架  
ケナイ、マダ橋ヲ架ケル設計モ致サヌ、殊  
ニ此鐵道敷設法ニ於テハ、白山ヨリ新潟ニ  
達シ、及ビ新發田ニ達スル線ト云フモノハ、  
今日初メテ議案トシテ議會ニ現ハレタダケ  
デ、其計畫ノ前提デアアル所ノ鐵道敷設法  
ハ完成サレテ居ラザル今日ニ於テ、先ヅ北  
越鐵道全部ヲ買收シテ國有ニシナケレバ  
ナイト云フ理由ハ、急ガベキ理由ハ毫モ  
是レナキノミナラズ、却テ此事實、即チ不  
急ナルコトヲ證明シテ居ルモノデアラバ  
斷言シテ彈ヲスルノデアリマス(拍手) 然ラバ  
此不急ノ鐵道ノ爲ニ、ドレ程ノ金ヲ出スノ  
デアアルカ、此鐵道買收ノ爲ニ、二千六百餘  
萬圓ヲ要スル、其中一千二百萬圓ト云フモ  
ノハ、此越後鐵道ニ支拂フト云フノデア  
ル、何ノ爲ニ支拂フノデアアルカ、憲政會ノ  
委員諸君ノ中ニハ、質問ヲナサレマシテ、

政府當局ヨリ御答ヲ得テ満足セザレテ居タ  
ヤウデアリマスガ、是ハ今買テ置ケバ、大  
變安ク買ヘル、今ハ不景氣デ、實ハ鐵道ノ  
收入ガ足りナイ時代デアルカラ、此地方鐵  
道ノ買收規程ニ依テ買テ置ケルノハ大變安  
イ、安イカラ今買テ置ケ方ガ宜イ、大分  
日本ノ政府ガ鐵道ヲ買テ何カ儲ケヤウト  
云フヤウ御考デアルヤウナ趣旨ニ御取リ  
ニナツタ方モアルヤウデアリマス、政府モ左様  
ナ口吻ヲ漏サレテ居ル、日本政府ノ鐵道  
ハ、商賣品トシテ買受ケル品物デアリナイ  
デア、而モ況ヤ幾ラカ安クナルデアアラウ  
カドウカト云フコトヲ實際ニ考ヘマスルト  
云フト、鐵道ガ買收サレルト云フ場合ニ當ル  
別ニ特別ニ配當ハ高ク致シマスマイケレド  
モ、又配當ヲ安クシテモ居ラヌノデア、  
配當ガ下リマセヌ以上ハ、地方鐵道買收法  
ノ規定ニ依テ、當然或ル一定ノ値段ニ於  
テ買收セラルベキモノデア、本年之ヲ  
買收スルト、明年之ヲ買收スルト、何等ノ  
差違ハナイノデアリマス、其差違ナキノミ  
ナラズ、千二百餘萬圓ノ交付公債ノ利子  
ハ、本年之ヲ拂ハズシテ濟ム、ソレダケ高  
ク買フ積リデアツタナラバ、實ハ明年、明  
後年、即チ前ニ申上ゲマシテ通り、白山、  
新潟間ノ架橋工事ノ完成シテ後ニ買ヒマ  
シテモ、未ダ遲シトセザル鐵道ナノデアリ  
マス(拍手)諸君、昨日憲政會ヲ代表致サレ  
マシテ、工藤鐵男君ハ、吾々ニ非常ニ安心  
ヲ傳ヘラレタ、工藤君ハ憲政會ヲ代表シ  
テ、本案委員會ニ於テ斷言シテ曰ク、鐵道  
ト云フモノハ積極政策デ行クベキモノデア  
ル、鐵道ハ原内閣以來借金ヲシテモ架ケナ  
ケレバナラヌト云フ、居、タデハナカ、吾  
吾モ鐵道ト云フモノハ積極政策デ行カナケ  
レバナラヌモノデアルト思フ、果シテ積極  
的政策デ行クコトガ原内閣以來、政友會ノ  
傳統的政策デア、而シテ又鐵道省ノ傳統  
的政策デア、此政策ヲ吾々ハ宜イト信ジテ  
之ヲ支持スルノデアアルカラ、諸君ハ原内閣  
ヨリ引續イテアル政友會デア、何故反對  
スルカト云フヤウナ口吻ヲ以テ、盛ニ積極  
政策ヲ讚美サレタノデアリマス、私ハ之ヲ  
聞イテ非常ニ喜ンダノデア、併ナガラ諸  
君、政友會ノ積極政策ト云フモノハ、不要ナ  
モノノ早ク買テ、金ヲ使フノハ、不要ナ  
積極政策デア、政友會ノ積極政策ハ、  
必要ナルモノハ借金ヲシテモ早ク買、タ方

ガ宜イト云フ積極政策ナノデアリマス、  
不要ナルモノヲ高イ金ヲ出シテ買テ、ソレテ  
積極政策デア、アルト云フ、至、ソレハ、  
積極政策ノ履キ違ヒデアリマス、此點  
ハ宜シク御研究アテ然ルベキモノト思フ  
(拍手)尤モ今夜ハ政友會諸君ト、帝國  
「ホテル」デ御會合ガアルサウデアリマス、  
政友會諸君ハ原内閣以來積極政策ノ支  
持者デア、コトヲ確信致シマス、工藤君並  
ニ憲政會ノ幹部諸君ハ、宜シク政友會  
幹部諸君カラ、積極政策ノ真髓ヲ御聽キ下  
サツ、斯様ナ事ヲオヤリニナラヌヤウニ  
ナサル方ガ宜イコト、考ヘルノデアリマ  
ス(拍手)諸君、斯ノ如ク不意ナル鐵道ヲ  
何ガ故ニ千二百萬圓ノ大金ヲ出シテ買收ス  
ル、坊間ガ、何人モ之ヲ疑フ所デアリマ  
セウ、坊間傳ヘテ曰ク、北越鐵道會社ノ社  
長久須美氏ハ憲政會員デア、カスケ  
ドトカ稱スルモノニ資本ヲ出シテ、非常  
ナル窮況ニ在ル、憲政會員ヲ助ケルノハ憲  
政會ノ義務デア、ト稱シテ、此人ヲ助ケル  
爲ニ斯様ナ鐵道ヲ買收スルコトニ決定シ  
タ、坊間又傳ヘテ曰ク、北越鐵道會社ノ株主  
ハ憲政會員ガ大多數デア、今月買收シナ  
ケレバ、明日ハ憲政會内閣ハ倒レシマ  
ス、其時ニハ北越鐵道ハ浮ク瀬ガナイノデ  
アルカラ、今日ニ於テ買收シナケレバナ  
ラ(拍手)坊間又傳ヘテ曰ク、昨年ノ新潟市  
割草店ニ於テ、酒池肉林美妓ヲ擁シテ非常  
ナル樂ミヲ爲シテ居タモノガアル、何人  
デア、カト尋ネテ見タ所ガ、鐵道政務次官  
佐竹三吾君ノ御視察ノ途中デア、是レ北  
越鐵道會社ノ大ナル御馳走デア、ト云フコ  
トヲ傳ヘタ者モアル(拍手)諸君、私ハ斯様  
ナル風説ハ悉ク虚偽デア、ト云フコトヲ信  
ズルノデアリマス、偽デア、ト云フコトヲ  
信ズルノデアリマス、併ナガラ斯ノ如キ虚  
偽ナル風説ヲ流布セラレルト云フコトハ、  
何ニ依テ然ルカト申シマス、即チ斯様  
ナル不意ナル鐵道ヲ大金ヲ出シテ買フト云  
フ點ニ國民ノ疑感ヲ受ケルカラシテ、斯様  
ナル風説ガ出ルノデアリマス、吾々ハ鐵道  
買收等ニ付テ斯様ナル風説ノ起ルコトヲ望  
ミマセヌ、斯様ナル風説ヲ聞クコトヲ甚ダ  
厭フノデアリマス、併ナガラ此現内閣ノ遺  
方ハ、此風説ノ起ラザラント欲スルモノ能ハ  
ザルニ至、海ニ氣ノ毒千萬ト謂ハザル  
ヲ得ナイノデアリマス(拍手)私ハ是等ノ趣  
意ヲ以テマシテ、憲政會諸君ノ爲ニモ、此

越後鐵道株式會社ノ八字ヲ除ク方ガ、御爲  
デアラウト考ヘマス、アルガ故ニ、私ハ茲ニ修  
正案ヲ提出シテマシマス、若シ諸君、  
憲政會ニ於ケル硬骨男子中野實吉君ハ如何  
トサツ、デアリマセウカ、現ニ提案理由説  
明ノ際ニハ、大分大言ヲ發セラレタヤウデ  
アリマスガ、今御見エニナラヌ所ヲ見ル  
ト、矢張憲政會魂デ何處カへ行テ、御出席  
ガナクナリマシタノデアリマセウカ、私ハ  
憲政會ノ志アル人ナラバ、必ズ吾々ノ修正  
案ニ御賛成ニ相成ルモノデアラウト確信ヲ  
致シマシテ、此壇ヲ降ルコトニ致シマス、  
(拍手)  
○副議長(小泉又次郎君) 修正案ニ反對ノ  
通告ガアリマス、工藤鐵男君  
○工藤鐵男君 最早本議場ノ大勢モ定、テ  
居リマス、此席ヨリ簡單ニ私ノ意見ヲ  
申上ゲマス  
○副議長(小泉又次郎君) 許可致シマス  
○工藤鐵男君 越後鐵道ノ買收ハ、四十四  
議會以來、屢、本院ノ問題ニナリマシタ、  
サウシテ只今御反對ニナツタ政友會ノ有力  
者ニ依テ、屢、本院ノ意思ヲ表示サレテ  
居ルノデアリマス、志賀和利君ハ、(此  
時發言スル者多シ)  
○副議長(小泉又次郎君) 靜肅ニ願ヒマス  
○工藤鐵男君(續) 志賀和利君ノ演説中  
ニハ、私ノ氏名モ引用致サレマシタカラ、  
私ハ此處ニ極メテ簡單ニ修正案ニ反對ノ意  
思ヲ表示シマス、(發言スル者多シ)第一  
ニハ地方民ノ希望デア、ト云フコト、第二  
ニハ本案ノ意思ハ即チ政友會内閣ニ於テ  
屢、主張シタル買收案デア、ト云フ點、第  
三ニハ北日本開發ニ關スル點、第四ニハ鐵  
道ノ運輸系統ヲ正シクスルコト云フ點、第五  
ニ於キマシテハ、今之ヲ買收シナケレバ漸  
次高クナルト云フヤウナ虞ガアルト云フ  
點、又第六ニハ、此連絡上必要ナル所ノ此  
鐵道ヲ早ク完全ニ致シテ、以テ十分ニ其  
軌道ヲ發達セシメナケレバナラヌト云フ點  
デアリマス、此六ツノ點ニ於キマシテ私ハ  
委員長報告ニ對シテ賛成ノ意思ヲ表示致  
シテ、(約束ガ違フ)ト呼ビ其他發言ス  
ル者多シ) 速ニ、セラレンコトヲ希望致  
シマス  
○副議長(小泉又次郎君) 高橋熊次郎君  
(發言スル者多シ)  
○副議長(小泉又次郎君) 靜肅ニ願ヒマ

スー 高橋君ニ發言ヲ許シテ居リマス、御  
靜肅ニ願ヒマス  
○高橋熊次郎君 我黨ニ於テハ此問題ニ對  
シテ討論ヲ致シナイコトニ三派ノ交渉會ニ  
於テ決定致シタト云フコトヲ聞イテ居、タ  
デアリマス、左様デアリマス、スルカラシ  
テ、吾々ハ其決議ヲ重シクシテ、德義上之ヲ  
控ヘテ居、タノデアリマス、然ルニモ拘ラ  
ズ討論ニ涉ルヤウナ議論ヲ只今聞イタノデ  
アリマス、左様デアリマス、スルカラシテ  
賀君ノ修正說ニ賛成ノ意見ヲ申述ベタイ  
思フノデアリ(發言スル者多シ)  
○副議長(小泉又次郎君) 靜肅ニ願ヒマス  
○高橋熊次郎君(續) 而シテ吾々ハ斯ノ如  
キ各派ノ申合セハ、議事ノ進行ニ最モ好都  
合ナリトシテ、吾々ハ之ヲ守リツ、アルノ  
デア、嚴肅ニ守リツ、アル、左様デアリ  
マス、而シテ自ラ論議ヲ重スルト云フヤウナ不  
義ナコトハ、私共ハ許スコトハ出來ナイノ  
デア、而シテ此越後鐵道ト云フモノハ既  
二天下ニ問題ガアル、諸君ハ、先程モ志  
賀君ガ此處デ言ハレタル如ク、中野君ノ如  
クハ是ハ死ヲ賭シテモ頑張リテ斯ナモノ  
ハヤラヌト云フ、タデヤナイカ、サル程左様ニ  
此問題ハ不純ナ分子ヲ含ンデ居ルノデア  
ル、臭氣紛々タル分子ヲ含ンデ居ルノデア  
ル(拍手)而シテ君達ハ斯ウ云フヤウナコト  
ヲ「サウシテ中野君ハ此處ニ居ラヌ」  
デア、恐ラクハ御病氣カ何カデア、ト云  
フト思フノデア、サウ云フヤウナル不純  
ナ分子ヲ含ンデ居ル所ノ此案デア、ト云  
フ、左様デア、ト云フ、此案ニ付テハ各派ニ  
於テ相當ニ議論ガアツタノデア、ソレ此頃  
迄ハ、此自由結婚ガ行ハレヤウトスル前  
マデハ、既ニ此越後鐵道ト云フモノハ、本  
黨アタリデモ大分不賛成ノ議論ガ多ク  
デア、何時ノ間ニカ是ガ重嚴取消シテ  
シマツタト云フコトニ相成ルノデア、サウ  
シテ恐ラクハ是ハ本日帝國「ホテル」アタリ  
デ自由結婚式ガ行ハルナント云フコトガ  
新聞ニ書イテアル、私ハ其如何ナルモノナ  
ルヤヲ知ラナイノデア、私ハ其如何ナルモノ  
ウ云フコトガアルト云フカラ、忽チ斯ウ云  
フモノヲ其御土産トシテマア賛成サスルト  
云フコトニ致シタ、私ハ、私ハ、私ハ、私ハ、  
議場ノ空氣ハサウナ、テ居ルト此處デ宣言  
サレルカラ、或ハソノコトヲ吾々ハ思

テ居ルノデアリマス、先程モ言フ通りニ(委員會極マテ居ル)委員長ハ何ト云フカト云フ者アリマデ此鐵道ト云フモノハ完成ヲシナイト云フコトニナル、即チ橋ヲ架ケナケレバ渡レナイト云フ事デハナイカ、サウ云フヤウナ鐵道ヲ今ニ於テ買收スルナドト云フコトハ、何シニモナラナイト云フコトデアル、サウ云フ譯デアル、積極政策ナドト云フコトハ是ハ人氣ガ好イカラナドト思フ、適當ナ政策ヲカカフカ言フテ、色ミナ事ヲ拵ヘテ、サウ云フ鶴ノ眞似ヲ烏ガヤルト云フ、潮レルト云フノハコ、ノ道理ナノデアル、ソレデアルカラスウ云フ事ニ付テハ能ク慎重ニ考ヘナケレバナラヌ、幾ラ慌テ、モ一德義ヲ守ラナイナドト云フ所カラ、斯ウ云フ事ノ臭イ物ナド「バイシユール」トハ何ダ、微ノ臭ト云フ字ヲ書イテアル、コンナ物デアル、斯ウ云フヤウナ事ガ新聞ニ言ハレルノデアル、ソレデアルカラ憲政會モ德義ヲ重シナイト云フト、議事ハ中ニ進行シナイ(重シテ居ル)ト呼フ者アリ)重シセズ、三派交渉ノ其事ヲ忽チ直ク裏切ッテ居ル...

○副議長(小泉又次郎君) 靜肅ニ願ヒマス

○高橋熊次郎君(續) 段々此ノ風ヲ見習フテ、約束ナドヲ反古ニスルト云フト、世間デハソレデモ風教上直シクナイト云フト、居ル、此頃人ノ約束ヲ反古ニスルコトヲ何ト云フテ居ルカ、サウ云フ事ヲ一今此妥協符合シタ事ヲ其儘スルコトヲ、私ハ本黨ニ御氣ノ毒デアルガ、吾々ガ平素尊敬ノ念ヲ置カナクテ所ノ床次氏ヲ時々問題ニ出サレ、偽リヲ吐ク解釋ニ床次ト書イテ嘘ヲ言フノ床次ヲチヤイケナイ、或ハ竹ニチヤイケナイト云フコトガ、此頃世ノ中ニ言ハレテ居ル、諸君ハ其眞似ヲシテ、サウシテ三派ノ申合ヲ破ッテ、而シテ討論ヲサラウト云フコトハ、甚ダ見下ダ果テタル事ダト世間デハ不評判ニ至ラント云フ吾々ハ恐レテ居ルノデアリマス、(本案ニ大ニ關係ガアル、左様デアルカラ、斯ウ云フヤウナソレ程左様ニ德義迄モ破ッテ、世間ヲ壓迫シナケレバ是ガ問題ニナリ兼ネルト云フヤウナコトニナリテ居ル、私ハ斯ウ云フ事ニ付テ、ソレノ諸君ハ大ニ反省サレテ、將來スノ如キ事ノナイヤウニ希望ヲ致シテ、只今志賀君ノ提出サレタル所ノ修正案ニ賛成

ヲ致シテ此壇ヲ降ル者デアリマス(拍手)  
○副議長(小泉又次郎君) 高島順作君  
○高島順作君 簡單デアリマスカラ此席ヨリ御許ヲ願ヒマス  
○副議長(小泉又次郎君) 許可致シマス  
○高島順作君 水戸鐵道株式會社外四會社ノ私設鐵道ヲ買收スルト云フ此案ニハ賛成スル者デアリマス、只今此反對ノ理由トシテ志賀君ガ... (登壇々々ト呼ヒ其他發言スル者多シ)... 何等ノ根據ハナイト思ヒマス...

○副議長(小泉又次郎君) 靜肅ニ願ヒマス  
○高島順作君(續) 私ハ此鐵道ヲ買收... (登壇々々ト呼ヒ發言スル者多シ)  
○副議長(小泉又次郎君) 高島君御登壇ヲ願ヒマス  
○高島順作君(續) 只今志賀君ガ此鐵道ヲ白山マデ通シテモ何等ノ理由ガ無イ、意義ガ無イト云フコトヲ言ウテ居ラレノデアリマス、私ハ此鐵道ハ北陸ノ大都市タル新潟港ニ連絡致シマシテ、海陸交通機關ノ完全ヲ圖ル爲カラ、此鐵道ヲ買收スルノ目的デアラウト思フノデアリマス、又一方ニハ本州ノ東北地方ヨリ、西南ニ達スル所謂裏日本ノ海岸線ヲ完成スルガ目的ノ一ツダラウト思フノデアリマス、此意味カラ極メテ重大ナル案デアルト考ヘルノデアリマス、果シテ然リトスレバ只今志賀君、高橋君ノ言ハレルヤウニ、唯、黨略ノ爲ニ爲シタモノデアリト云フコトハ御分リニナルダラウト思フノデアリマス、更ニ今回鐵道網ニ追加セラレテ居ルモノハ、白山ヨリ新發田ニ通ズル、新ニ追加シテ居ル鐵道ガアルノデアリマス、是ガ通ジマスルト、眞ニ此越後鐵道ガ活用スルコトニ相成ルノデアリマスカラ、私共ハ寧ろ政府ニ一ツノ希望ヲ附シテ、此案ニ賛成スルノデアリマスカ、ソレハ本鐵道ノ買收案ガ通過致シ、又鐵道網ノ追加案ガ通過致シマシタ上ハ、政府ニ於テラレマシテハ、速ニ白山ト新發田間ノ線路ヲ御調査ニナリマシテ、適當ノ案ヲ立テラレマシテ、速ニ提案セラル、コトヲ希望致シマシテ、本案ニ賛成スル者デアリマス(拍手)

○加藤知正君(發言者多シ) 何ヲ言フ、黙ッテ居ロ... 私ハ此越後鐵道ノ買收

ニ付キマシテハ、幾多ノ疑問ヲ持ッテ居リマシタカラ、先日此壇上ニ於テ二、三ノ質問ヲ致シタノデアリマス、其後豫算分科會ニ於キマシテモ、更ニ此鐵道ニ付テ、愈不審ニ堪ヘナイ點ガ澤山アリマシタカラ、ソレヲ御尋シタ所ガ、御尋ヲスレバ、スル程、鐵道大臣ノ御答辯ハ要領ヲ得マセヌ、私ヲシテ満足セシムルダケノ御答辯ヲ得ルコトガ出来ナカッタノデアリマス、併シテガラ私ハ自分ノ縣ノ鐵道ヲ政府ガ買收シ、併シテガラ私ハ自分ノ縣ノ鐵道ヲ政府ガ買收シ、併シテガラ私ハ自分ノ縣ノ鐵道ヲ政府ガ買收シ、併シテガラ...

○副議長(小泉又次郎君) 靜肅ニ願ヒマス  
○加藤知正君(續) 若シ此鐵道大臣ノ言フコトヲ以テスルナラバ、アノ通り先日柏崎カラ直江津ヲ經テ富山ニ至ル間ノ海岸線ガ、非常ノ雪積ヲ受ケタノデアル、是ガ爲ニ交通ハ杜絶シタノデアル、食糧ハ缺乏シタノデアアル、此害ヲ緩和スル爲ニハ、ドウ

○副議長(小泉又次郎君) 靜肅ニ願ヒマス  
○加藤知正君(續) 若シ此鐵道大臣ノ言フコトヲ以テスルナラバ、アノ通り先日柏崎カラ直江津ヲ經テ富山ニ至ル間ノ海岸線ガ、非常ノ雪積ヲ受ケタノデアル、是ガ爲ニ交通ハ杜絶シタノデアル、食糧ハ缺乏シタノデアアル、此害ヲ緩和スル爲ニハ、ドウ

○副議長(小泉又次郎君) 靜肅ニ願ヒマス  
○加藤知正君(續) 若シ此鐵道大臣ノ言フコトヲ以テスルナラバ、アノ通り先日柏崎カラ直江津ヲ經テ富山ニ至ル間ノ海岸線ガ、非常ノ雪積ヲ受ケタノデアル、是ガ爲ニ交通ハ杜絶シタノデアル、食糧ハ缺乏シタノデアアル、此害ヲ緩和スル爲ニハ、ドウ

○副議長(小泉又次郎君) 靜肅ニ願ヒマス  
○加藤知正君(續) 若シ此鐵道大臣ノ言フコトヲ以テスルナラバ、アノ通り先日柏崎カラ直江津ヲ經テ富山ニ至ル間ノ海岸線ガ、非常ノ雪積ヲ受ケタノデアル、是ガ爲ニ交通ハ杜絶シタノデアル、食糧ハ缺乏シタノデアアル、此害ヲ緩和スル爲ニハ、ドウ

答ラル、所ハ、一ツハ雪ノ關係デアアル、雪ガ降ルカラ其爲ニ交通機關ニ非常ナル所ノ障礙ヲ與ヘルニ依テ、之ヲ買收セナケレバ鐵道幹線ノ完全ヲ期スルコトガ出来ナイ、是ガ一ツノ理由デアアルト云ハレタノデアリマス、諸君、雪ノ害ヲ緩和スル爲ニ、此鐵道ヲ買收セナケレバナラヌト云フ所ノ御理由デアラ、所ガドウデアリマス、皮肉ニモ先般ノアノ大雪ノ障礙ハ如何デアラ、新湯ニ至ルマデノ間、柏崎カラ長岡ヲ經テ、交通ガ杜絶スル所ノ憂ヒガアル、之ヲ以テ此柏崎カラ白山ニ至ル所ノ鐵道ヲ買收セナケレバナラヌト云フ御理由デアラ、ニモ拘ラズ、先般ノ彼ノ大ナル雪害ニ對シテハ如何デアラ、タデアリ、不通ニナラナイニモ拘ラズ、海岸線ガ緩和セナケレバナラヌト仰シヤツタ所ノ此柏崎ト白山ノ間ノ越後鐵道ガ不通ニナッタデアリマセウカ、是ハ抑、一體ドウ云フコトデアリマセウカ、如何ニモ皮肉ノ話デアアル、斯様ナ鐵道ヲ買收致シテ、ドウシテ此雪害ヲ緩和スルコトガ出来ルト云ハレマセウカ、私ハ此事ヲ豫算分科會ニ於テ鐵道大臣ニ言フノデアリ(分ラヌ分ラヌト呼フ者アリ)分ラヌコトハ、分ラヌナラバ何過デモ言フ、二遍デモ三遍デモ申シマセウ、詰リ此柏崎カラ長岡ヲ經テ新湯ニ至ル間ハ、雪ガ非常ニ障礙ヲ爲スノデ、之ヲ買收シナケレバ此鐵道幹線ノ完壁ヲ期スルコトガ出来ナイカラ、柏崎ヨリ新湯ニ至ル越後鐵道ヲ買收シナケレバナラヌト云ハレタノデアル、所ガアベコベニ、先度ハ柏崎カラ長岡ニ至ル間ハ、アノ大雪ニ於テ左シタル障礙ヲ受ケザルニ拘ラズ、却テ柏崎カラシテ白山ニ至ル間ノ越後鐵道ガ運轉中止ノ障礙ヲ起シタデアリ(分ラヌ分ラヌト呼フ者アリ)分ラヌナラバ何過デモ言フ、幾ラデモ繰返シマセウ

シテモ更ニ一本ノ補助線ヲ設ケナケレバナラヌコトニナルデハナイカ、其補助線ハ何處ニ設ケルカ、現在ノ位置カラ云フト、既ニ之ヲ設ケルダケノ餘地ガナイノデアル、然ラバ此鐵道幹線ノ完備ヲ期スルニハ、更ニ海底ニテモ向テ設ケルヨリ外ニ途ガ無イコトニナルノデハナイカ、鐵道大臣ハ果シテ此海底鐵道ヲ設ケルダケノ勇氣ガアルカドウカ、幹線ノ完備ヲ期スルニハ、更ニソレダケノ事ヲナサナケレバ、到底其目的ヲ達スルコトガ出來ナイコトニナルガ、如何デアリマスカト御尋シタトコロ、ソナ考ハ持テ居ラスト云ヘタノデアアル、果シテ然ラバ單ニ越後鐵道ダケ買收シテ、而シテ北陸線ノ幹線ノ完備ヲ期サウト云フコトニナルカラ、此點ガ吾々共ガ御尤ナリトシテ承服スルコトノ出來ナイ所以デアリノデアリマス、是ガ一ツ、更ニ鐵道敷設當時ノ生産狀態ト、今日トハ大變ニ違テ居ル、言ハハ施設當時ニ於テノ貨物ノ輸送ハ極メテ少イモノデアアル、ケレドモ今日ハ大ニ増加シタカラ之ヲ買收シサウシテ以テ滑ニ貨物ノ輸送ヲ圖ラナケレバナラヌト云フ所ノ御理由デアラナラヌ、所ガ易シ知ラン、其鐵道ヲ敷設致シマシタ當時ノ生産狀態ト、今日ノ生産狀態トハ依然トシテ變ラヌノデアリマス、否、寧ろ石油事業ノ如キハ今日ニ於テハ昔ノ倍ガナイノデアアル、何ヲ苦シデテハ買收ナサランケレバナラヌノデアアルカト云フコトヲ吾輩ハ御尋シタノデアアル、若シ生産狀態ガ敷設當時ト大ニ變テ居ルカラ買收セナケレバナラヌト云フナラバ、莫クハ其數量ヲ明ニ御示テ願ヒタイト云フコトヲ申上ゲタノデアアル、遂ニ其數量ノ御示ガナイノデアアル、又市スノトガ實際ニ於テ出來ナイデアラウト思フノデアリマス、然ラバ生産狀態云々ト云フコトモ是亦何等越後鐵道ヲ買收セナケレバナラヌト云フ理由ニハナラヌノデアアル、上越線ガ完成スル、羽越線モ既ニ完成シテ居ル、故ニ之ヲ買收セナケレバナラヌト云フヤウナコトヲ仰シヤク、所ガソレ等ハ吾々ヲシテ首肯セシムルニ足ル理由ニハナラヌノデアリマス、斯様ナ次第デアリマス、フコトヲ申上ゲタノデアアル、所ガ大臣ノ御話ニハ、新潟ノヤウナ彼ノ大都會ガ、鐵道幹線ノ中ニ這入テ居ラナイ所ハナイノデアアル、

デアアルカラ新潟市ノ發展ヲ圖ル爲ニハ、之ヲ買收セナケレバナラヌト云フコトヲ仰シヤクデアアル、併ナガラ現在ニ於キマシテ新潟市ノ發展セヌト云フ理由ハ、他ニ在ル、鐵道幹線ノ中ニ這入テ居ラナイカラシテ發展セヌト云フノハ理由ニナラヌノデアアル、此點ニ於キマシテハ、憲政會ノ中野君ガ滔々ト此壇上ニ於テ述ベラレタ次第デアリマス、今日此越後鐵道ナルモノガ在テスラモ發展スルコトガ出來ナイト云フ新潟市ナラバ、之ヲ官有ニ致シタ所デレダケノ發展ガ出來ルノデアアルカ、新潟市ノ發展セヌト云フ理由ハ、鐵道ヲ官有ニセヌ爲ニアラズシテ、他ニ理由ガ存スルノデアアル、其理由ハ中野君ガ滔々トシテ述ベラレタノデアアル、即チ此日本五港ノ一ツデアアルト云ハル、所ノ新潟港ガ深水淺クシテ、大船ヲ繋グニ足ル所ノ港デハナイノデアアル、斯様ナ關係カラシテ新潟市ト云フモノハ十分ノ發展ヲセナケレバナラヌカラ、若シ新潟市ノ眞ノ發展ヲ祈ルナラバ、何故ニ此港ト云フモノニ對シテ彼ノ對岸ノ露西亞ヲ相手ニシテ、新潟市ガ十分ノ發展シ得ルヤウニスルナラバ、今日鐵道ヲ完全ニスルトセザルトニ拘ラズ、此港一ツガ完全ニナレバ今日ヨリモ、ヨリ以上ノ發展ヲスルコト云フコトハ中野君ガ此壇上ニ於テ述ベラレタ所デアアル、然ルニ政府當局ノ爲ニ對シテハ、決シテ十分ナル施設ヲ致シテ居ルト云フコトハ出來ナイノデアアル、成程今日マデ大ニ力ハ入レテ貰テ居リマス、ケレドモ之ヲ以テマダ十分ト云フ譯ニハ至ラヌノデアアル、大船巨船ヲ繋グニ足ラヌノデアリマス、デアリマスカラシテ吾々共ハ、此越後鐵道ヲ買收スル所ノ金ガアルナラバ、其後以テ新潟港築港ニモウ一層ノ力ヲ注イデ貰ヒタイト云フコトヲ希望スルノデアアル(拍手)左様ナ次第デアリマス、政府當局ノ辯明ト云フモノハ、吾々ヲシテ一モ満足セシムルニ足ルダケノ御答辯デハナカッタノデアリマス、併シ吾々ヲシテ満足セシムルニ足ルダケノ御答辯ガナイニ致シタ所デ、之ニ對シテ他ニ何等警告ヲ認メナケレバ、私ハ默シテ止ムノデアリマス、否、寧ろ穩カニ致シテ謹シテ是ガ買收ヲ御願スル次第デアリマス、併ナガラ諸君、此買收ト云フコトガ一度發表セラル、ヤ如何ナル

噂ガ世間ニ傳テ居ルノデアリマス、此事ニ付テハ今同僚ノ志賀和多利君ガ滔々トシテ此所ニ述ベラレタノデアアル、ソレガ即チ私共ヲシテ遺憾ナガラ此鐵道買收ヲ今日爲サルト云フコトニ反對セザルヲ得ヌトニシタルノデアリマス、然ラバ諸君、如何ナル噂ガ世間ニ傳テ居ルカ、即チ先刻志賀君ノ言ハレタ通り、此越後鐵道ノ社長ハ久須美君デアアル、久須美君今日ノ經濟狀態ハドウデアアルカ、之ヲ今日救フニアラザレバ、彼ハ破産ヲシテシマフ、之ヲ救済スル爲ニ此越後鐵道買收案ナルモノハ提案サレタモノデアアルト云フ噂ガ專ラ傳テ居ルノデアアル(拍手)又今秋ニ於テハ縣會議員ノ選舉ガアリ、明年ニ於テハ國會議員ノ選舉ガアリ、其選舉ニ對シテ憲政會ニハ選舉費用ガ無イカラ、此越後鐵道ヲ買收シテ貰テ、其金ヲ以テ來ルベキ選舉ニ臨ム魂膽デアアルト云フ所ノ噂サヘアルノデアアル、勿論是ハ一片ノ噂ト思ツテ居リマス、噂ト思ウテ居リマスルガ、併ナガラ此噂ガイケナイノデアリマス、斯様ナ噂ノアル所デアリマス、此鐵道ヲ買收一ツハ既成政黨ノ信用ニモ非常ナル影響ヲ與ヘル、一ツニハ官ノ威信ニモ關係スル、是ガ私ノ此越後鐵道買收ニ反對スル所以デアアルノデアリマス、現内閣ガ憲政會内閣デアリナラ宜シイノデアアル、併ナガラ現内閣ハ憲政會内閣デアアル、而シテ此鐵道ノ社長ハ憲政會ノ黨員デアアル、此鐵道ノ株主ノ大部分ハ憲政會員デアアル、斯様ナ狀態ニ在リマスルカラ、之ヲ買收スルト云フ其所以ハ何等カノ魂膽ガナケレバナラヌト云フコトヲ世人ニ想像セラル、ノハ、是ハ當然ノ歸結デアアルノデアアル、

〔小泉副議長議長席ヲ退キ粕谷議長復席〕  
デアリマスルカラ、既成政黨ト云フモノハ實ニ信用スルニ足ラヌモノデアアル、惡イ事ノミヲヤツテ居ルモノデアアル、斯ウ云フ工合ニ多クノ人ニ大ナル誤解ヲ與ヘシムルト云フコトシ、吾々ハ政黨員トシテ實ニ之ヲ遺憾ニ思フノデアリマス、尤モ今日此内閣ノ爲スル所、憲政會諸君ノ爲スル所、政友本黨諸君ノ爲スル所、國民ハ既ニ愛想ヲ盡カシテ、如何ニモ莫氣紛々今日ノ政府ヤ政黨ナドニハ鼻向ケモナラヌト云フヤウナ噂ヲ致シテ居ル者ノ多イ今日デアリマスルカラ、現政府ガ此越後鐵道ヲ買收スル位ナコトハ何デモナイコトデアアルカモ知レナイ、ケレドモ純眞無垢ノ吾々ノ立場カラ之ヲ見ルト云フト、斯様ナ噂ノアル所ヘ持テ來テ、之ヲ買收スルナドト云フコトハ、實ニクナイ實ニ政黨ノ信用ニ大ナル影響ヲ與ヘルコトニナリマス、私ハ憲政會ノ爲、政友本黨ノ爲、否、既成政黨ノ爲ニ此鐵道ヲ買收スルト云フコトニ大ナル反對ヲスル一人デアアルノデアリマス、又斯様ナ事ヲ致シマスルナラバ、政府ニ對スル信用、官ニ對スル信用ト云フモノガ全然地ニ墜ルコトハ言フマデモナイ話デアアル、序デ私ハ我が縣民ノ間ニ於テ斯様ナ噂ヲ致スコトガ、決シテ無理カラヌト云フデアアルト云フ其一例ヲ申上ゲテ置キタイ、先年小原知事ガ在任中ノコトデアリマス、其當時實業學校ノ整理問題ガ現レタノデアアル、其際憲政會ノ諸君ハ如何ナル態度ヲ執ラレタカ、憲政會ニ入黨セヨ、入黨ヲセナケレバソコノ學校ハ潰シテシマフト云フヤウナ態度ヲ取ツタノデアアル(才前達ガヤッタノダ)ト呼ブ者アリ)才前達ガヤッタト云フナラバ、尙ホ其事實ヲ私ハ申上ゲマセウ、ソレハ新潟縣志郡柳尾町ニ農商學校ト云フ學校ガアルノデアアル、其學校ヲ存置致シタイト云フノ地土人ノ者ガ非常ナル心配ヲ致シテ、奔走ヲ致シタ、其當時ニ於テ新潟縣ニ於ケル憲政會ノ或ル有力ナル縣會議員ノ一人ト看做サレメタイナラバ、宜シク此學校ヲ眞ニ存置セシムト申シタノデアアル、純眞無垢ナル土地ノ者ハ是非共此學校ヲ存置シテ貰ヒタイト云フ考カラ、一生懸命デ黨員ヲ募集シタ、五十名足ラズノ黨員ヲ募集シテ行ク所ガ、是デハ募集ノ仕方ガ足りナイ、ドウモ之ヲ存置シテヤル譯ニハ參ラヌカモ知ラヌト云フヤウナ態度ヲ示シタノデアアル、何ゾ知ラヌ、其當時ニ於テハ既ニ此學校ハ存置スルト云フコトニ定メテ居タノデアアル、サウ云フコトデアッタニモ拘ラズ、白々シクモ入黨ヲ強イテ、サウシテ五十何名ノ者ヲ入黨セシメタノデアリマス、又一道路ノ縣會ガ昨年ノ縣會ニ掛ケマシテ、道路問題ガ現レタノデアアル、橋梁問題ガ現レタノデアアル、處ガ憲政會ニ入黨スレバ其道路ヲ付ケテヤル、憲政會ニ入黨シナケレバ此橋ハ架ケテヤラナイト云フヤウナ態度ヲ取り中浦原郡ノ小合村ト白井村トノ間ニ在ル橋ノ爲

ニ、二百餘名ノ憲政會入黨者ヲ強イテ募集  
サシクテ、ノデアリマス、斯様ノ道方ヲシテ  
居ルノデアリカ、自然縣民ノ疑ガ今回ノ  
越後鐵道買收ノ上ニモ掛ルノデアリ、斯様  
事ヲ致シマスルカ、政黨ト云フモノニ對シ  
テ、信用ガ今日地ニ墜テ行クノデアリマ  
ス、私ハ此信念ノ下ニ今日此越後鐵道ナル  
モノヲ買收セラル、ト云フコトニ反對セザ  
ルヲ得ヌ者デアリ、若シ之ヲ買收セントナ  
サルナラ、既成政黨ノ信用ノ爲ニ、官ノ威  
信ノ爲ニ、所謂諸君ノ言ハル、通り、何故政  
友會内閣ノ時ヲ待テ買收セザルヤウニセ  
イノカト、言ヒタイデアリ、ノ政友會内閣ノ時  
ニ買收ヲサセルナラバ、誰モ惡イ噂サマ  
ル者ハナイノデアリマス、即チ社長ガ憲政  
會ノ黨員デアリ、大部分株主ガ憲政會ノ黨  
員デアリ、其鐵道ヲ政友會内閣ノ時ニ買收シ  
テ賣フト云フコトデアリ、又今一ツ私ハ之ニ  
反對スルノ理由ガ他ニアル、現内閣ハ今日  
ノ財政頗ル窮乏ヲ告ゲテ居ル、先般私ガ  
質問ヲ致シタ際ニ、政友本黨ノ諸君ハ拍手  
ヲ以テ迎ヘラレタガ、彼ノ義務教育費ノ問  
題ハドウデアリカ、一千万圓ト云フコトヲ  
約束シテ置キナガラ、僅ニ五百万圓ヲ計  
上シナイデアリ、而シテ其理由ノ問ヘ  
バ、即チ財政ニ餘裕ガ無イカラ、無イ袖ハ  
振ラレヌニ依テ、五百万圓サハ計上スルコ  
トガ出来ナイト、言ヒ居ルデアリ、公約  
ヲシテ置キナガラ、結果ヲ反古ニスルヤウ  
ナ今日ノ政府デアリカ、此ノ如ク信用ス  
ルニ足リナイ政府デアリカ、トノヤウナ  
事ヲシテモ吾々ハ之ヲ攻撃スルガケノ勇氣  
ガ無イヤウナモノ、併ナガラ今日モ堂々  
タル政府デアリ、其政府ガ苟ク天下ノ  
公黨ニ對シテ一千万圓ノ約束ヲシテ置キ  
ナガラ、ソレヲ實行セズシテ僅ニ五百万圓  
ヘ之ヲ計上セヌノデアリ、而シテ其理由  
問ヘバ、即チ財政ニ餘裕ガ無イカラ、已  
得ナイト云フノデアリ、財政ニ餘裕ガナ  
イト申シテ居リナガラ、今日此不急ノ越後  
鐵道ヲ千二百万圓モ投ジテ買收シナケレバ、何事  
デアリカ、今日之ヲ買收シナケレバ、ナラ  
ト云フ急ヲ要スル所ノ關係ガアリマスナ  
ラ、私ハ決シテ異存ハ申シマセヌ、併ナガ  
ラ今日之ヲ急イデ買ハナクテモ、何等交通  
上ニ差支ガナイノデアリマス、交通上ニ於  
テ差支ガナイ所ノ此不急ノ鐵道ヲ無イ袖ハ  
振ラレヌト申シテ居リナガラ、強イテ一

二百万圓ノ大金ヲ投ジテ買收スルト云フ其  
御意思ガ分ラヌノデアリ、殊ニ非募債主義  
ヲ唱ヘテ居リナガラ、公債政策ニ依テ之  
ヲ買收シヤウナドト云フコトハ、實ニ矛盾  
ト甚シク、所謂ハナケレバナラヌノデアリ  
カ、私ハ縣民ノ一人トシテハ、希クハ一  
日モ速ニ買收シテ戴キタイト云フ熱情ヲ  
持テ居ル者デアリ、マスケレドモ、官ノ威  
信ノ爲、既成政黨ノ信用ノ爲ニモ、官ノ威  
信ノ爲ニ、所謂諸君ノ言ハル、通り、何故政  
友會内閣ノ時ヲ待テ買收セザルヤウニセ  
イノカト、言ヒタイデアリ、ノ政友會内閣ノ時  
ニ買收ヲサセルナラバ、誰モ惡イ噂サマ  
ル者ハナイノデアリマス、即チ社長ガ憲政  
會ノ黨員デアリ、大部分株主ガ憲政會ノ黨  
員デアリ、其鐵道ヲ政友會内閣ノ時ニ買收シ  
テ賣フト云フコトデアリ、又今一ツ私ハ之ニ  
反對スルノ理由ガ他ニアル、現内閣ハ今日  
ノ財政頗ル窮乏ヲ告ゲテ居ル、先般私ガ  
質問ヲ致シタ際ニ、政友本黨ノ諸君ハ拍手  
ヲ以テ迎ヘラレタガ、彼ノ義務教育費ノ問  
題ハドウデアリカ、一千万圓ト云フコトヲ  
約束シテ置キナガラ、僅ニ五百万圓ヲ計  
上シナイデアリ、而シテ其理由ノ問ヘ  
バ、即チ財政ニ餘裕ガ無イカラ、無イ袖ハ  
振ラレヌニ依テ、五百万圓サハ計上スルコ  
トガ出来ナイト、言ヒ居ルデアリ、公約  
ヲシテ置キナガラ、結果ヲ反古ニスルヤウ  
ナ今日ノ政府デアリカ、此ノ如ク信用ス  
ルニ足リナイ政府デアリカ、トノヤウナ  
事ヲシテモ吾々ハ之ヲ攻撃スルガケノ勇氣  
ガ無イヤウナモノ、併ナガラ今日モ堂々  
タル政府デアリ、其政府ガ苟ク天下ノ  
公黨ニ對シテ一千万圓ノ約束ヲシテ置キ  
ナガラ、ソレヲ實行セズシテ僅ニ五百万圓  
ヘ之ヲ計上セヌノデアリ、而シテ其理由  
問ヘバ、即チ財政ニ餘裕ガ無イカラ、已  
得ナイト云フノデアリ、財政ニ餘裕ガナ  
イト申シテ居リナガラ、今日此不急ノ越後  
鐵道ヲ千二百万圓モ投ジテ買收シナケレバ、何事  
デアリカ、今日之ヲ買收シナケレバ、ナラ  
ト云フ急ヲ要スル所ノ關係ガアリマスナ  
ラ、私ハ決シテ異存ハ申シマセヌ、併ナガ  
ラ今日之ヲ急イデ買ハナクテモ、何等交通  
上ニ差支ガナイノデアリマス、交通上ニ於  
テ差支ガナイ所ノ此不急ノ鐵道ヲ無イ袖ハ  
振ラレヌト申シテ居リナガラ、強イテ一

○原惣兵衛君 本員ハ茲ニ修正案ニ賛成ヲ  
致シタイト思フノデアリマス、先ヅ其前提  
ト致シタイト、議場ガ斯様ナル混亂ノ状態  
ニ陥リタト云フコト、二付キマシテ、諸君  
前ニ其實情頭末ヲ御報告致シマス、本日ハ  
御存知ノ如クニ或ル用事ガアル爲ニ、特ニ  
此程度ヲ以テ總テ打切リ、志賀君ノ演說  
ガ濟ンダ時ニ於テ(發言者多シ)御聽キナサ  
イ、此時ニ平野光雄君ガ我黨ニ參リマシ  
テ、簡單ニ議席カラ此修正案ニハ反對デア  
リマス、ト云フコトダケヲ言フカラ、ソレ  
堪ヘテ吳レ、ソレヲ吾々ハ諒シタノデア  
リマス、然レニ拘ラズ工藤君ハ此處ニ滔々  
ト反對ノ演說ヲシタ、所謂反對デアルト云  
フ意味デナイ反對ノ演說ヲ爲シタト云フ  
コトガ、此原因ヲ成シテ居ルト云フコトヲ知  
ラナケレバ、ナラヌノデアリ(拍手)即チ有  
ル場合ニ嘘ヲ吐クノハ憲政會ノ持前デア  
リ(ヒヤ)、「拍手」而モ今日ハ反對ノ演  
說ハセヌ、議席カラ反對デアルト云フコト  
ダケヲ言フカラト、言ヒ居ルデアリ、サウシテ  
堂下演說ヲ始メタト云フコトカラ、此状態  
ニ陥レタト云フコトハ、自ラ其信義ヲ破  
タノデアルト謂ハナケレバ、ナラヌ(拍手)斯  
クナル以上ハ、此重大ナル鐵道法案ニ對シ  
テハ、簡單ニ濟マズ、譯ニハイカナイカラ、  
吾々ハ續テ限リ、時間ノ續ク限リ、之ニ  
對シテ討論ヲ試ミント思フ者デアリマス、  
(拍手)爾來鐵道法案ト云フモノハ御存知ノ  
如クニ、地方ノ生活狀態並ニ文化ノ發展ニ  
重大ナル關係ヲ持テ居ルノデアリマス、  
隨テ此問題ニ付テハ、餘程地方ノ黨勢ノ  
擴張デアルト云フコトハ、慎重審議研究シ  
ケレバ、ナラヌ問題デアリ、ノデアリマス、本

問題ガ一番初ニ提案サレタ時ニ於テ、果シ  
テ鐵道大臣初ノ佐竹次官一政府ガ此案ニ  
賛成デアラカト云フコト決シテ賛成デハナ  
カッタ、全ク憲政會ノ黨員ノ壓迫ト是非ナ  
クヤ、タノダト云フコトヲ、政府委員自ラ  
言ヒ居ルデアリ、カ、而モ亦之ニ對シテハ  
政友本黨モ全ク反對デアラカト云フコト  
ルガ、一朝憲本聯合ノ野合ガ成立スルヤ、  
是非ナク之ニ引連ラレテ行クノデアリマ  
ス(拍手)全ク是非憲政會ノ或ル一部ノ  
先刻志賀君ガ御報告シタ通りニ、憲政會ノ  
黨員ノ爲ニ是非アレテ附ケテヤラナケレバ  
ナラナイト云フ黨勢擴張ヨリ以外ニ、本案  
ハ何モノモナイト云フコトヲ吾々ハ喝破ス  
ル者デアリ、斯様ナ重大ナル問題ニ付テ今  
ヤ諸君、憲政會ガ其信義ニ悖ルヤウナコト  
ヲスル以上ハ、吾々此問題ガ如何ナル經過  
ニ依テ行クカト云フコトニ付テ、私ハ少  
シク速記ヲ參考ニシテ、諸君ノ前ニ反對  
論ヲ述ベテ見タイト思フノデアリマス、先  
ヅ此鐵道法案ト云フモノハ特ニ重大デア  
リマス、委員會ニ掛ケルニ付キマシテ  
モ、單ナル九名トカ十六名トカ十八名トカ  
言ハズニ、特ニ二十名ノ委員ニ付シタト云  
フ點ニ於テモ、本案ガ非常ニ重大デア  
ラト云フコトガ十分ニ分ルノデアリマス、而  
シテ此問題ニ付キマシテ如何ナル事ヲ答ヘ  
バ、其會ニ於キマシテ如何ナル事ヲ答ヘ  
居ルカト云フコトニ付テ、私ハ少シク述ベ  
見タイト思フノデアリマス、國務大臣井上  
子ハ本案提出ノ理由ヲ簡單ニ説明致シマス  
ト言ウテ、其理由ヲ述ベテ居リマス、先  
ヅ水戸鐵道ト陸奥鐵道ハ國有鐵道ノ連絡  
上、一日モ速ニ之ヲ買收スルノ必要ガアリ  
マス、斯様ニ述ベテ居リマス、サウシテ  
此鐵道ノ必要ヲ御説キニナッテ居ルヤウデ  
アリマスガ、先刻申上ゲマシタ通り、井上  
鐵道大臣ノ御演說ニ依テ見マシテモ、左程  
熱心ニ此法案ヲ通過セサセタイト云フ御意思  
ガ無イコトハ、明白ニ分テ居ルデアリマ  
ス、サウシテハ、先ヅ裏日本交通ノ状態ハ、昔  
ニ比シテ大ニ其趣ヲ異ニシテ居ル、斯様ニ  
ズト説明ヲシテ來テ居リマスガ、此鐵道  
ダケガ、必シモ唯一ノ鐵道デアリ、先ニ申  
シマシタ通り全ク大臣トシテハ、斯様ナ鐵  
道マデモ買收スル必要ハナイト云フ御意思  
ガアタリ、ノデアリマス、餘儀ナク、茲  
ニ述ベテ居リマスルケレドモ、私等ハ必シ  
モ買收ノ必要ハ無イト信ジテ居ルノデアリマ

ス、而シテ此問題ニ付キマシテ先ヅ大臣ガ  
斯様ニ答ヘラレタ、之ニ對シテ今井委員ハ  
質問ヲ試ミマシテ「政府ガ私設鐵道ヲ買收  
致シマス方針ハ、大體ニ於テ國有鐵道ノ幹  
線ニ連絡スルト云フコトニ目的ガアルト解釋  
致シマス、所ガ私共地方ニ於テ實際是ハ政  
府ガ買收シタ方ガ宜イデアラウト思フ鐵道  
ガ殘サレテ居リ、是ハ寧ろ支線トシテ民有  
ニ委シテ置イタ方ガ宜イト思フモノガ、官  
有ニサレレ場合ガ多イ、例ヘバ」ト斯様ニ  
言ヒ居ル、隨テ斯様ナ申上ゲタヤウナ  
此支線、サウ云フヤウナ鐵道ヲ國有鐵道ニ、  
猫モ杓子モシテシマハナク、トモ一民間ノ  
事業ノ壓迫ト云フコトニモ重大ナル關係ヲ  
持テ居リマス、殊ニサウ云フヤウナ支線  
デアリマシタナラバ、是ハ支線トシテ其儘  
放任シテ置ク方ガ、又民間ノ事業ヲ壓迫シ  
ナイト云フコトニモナル、寧ろ自由競争ノ  
上カラ見テモ是ガ宜イト思フテ居ルノデア  
リマス(ヒヤ)、「拍手」隨テ何故之ヲ私  
鐵道ノ範圍トシテ、左様ナ方面ニ置イテ置  
カナイカト云フ質問ヲ、先ヅ試ミテ居ラ  
マス、ソコデ向ホ今井委員ハ質問シテ言フ  
ニハ「例ヘバ今政府ノ敷設法ニ出テ居  
マス、我孫子カラ行クノ行ク鐵道ガ出来  
テ、ソレガ成田ニ結付クノデアリマス、所  
ガ此先ニ多古ノ鐵道ト云フノデアリマス、  
ソレヲ其儘ニシテ一方ダケ國有ニスルト云  
フコトハドウデセウカ、ヤルナラバ一層全  
部ヲ國有ニシタ方ガ便利デアリ、ト云フ  
モ私共政府ノヤラレマスヤウニ、唯一部  
ダケヲ買收ニナッテモ駄目ト思ヒマス」諸  
君、斯様ニ答ヘテ支線ヲ買收スルト云ヒ、  
而モ地方ノ連絡ガアル所デアラナラバ、此  
今井委員ノ言フ通りニヤルナラバ、何故總  
テ此外ノ支線ヲ買收シナイカト云フコトニ  
ナルノデアリマス、然レニ拘ラズ、之ニ對  
シテ一方ダケノ買收ヲ試ミテ居ルコトニ  
付テハ、先ニ申シマシタ通り政府モ反對シ  
テ居レバ、本黨モ反對シテ居ルコト云フ點  
デモ、曖昧デアラト云フコトハ明白デア  
リ、ト云フハ言ハナケレバ、ナラヌノデア  
リマス(拍手)而シテ尙ホ今井委員ハ續イテ「今  
迄千葉ノ縣營鐵道ハ成田ト多古間デアリマ  
ス、ソレガ既ニ二日市場マデ連絡サレ、  
成田線及總武線ニ連絡サレテ居リマス、ソ  
レガ我孫子カラ琦玉縣方面ニ連絡サレルコ  
トニナレバ、尙更ニ必要ダト思ヒマスガ、サ  
ウ云フ方面ニ何等カ御考ガアリマスカ、將

○原惣兵衛君 本員ハ茲ニ修正案ニ賛成ヲ  
致シタイト思フノデアリマス、先ヅ其前提  
ト致シタイト、議場ガ斯様ナル混亂ノ状態  
ニ陥リタト云フコト、二付キマシテ、諸君  
前ニ其實情頭末ヲ御報告致シマス、本日ハ  
御存知ノ如クニ或ル用事ガアル爲ニ、特ニ  
此程度ヲ以テ總テ打切リ、志賀君ノ演說  
ガ濟ンダ時ニ於テ(發言者多シ)御聽キナサ  
イ、此時ニ平野光雄君ガ我黨ニ參リマシ  
テ、簡單ニ議席カラ此修正案ニハ反對デア  
リマス、ト云フコトダケヲ言フカラ、ソレ  
堪ヘテ吳レ、ソレヲ吾々ハ諒シタノデア  
リマス、然レニ拘ラズ工藤君ハ此處ニ滔々  
ト反對ノ演說ヲシタ、所謂反對デアルト云  
フ意味デナイ反對ノ演說ヲ爲シタト云フ  
コトガ、此原因ヲ成シテ居ルト云フコトヲ知  
ラナケレバ、ナラヌノデアリ(拍手)即チ有  
ル場合ニ嘘ヲ吐クノハ憲政會ノ持前デア  
リ(ヒヤ)、「拍手」而モ今日ハ反對ノ演  
說ハセヌ、議席カラ反對デアルト云フコト  
ダケヲ言フカラト、言ヒ居ルデアリ、サウシテ  
堂下演說ヲ始メタト云フコトカラ、此状態  
ニ陥レタト云フコトハ、自ラ其信義ヲ破  
タノデアルト謂ハナケレバ、ナラヌ(拍手)斯  
クナル以上ハ、此重大ナル鐵道法案ニ對シ  
テハ、簡單ニ濟マズ、譯ニハイカナイカラ、  
吾々ハ續テ限リ、時間ノ續ク限リ、之ニ  
對シテ討論ヲ試ミント思フ者デアリマス、  
(拍手)爾來鐵道法案ト云フモノハ御存知ノ  
如クニ、地方ノ生活狀態並ニ文化ノ發展ニ  
重大ナル關係ヲ持テ居ルノデアリマス、  
隨テ此問題ニ付テハ、餘程地方ノ黨勢ノ  
擴張デアルト云フコトハ、慎重審議研究シ  
ケレバ、ナラヌ問題デアリ、ノデアリマス、本



シテ、最近ノ會社ノ決算期ヲ本トシテ過去三年間ノ收益ノ割合ニ依テ勘定ヲ致スノデアリマスガ、ソレデアリマスカラ此案ガ可決サレマスレバ、愈之ヲ實行スルニ當リマシテ、買收ノ時期ガ何時ニナルカト云フ、其時期ノ決メ方ハ會社ニ依テ、會社ノ決算期ガ云々ト云フノデ、此狀態ヲ大體ニ報告シテ居リマス、之ニ對シテ栗林君ハ「尙ホ御尋致シマス」ト云フノデ此決算ノ狀態ノ報告ニ對シテ、斯ウ云フ額面デスカ市居リマス、公債ハ何分利デ、額面デスカ市價デスカ、之ニ對スル佐竹政府委員ノ答辯ハ「此公債ハ十五箇年滿期ノ五分利公債デアリマス」云々トナリテ居リマスガ、此時ニ工藤君カラ「買收價格ノコトニハ暗イノデスカ、算定ノ基礎ハドウナリテ居リマスカ」云々ト云フ質問ヲ試ミテ居リマス、斯ウ云フ點ニ於キマシテ、果シテ買收價格ト云フモノハ、今言ウタ市價デアリカ、或ハ如何ナル所ノ買收方法ヲ爲スノデアリカト云フヤウナ點ニ付キマシテモ、怪シイ幾多ノ點ガアルカラ、之ヲ追窮シタノデアラ、是ハ全ク今言フ通り、價格ノ算定、或ハ決算期ノ問題、其報告ノ問題、有ユル問題ニ付テ栗林君ノ質問ノ要旨ハ何處ニアルカト云フコトガ、此買收ニ重大ナル關係ヲ持テ居ルコトヲ云フコトハ、内部的ニ爭フベカラザル事實デアルト思フテ居リマス、是ダケノ質問ヲ爲シテ、之ニ對シテ佐竹政府委員ハ、大體ノ説明ヲ致シテ居リマス、其利益ノ點ニ付テノ説明、地方鐵道法ノ三十一條ニ、其買收ノ計算方法ガ定マテ居リマス、斯様ニ云ウテ買收方法ニ付テ大體述ベラレテ居リマスガ、五分ノ收益ノ會社ナラバ、丁度建設費ガ買フ、尤モ其金ハ公債ノ額面デ交付シマスカラ、會社ノ百圓ノ公債ガ九十圓カ九十二圓デアリマスカラ、例ニ云フテ居ル、併ナガラ此現在ノ會社ノ百圓ノ公債ガ、果シテ九十圓ノ價值ガアツタカ、否ヤカト云フコトヲ、吾々ハ先ツ第一ニ疑フテ居ルノデアリマス、斯様ニシマシテ、尙ホ續キテ工藤君ガ「モウ一ツ伺ヒマス」(大キイ聲デヤレト呼フ者アリ)此位大キイ聲デヤレト呼フ者アリ、ト思ヒマス、而シテ尙ホ之ニ對シマシテ、佐竹政府委員ハ「水戸鐵道ノ場合ヲ申シマス、會社ノ資本金ハ五十萬圓デアリマシ

テ、全額拂込デアリマスガ、會社ノ建設費ハ、大正十五年ノ上半期末ニ於テ八十万三千圓餘ニナリテ居リマス、其八十万三千圓ト云フノガ、買收ノ時ニ於ケル建設費ト致シテ居ルノデアリマス、斯様ニ言フテ居ル(大キイ聲デヤレト呼フ者アリ)爾來私ハ演說ニ於キマシテモ相當大キイ聲デアリノデアリマスカラ、願クハ、諸君ガ謹聽セラレタナラバ能ク分ルト思ヒマスカラ、御靜肅ニ願ヒタイト思フノデアリマス、(政友會ダカラ議長ガ許スノダラウ)ト呼フ者アリ、何ナラ議長ノ交代ヲ願フテ、十二時マデヤリタイト思ヒマス、水戸鐵道ノ此場合ノ大體ニ付テ、佐竹政府委員カラ説明ガアツタ、吾々ハ此速記録ヲ基礎ニシテ、此法案ハ如何ニ重大デアリカト云フコトヲ、申述ベルノデアリマス、吾々ハ速記録ヲ見ルト云フコトガ最モ時宜ニ適シ、又討論ノ基礎ヲ成スト思フデアリマス、(速記録ハ家デ讀ム)ト呼フ者アリ、速記録ヲ家デ讀ムデアラナレバ討論ニナラナイノデアリマスカラ、暫ク御清聴ヲ願ヒタイ、斯様ニ致シマシテ、佐竹政府委員ハ、大體之ニ對シテ説明ヲ試ミテ居ル、是ハ數字ニ關スル點デアリマスカラ多ク述ベマセヌ、併ナガラ、工藤委員ハ之ニ對シテ速レバセウテ居リマス、陸奥鐵道ハ自分ノ郷里デスカ能ク鐵道ノ狀態ハ分テ居リマスガ(此時發言スル者多シ)

○議長(稻谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス  
○原惣兵衛君(續) 概シテ私設鐵道ト云フモノハ成ルベク金ヲ使ハズニ、利益ヲ擧ゲテヤテ居ルカラ、國有鐵道ニ比スレバ設備ハ非常ニ惡クナリテ居ル、故ニ此五線ヲ買收シテ後ニ於テ、必ズ政府ハ相當ノ改良費ヲ掛ケテ、他ノ國有鐵道ト同様、若クハソレニ準ズル設備ヲスルデアリマセウガ、ソレニ對スル採算上ノ調査デモ出來テ居リマスガ(此時發言スル者多シ)

○議長(稻谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス  
○原惣兵衛君(續) 諸君然ラバ之ニ對スル工藤委員ノ説ヲ申述ベルト、此鐵道ハ國有鐵道ニ比スレバ設備ハ非常ニ惡クナリテ居ルカラ、將來大ニ改革スル必要ガアリマスガ、斯様ニ鐵道ノ惡イコトヲ知り、價值ノナイ鐵道ヲ買上ゲタト云フ點ニ付テ、吾々ハ反對ガアルヲ得ナイノデテル、(拍手)或ハ之ニ對シテ議事ノ妨害デアルト仰セニナルケレドモ、吾々ハ飽クマデ此鐵道法案ニ對シテ反對ノ意見アルヲ述ベルコトニ於テ、言論ノ自由ヲ持テ居ルノデアリカラ、今夜ノ十二時マデ續ケルト云フコトヲ覺悟シテ掛テ居ルノデアリ、諸君、斯様ニシマシテ此工藤鐵道君ノ質問ニ對シテ、佐竹政府委員ハ此様ナ事ヲ言フテ居ル(買收後ノ改良費ニ付テハ先刻モ御答申シマシタガ、) (議事ヲ妨害シテ居テ何ダ呼フ者アリ) 吾々ハ正義ノ觀念ヲ守リテヤテ居ル、吾々ガ言論ノ續ク限リ討論ヲスルノガ何ガイケナイノデアリ、吾々ハドウモモ之ヲ土臺ニシテ討議ヲスルト云フコトニ於テ差支ナイノデアリ、買收後ノ改良費ニ付テハ先刻モ御答申シマシタガ大體斯ウ云フ事ニナリテ居リマス、佐竹政府委員ハ言フ事ニナリテ居リマスガ、現ニ水戸鐵道ハ三錢餘ニナリテ居リマス、國有鐵道ハ二錢五厘デアリマスカラ、其方デ收入ガ減リマスケレドモ、併シ之ヲ國有トシテ經營致シマスレバ、車輛或ハ其他ノ鐵道營業上ノ營業費ノ節約ガ出來ル云々ト斯様ニシテ之ヲ説イテ居ルノデアリマス、鐵道ハ二年三年ノ後ニハ段々利益ガ殖エテ來マスカラ、斯様ニ言フテ居リマス、而シテ工藤委員ハ之ニ對シテ、一モ二モナクドウモ政府委員ノ意見ニ贊成ヲシテ居ルノデアリマスカラ、私共ハ全ク本案ガ之ヲ見マシテモ黨勢擴張ノ爲メノモノデアルト云フコトハ明瞭デアルト思フノデアリマス(拍手)而シテ之ニ續キマシテ、松井委員ハ「先程ノ越後鐵道ノ事ニ付テ何ヒマスガ、越後鐵道ハ四十四議會、ソレカラ四十六議會、四十八議會此三回ニ建議ガ出テサウシテ衆議院ヲ通過シテ居ル、四十四議會、四十六議會ノ時提案者ハドウナリデアリマシタカ一寸聞キタイ」斯ウ云フ質問ヲ先ツ致シテ居リマシテ、而シテ岡本委員ハ「餘リ素人ノヤウナ御尋デアリマスガ、先刻工藤君カラノ御質問ノ御答辯ニ付テ一寸念ノ爲メニ置キタイト思ヒマスガ、買收價格ノ基礎ニテ置キタイト思フハ、會社ノ利益歩合ニ依リテ算出シタ相當ハ、會社ノ利益歩合ニ依リテ算出シタ相當ノ費用ヲ加算シタモノガ買收價格ニナル、斯ウ云フヤウナ御答ニ承テ、サウシマス買收價格ノ基礎ノ建設費ノ事デアリマスガ、此間ノ經過年限ノ多イ少イモアリマス、物價ノ高低等モアリマス、御調査ニナリテ置キマス」斯様ニ言フテ居リ

目録ニアルヤウナモノト、色々喰違ガ出來ルヤウニ思ヒマスガ、ソレハドウ云フ標準デ建設費ト云フモノハ決リマスガ、斯様ナ質問ヲ試ミテ居リマス、斯様ニシテ本案ノ内容ニ付テハ、今言ウタ通り先ツ松井委員ガ御尋致シマシタ、此買收ニ付テハ幾多ノ建議案ガ出、請願ガ出テ居ルノデアリカ、一體ソレハドウ云フ人ガ出シタノデアリカト云フ質問ニ對シテ、政府委員ハ不用意モ之ニ對シテ何等答辯ヲ與ヘル事ガ出來ナイヤウナ狀態ノ本案デアリ、私等ハ之ヲ見マシテ十分ニ其理由ガ分ルト思フノデアリマス、而シテ工藤鐵道君ハ曰ク「私ハ買收價格ノ事ニハ暗イノデスカ、算定ノ基礎ハドウナリテ居リマスガ、例ハ資本額ヲ押ヘテアルノカ、羽越鐵道ハ全部拂込ニナリテ居ル、越後鐵道ハ借入金ガ四百萬圓トナリテ居ル、其算定ノ基礎ヲ御示テ願ヒマス」工藤君ナドハ今モ反對演說ヲサレマシタガ、私ハ買收價格ノ事ハ暗イノデスカ、所謂分ラナイ人ガ吾々ノ修正案ニ反對スルト云フコトハ何タル事デアリカ、其調査自體ノ内容モ分ラナイ人ガ、我黨ノ志賀君ノ修正案ニ反對スルコトハ、本當ニ鐵道自體ノ對スル買收ニ贊成テナクシテ、全ク黨派のカラ來タ所ノ贊成ナリト吾々ハ論斷セザルヲ得ナイ(拍手)之ニ對シテ佐竹政府委員ハ曰ク「地方鐵道ノ第三十一條ニ其買收ノ計算方法ガ定メテ居リマス」ト計算方法ヲズツト述ベテ居ルノデアリマス、斯様ニ致シマシタ點カラ見テモ、請願ヲ誰ガシタカモ政府ガ知ラナイ、或ハ價格ノ問題ヲ知ラナイ、斯ウ云フ工藤君ノ此委員會ノ報告、而シテ此反對ノ演說ニ對シテ、吾々ハドウモデモ反對ヲシナクテハナラヌノデアリマス、而シテ先刻工藤君カラノ御質問ノ御答辯ニ付テト云フノ岡本君ガ「念ノ爲メ」テ置キタイト思ヒマスガ、買收價格ノ基礎ニナル建設費ハ、會社ノ利益歩合ニ依リテ算出シタ相當ノ費用ヲ加算シタモノガ買收價格ニナル、斯ウ云フヤウナ御答ニ承テ、サウシマス買收價格ノ基礎ノ建設費ノ事デアリマスガ、此間ノ經過年限ノ多イ少イモアリマセウ、物價ノ高低等モアリマセウ、或ハ現在御調査ニナリテ置キマス、ソレハドウ云フ標準デ建設費ト云フモノハ決リマスガ、念ノ爲メニ置キマス」斯様ニ言フテ居リ

マスガ、要スルニ本案ヲ是カラ説明ヲ致シマスレバ、マダ到底今夜ノ十二時マデハ盡キナイト思フテ居リマス、併ナガラ其工藤君並ニ井本君ガ自分ノ惡イコトガ分テ、御謝リニナルナラバ敢テ私ハ此討論ヲ續ケナイデ降壇致シマス

○議長(粕谷義三君) 討論ハ終結致シマシタ、採決ヲ致シマス、先ヅ志賀柳多利君外一名提出ノ修正案ニ付テ採決ヲ致シマス、之ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

○議長(粕谷義三君) 起立少數デアリマス、仍テ修正案ハ否決サレマシタ、次ニ本案ノ委員長報告ハ可決デアリマス、委員長報告ニ御異議アリマセヌカ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ハ委員長報告ノ通り可決致シマシタ、之ニテ本案ノ第二讀會ハ終了致シマシタ

○井本常作君 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○議長(粕谷義三君) 井本君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ第三讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス

一水戸鐵道株式會社、越後鐵道株式會社、陸奥鐵道株式會社、苫小枝輕便鐵道株式會社及日高拓殖鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案 第三讀會

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ハ第二讀會議決ノ通り可決確定致シマシタ(拍手)次ニ鐵道敷設法中改正法律案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ御諮リ致シマス——第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○井本常作君 直ニ本案ノ第一讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告を通リ可決確定セラレンコトヲ望ミマス

議ナシト認メマス、仍テ直ニ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ第三讀會ヲ省略シテ委員長報告を通リ可決確定致シマシタ

○砂田重政君 本日ノ交渉ニ於テ更ニ緊急質問ヲアル豫定ニナシテ居タノデアリマスガ、之ヲ次ノ會議ノ劈頭ニ於テ爲スト云フコトノ條件ニ於テ、本日ハ此程度ニテ散會セラレンコトヲ望ミマス

○議長(粕谷義三君) 砂田君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

○議長(粕谷義三君) 暫ク御待テ下サイ——砂田君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス仍テ動議ノ如ク決シマシタ、諮問事項ガアリマス、第八部決算委員山田助作君、第九部決算委員本暮武太夫君ノ兩名ヨリ常任委員辭任ノ申出ガアリマス、許可スルニ御異議アリマセヌカ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ其部ノ諸君ハ速ニ補關選舉ヲ行ヒ、御報告アランコトヲ望ミマス、次回ノ日程ハ追テ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是ニテ散會

午後七時三十二分散會

衆議院議事速記第二十一號中正誤

頁	段	行	誤	正
四六一	一	二五	聲ヲ	聲ニ
四四一	二	二〇	守ルト	守ルナト
同	三	二	政府	政務